

五〇四 特別報告ニ係ル請願ヲ再審査ニ付ス

第二十五回議會 明治四十二年二月二十日(特別報告第十八號)電氣分解工業補助ノ請願ニ對シ藤澤元造君ヨリ再ヒ請願委員ニ付シ精細ナル調査ヲ爲サシムヘシトノ動議ヲ提出シ議長(長谷場純孝君)ハ「再調査ト云フコトニ御異議ハアリマセンカ……御異議ガアルナラバ異議ノアル人ダケ起立ヲ請ヒマス——少數、即チ是ハ請願委員會ノ再調査ト云フコトニ決シマス」ト宣告シタリ

參看 三三六號、三七二號ノ(一)

五〇五 請願委員長ヨリ提出セル法律案ハ成規ノ賛成アルモノト看做ス

法律案ノ提出ニハ二十人以上ノ賛成ヲ要スルコトハ議院法ノ定ムル所ナルモ請願委員長ヨリ提出セル法律案ハ請願委員會ノ決議ニ依リ提出セルモノナルニ依リ成規ノ賛成アルモノト看做シ他ハ普通ノ手續ニ依ル

參看 三二六號

五〇六 請願委員長提出法律案ノ會議ニ於テ紹介議員請願ノ理由ヲ述フ

第二十八回議會 明治四十五年三月二十五日請願委員長提出寺院境内地下戻ニ關スル法律案ノ第一讀會ニ於テ該請願ノ紹介議員小川平吉君ハ日向輝武君ノ請求ニ應シ請願ノ理由ヲ詳細説明セリ

五〇七 請願委員長提出法律案ヲ更ニ特別委員ニ付託シタルコトアリ

請願委員長ヨリ提出シタル法律案ハ本會議ニ於テ委員ニ付託スルコトナク議決スルヲ例トス然ルニ左ノ法律案ニ付テハ更ニ審査ノ爲之ヲ委員ニ付託シタリ
第二十三回議會 明治四十年三月十六日請願委員長提出裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案ノ會議ニ於テ政府委員ハ本案ニ反對ノ演說ヲ爲シタルニ恒松隆慶君ハ本案ヲ議長指名ノ委員ニ付託スヘシトノ動議ヲ提出シ院議之ヲ可決セリ次テ同月二十一日ノ會議ニ於テ委員長ハ可決ノ報告ヲ爲シ院議多數ヲ以テ之ヲ可決シタリ
第三十一回議會 大正三年三月十二日請願委員長提出奈古浦丸ノ所有者救恤ニ關スル法律案ノ會議ニ於テ花井卓藏君ハ本案ニ反對ノ演說ヲ爲セシニ中村啓次郎君ハ本案ヲ議長指名ノ委員

第二編 會議 第六章 請願 (五〇四—五〇七) 五百十一

ニ付託スヘシトノ動議ヲ提出シ院議之ヲ可決セリ次テ同月十七日ノ會議ニ於テ委員會ハ表題
ヲ明治三十七八年戰役ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案ト改メ且本文ヲ修正シテ
報告シタルニ院議此ノ修正ヲ採用シ本院ハ貴族院ニ提出シタルモ同院ニ於テ議決ニ至ラザリ
キ

第三十七回議會 請願委員長提出元屯田歩兵扶助ニ關スル法律案、高等試驗法案、裁判所構成法
中改正法律案、司法代書人法案ハ孰レモ特別委員ニ付託シ審査シタル後院議之ヲ採用シ貴族
院ニ提出シタルモ同院ニ於テ議決ニ至ラザリキ

參看 三二六號

五〇八 特別報告ニ係ル請願ハ採擇スルヤ否ノ採決ヲ爲ス

特別報告ニ係ル請願院議ニ付セラレタルトキハ之ヲ採擇スルヤ否ニ付採決スルモノトス而シテ採
擇ト決シタルモノハ意見書ヲ附シ其ノ請願書ヲ政府ニ送付ス

五〇九 特別報告ニ係ル請願ノ意見書案ヲ修正シテ採擇ス

第八回議會 明治二十八年三月十一日(特別報告第九號)復祿處分換ノ請願外三十七件ニ付テハ
元田肇君ノ修正動議ニ依リ各請願ニ委員會報告ノ意見ノ外更ニ衆議院ハ本請願ヲ以テ特
政府ニ於テ調査スルノ必要アルモノト認メタリトノ意見ヲ附加シテ採擇シ、同月十九日(特
別報告第二十三號)舊神官配當祿下賜ノ儀ニ付請願外三件ニ付テモ吉本榮吉君ノ修正動議ニ
依リ各請願ニ同一ノ意見ヲ附加シテ採擇シタリ

第三十七回議會 大正五年二月四日(特別報告第六十八號)故金玉均表彰ノ請願ニ付テモ委員會
報告ノ意見ノ外尙意見ノ附加アリシモ同性質建議案議決ノ結果採擇シタルモノト看做シタリ

五一〇 特別報告ニ係ル請願ニ對シ政府ノ報告ヲ求ム

議院法第六十五條ニ各議院ニ於テ請願ノ採擇スヘキコトヲ議決シタルトキハ意見書ヲ附シ其ノ請
願書ヲ政府ニ送付シ事宜ニ依リ報告ヲ求ムルコトヲ得トアリ該條末文ニ依リ政府ノ報告ヲ報告求
メタル事例左ノ如シ

第十四回議會(明治三十三年二月七日(特別報告第六號))「ペスト」病ニ感染シタル醫師救助ニ關

スル請願ニ付テハ議院法第六十五條末文ニ依リ政府ノ報告ヲ求ムヘキモノトシテ採擇セリ依テ議長(片岡健吉君)ハ「是ハ政府カラ報告ヲ求ムルト云フ委員長カラ報告ニナリマシテ其通決シマシタガ報告ヲ求ムルト云フ文章ガアリマセヌガ此報告ヲ求ムル文章ハ議長ニ御任セ下サイマスカ」ト諮ヒ異議ナカリシヲ以テ翌八日請求文(「別冊及送付」ノ下ニ併セテ政府ノ報告ヲ求メ」ヲ加フ)ヲ付シ政府ニ送付シタリ然ルニ同月十二日政府委員長谷川内務省衛生局長ハ議場ニ出席シ過日本院ノ決議ヲ以テ政府ニ報告ヲ求メラレタル「ペスト」病ニ感染シタル醫師救助ニ關スル請願ニ對シ本日政府ヨリ傳染病豫防救助ニ從事スル者ノ手當金ニ關スル法律案ヲ提出シタル旨ヲ報告シタリ

第二十二回議會(特別報告第四十一號)、第二十三回議會(特別報告第三十三號、第四十二號)、第二十四回議會(特別報告第四號第二十六號)、第二十五回議會(特別報告第二十一號、第二十二號、第七十二號、第七十三號、第七十七號)、第二十八回議會(特別報告第一百五十五號)ニ於テ政府ニ報告ヲ求メタルモ第二十四回議會(特別報告第二十六號)惡水井路敷潰地買上ノ請願外一件ニ對シ書面ヲ以テ報告アリタルノ外會期切迫ノ爲其ノ報告ニ接セザリキ

第二十八回議會(明治四十五年三月十五日)ニ於テ請願委員長ハ決議案(議院ヨリ意見ヲ附シテ送付シタル請願ニ對シ政府ハ次ノ會期ノ始ニ於テ其ノ結果ヲ報告アランコトヲ望ム)ヲ提出シ院議ニ付シタル際委員長武藤金吉君ハ「請願ノ權利ヲ十分擴大サレ、十分功ヲ奏シタカト申シマス、段々年表ヲ繰テ見ルト、五回モ七回モ同一ノ案件ガ出テ居ルノデアリマス、政府ハ議院カラ意見ヲ附シテ送ツタモノニ向ツテ、何等始末ヲ付ケテナイモノモアリ其中ニハ功ヲ奏シタルモノモアリマスガ、其ノ大部分ハ其請願ト云フモノハ事實上尊重セラレテ居ラヌノデアリマス、故ニ此結果始末ヲ議會ニ報告スルト云フコトハ請願權ヲ尊重シ國民ノ聲ヲ此憲法政治ノ上ニ於テ顯ハストコロノ第一ノ要件デハナイカト信ジマス、請願委員會ニ於テハ之ヲ憂ヘマシテ此功ヲ奏センガタメニ此決議案ヲ出シテサウシテ次ノ會期ニ於テ其結果始末ヲ報告シテ貫ヒタイト云フコトヲ望ム決議案デアリマス」ト説明シ院議多數ヲ以テ可決シタリ然ルニ第二十九回議會及第三十回議會ニ其ノ報告ナカリシヲ以テ第三十一回議會ニ於テ請願委員會ニ於テ更ニ政府ニ對シ請願ノ成行ニ付報告ヲ求メタルニ政府ハ請願處理經過表ト題シ其ノ結果ヲ報告シタリ爾後政府ハ委員會ノ請求ヲ容レ時々請願處理ノ結果ヲ報告スルコトナレリ

第三十一回議會ニ於テ第二十七回乃至第三十回議會ノ請願處理經過ヲ報告セリ

第三十七回議會ニ於テ第三十一回乃至第三十六回議會ノ請願處理經過ヲ報告セリ

第四十二回議會ニ於テ第三十七回乃至第四十一回議會ノ請願處理經過ヲ報告セリ

第四十七回議會ニ於テ第四十二回乃至第四十六回議會ノ請願處理經過ヲ報告セリ

第五十回議會ニ於テ第四十七回乃至第四十九回議會ノ請願處理經過ヲ報告セリ
第五十一回議會ニ於テ第五十回議會ノ請願處理經過ヲ報告セリ

五一 請願ト其ノ目的ヲ同クセル議案提出セラルルトキハ請願ノ議事ヲ延期スルヲ例トス

第二十二回議會以來特別報告ニ依ル請願ト其ノ目的ヲ同ウスル法律案、建議案ノ提出セラルルモノアルトキハ其ノ議了スル迄請願ノ議事ヲ延期スルヲ例トス

參看 二一九號

五二 議決セラレタル議案又ハ請願ト目的ヲ同クスル請願ハ當然議決ヲ要セス其ノ請願ハ議案若ハ請願議決ノ結果ニ依リ當然採擇若ハ不採擇ト看做サル

採擇ト看做サレタル請願ハ政府ニ送付シ且其ノ件名ヲ速記録ニ掲載ス

第二十二回議會以來特別報告ニ係ル請願ニシテ既ニ議決シタル法律案建議案又ハ請願ト其ノ目的ヲ同クスルモノハ議事日程ニ掲載セス院議ニ付スルコトナク當然議決ヲ要セサルモノトセラレタルモ第三十六回議會ヨリハ議案若ハ請願ニシテ否決セラレタル場合ニハ之ト目的ヲ同クスル請願ハ不採擇ト看做シ日程ニ掲載セス又可決セラレタル場合ニハ請願ハ當然採擇セラレタルモノト看做シ日程ニ掲載セサルモ其ノ件名ヲ速記録ニ掲載シ且政府ニ送付スルコトナレリ

第三十六回議會 大正四年六月九日請願委員長肥田景之君ハ報告ノ際「第二十二回ノ議會ニ至リ請願ト同一ノ目的ヲ有スル法律案建議案若クハ他ノ請願等一度院議ニ付セラルルトキハ此請願ハ議決ヲ要セザルモノトシテ院議ニ付セラレヌコトニナリ折角ノ請願モ暗ニ葬ラレテ居ルト云フコトデアリマス是ハ甚ダ遺憾ノ次第ゴザイマスカラ右請願ト同一ノ目的ヲ有スル法律案建議案若クハ其他ノ請願ニシテ院議ニ附セラレ探否ヲ決スル場合ニ於テハ此請願モ其法律案建議案或ハ其他ノ請願ノ可否決定ニ從ヒ隨時ニ特別報告ヲ速記録ノ末尾ニ掲載シテ可決致シタルモノハ政府ニ送付致シタイト思ヒマス」ト諮リ第二十七回議會(大正五年二月十八日)請願委員長加藤彰廉君ヨリ同一ノ趣旨ヲ演述シ且「此事ハ昨年議會ニ於キマシテ當時ノ請願委員長ヨリ決議ヲ求メタノデアリマシテ本院ニ於テ其通り可決ニナツテ居リマスケレドモガ其時ノ趣旨ガ稍々徹底ヲシテ居ラナイデアリマシテ其通り實行ニナツテ居リマセヌカラ

再ビ此ニ其事ヲ申上ゲマシテ將來今日マデノ慣例ヲ改メルト云フコトニ致シタイト思フノデアリマス」ト述ヘ爾來之ヲ例トス

然ルニ同性質ノ議案議決セルニ拘ラス委員會特別ノ決議ニ依リ特ニ之ヲ院議ニ付シタルコトアリ
第二十五回議會 明治四十二年三月四日(特別報告第十一號)借地權救濟ニ關スル請願外一件ハ當日ノ日程ニ掲載シ委員長立川雲平君ハ「此事ニ付キマシテハ當院ハ既ニ法律ヲ制定致シマシテ此法律(高木益太郎君外一名提出工作物保護ニ關スル法律案)ハ今ハ貴族院ノ審査中ニ係ツテ居ルノデゴザイマス是マデノ慣例ハ請願ノ事件ニ致シマシテ既ニ請願ノ目的ガ到達ヲ致シテ居リマスルナラバ態々請願委員長ハ茲ニ出テ報告ヲシテ諸君ノ御採擇ヲ請フト云フコトハゴザイマセヌノデゴザイマス……此案件ニ限ツテハ……特ニ院議ニ付シテ滿場諸君ノ一致ノ御同意ヲ得テ今上院ニ在ルトコロノ彼ノ法律ノ運命ヲシテ完カラシメント希望致シマスルガタメニ特ニ茲ニ御報告致スコトヲ請願委員ニ於テ決シマシタ次第デアリマス」ト述ヘ院議本請願ヲ採擇シタリ

第五十回議會 大正十四年三月二十四日ノ會議ニ於テ(特別報告第三百六十三號)帝國在郷軍人會國庫補助ノ請願ハ其ノ前日佐々木春作君外四名提出帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建議案可決ノ結果當然採擇ト看做スヘキモノナルニ委員長ヨリ特ニ委員會ノ決議ニ基キ其ノ内容

ヲ報告スル所アリ次テ同請願ヲ特ニ採擇スヘシトノ動議出テ院議異議ナク該動議ヲ採用セリ

五一三 特別報告ニ係ル請願ハ件名、呈出者、紹介議員ノ氏名及意見書案ノ全文ヲ速記録ニ掲載シ必要ト認ムルモノノミニ付委員長ハ口頭ヲ以テ更ニ報告ス

前項ノ場合ニ於テ委員長ハ前日迄ノ請願審査ノ經過ヲ報告スルコトアリ

特別報告ノ請願ニ關スル報告ハ第二十二回議會ノ末ヨリ多數ノ請願日程ニ上レルトキト雖一件毎ニ報告スルノ例トナレルモ又一括シテ報告セルコト尠シトセス然ルニ第二十八回議會明治四十五年三月十二日會議ノ始ニ於テ議長(大岡育造君)ハ「……從來委員長ハ件名ト呈出者ト紹介議員ノ氏名ヲ報告ヲシテ請願ノ内容ハ多クハ文書表ニ讓ツテ其ノ請願ノ意味ヲ報告ラスルコトハ實際ニ於テハ甚ダ少ナイ例ニナツテ居リマス、ソレデ今回ヨリハ請願委員長ニ於テ必要ト認ムル場合ヲ除クノ外ハ一々其ノ報告ヲ略シマシテ、請願ノ件名、呈出者、紹介議員ハ勿論、意見書ノ全文ヲモ速記録——官報ノ附録ノ上ニ明カニ載セルコトトシテ此議場ニハ受理シタル件數及審査ノ結果等ヲ一

列ニ報告スルコトニ致シタイト思ヒマス……」ト諮ヒタルニ異議ナカリシニ依リ當日ノ速記録ヨリ特別報告ノ號數、受理シタル號數、請願ノ件名、紹介議員及意見書ノ全文ヲ掲載シ又請願委員長武藤金吉君ハ特別報告ノ請願中必要ト認ムルモノノミヲ報告シ且前日迄ノ受理件數及審査ノ經過ヲモ併セテ報告セリ爾來之ヲ例トス

五一四 特別報告ニ係ル請願ハ一括シテ議題トシ且一括シテ採決スルモ反對アル請願ハ別ニ之ヲ採決ス

數多ノ特別報告ノ請願ヲ議事日程ニ連掲セル場合ニハ一括シテ議題ト爲シ其ノ採決ハ一括又ハ各別ニ之ヲ爲シ或ハ一件毎ニ委員長ノ報告アルトキハ逐次之ヲ採決シタルモ第二十八回議會(明治四十五年三月十二日)議長(大岡育造君)ハ「日程ニ入ルトキハ議長ヨリ日程ノ番號又ハ件名ヲ讀上ゲ、反對ナキモノハ採擇シタルモノトシテ次ニ移ルコトトシ、諸君ニ於テ御異論ノアルモノノミヲ討論ニ付スルト云フ程度ニ致シマシタナラバ、議場ノ整理モ宜カラウト思ヒマス御異議ガナケレバ其事ニ計ヒマス」ト告ケタリ爾來此ノ方法ニ依レリ而シテ第四十回議會(大正七年二月二十八日)議長(大岡育造君)ハ「日程第十一乃至第六十五ハ請願特別報告デアリマス、例ニ依テ一括テシ

議題トシ委員長ノ報告ヲ求メマス、但請願中反對アルモノハ討論ノ上許否ヲ決シマス、此討論ヲ經タルモノハ別ニ決ヲ採リマス」ト宣告シタリ

會期終了日ニ於テハ未決ノ請願多キハ數百件ニ上ルコトアルヲ以テ他ノ法律案建議案ト内容同一ノモノアルヘキモノ々之ヲ調査スルノ違ナキヲ以テ先ツ請願全部ヲ日程ニ掲ケ一括シテ議決シ其ノ整理ヲ議長ニ一任スルコトナシトセス

第五十一回議會 大正十五年二月二十五日ノ會期終了日ニ於テ日程第二百九十乃至八百七十一(内日程第七百二十五ヲ除キ)ノ五百八十一件ヲ一括シテ採擇スルニ決シタル際議長(粕谷義三君)ハ「只今決議採擇ニナリマシタ日程第二百九十乃至八百七十一ノ請願ノ中既ニ議決セラレタ法律案建議案ト其内容ヲ同一ニスルモノガアリマス是等ノ整理ハ議長ニ御一任ヲ願ヒタイト思ヒマス之ヲ御諮リ致シマス」ト述ヘ院議異議ナク之ニ決セリ

參看 四一四號

五一五 特種報告ニ係ル請願ハ不採擇、政府參考若ハ委員會參考送付ノ三種ニ區別シテ報告ス

前項ノ場合ニ於テ議員ヨリ會議ニ付スルノ要求ナキトキハ一週間ヲ以テ確定トス

請願委員會ニ於テ議院ノ會議ニ付スルヲ要セストノ請願ニ對シテハ特種ノ報告ヲ爲スヘキコトハ衆議院規則ノ規定スル所ナリ而シテ特種報告ナルモノハ從來ノ慣例ニ依レハ委員會ニ於テ不採擇、政府參考送付、委員會參考送付ノ三種ニ區別シ之ヲ報告スルモノニシテ此種ノ請願ニ對シ一週間以内ニ議員ヨリ會議ニ付スルノ要求ヲ爲ス者ナキトキハ委員會ノ決議ヲ以テ確定トスルモノナルカ故ニ別ニ院議ニ付スルコトナク政府へ參考送付ノ請願ハ一週間ヲ經過シタル後政府ニ送付ス

【備考】

第十二回議會明治三十一年六月六日請願委員長中村彌六君ハ審査ノ經過及結果ヲ報告シタル後委員會ハ從來ノ慣例ハ穩當ナラスト認メ參考トシテ政府へ送付スヘキ必要アリトスル請願モ亦院議ヲ經ヘキモノトシ總テ院議ニ付スヘキモノヲ分テ議院ニ於テ探擇スヘキモノ及參考トシテ政府へ送付スヘキモノニ種ト爲シ各特別報告ヲ爲スコトニ決定シタル旨ヲ述ヘタルモ解散ノ爲之ヲ實行スルニ至ラス第十三回議會明治三十一年十二月二十四日請願委員長山本幸彦君ノ審査ノ經過及結果ヲ報告スルニ際シ委員會ハ從前ノ慣例ニ依リ參考トシテ政府ニ送付スヘキ請願ハ院議ヲ經ス直ニ之ヲ送付スルニ決定シタル旨ヲ述ヘ爾來之ヲ例トス

第七章 質問及答辯

五一六 質問ハ必ス主意書ヲ以テスルヲ要ス

主意書ハ邦文ヲ以テス

第一回議會 明治二十四年二月二日高梨哲四郎君ハ議員犬養毅君ノ明治二十三年中農商務省カ製茶輸出會社へ保護金二十萬圓ヲ特別下付セラレタル件ニ關スル質疑ニ對シ政府委員石田英吉君ノ答辯不明瞭ナルヲ以テ更ニ農商務大臣陸奥宗光君自ラ衆議院ニ出席シテ答辯有之度旨ノ請求書ヲ政府ニ送付スヘシトノ動議ヲ提出シ院議多數ヲ以テ之ヲ可決シタルニ依リ議長(中島信行君)ハ直ニ政府ニ送付セシニ翌二日政府ヨリ議院法第四十八條ニ依リ主意書ヲ以テ質問セムコトヲ望ム旨ノ覆牒ヲ爲セリ依テ同月九日高梨哲四郎君ヨリ議院法第四十八條ニ依リ政府ニ質問主意書ヲ提出シタルニ同月十三日陸奥農商務大臣ハ議院ニ出席シテ之ニ答辯ヲ爲シタリ

第五十回議會 大正十四年三月十七日清瀨一郎君提出國際労働會議ノ決定ト我カ立法府ノ權限ニ關スル質問主意書ハ條約ノ解釋ニ關スル質問ナルニ依リ原文ノ挿入ヲ絶對必要トスル旨ヲ以テ英文ヲ挿入シアリタルモ質問主意書ハ演說ニ先テ其ノ大要ヲ文書ニ記載シテ提出スルモ

ノナルカ故ニ演説ニ於テ許サレサル言辭ヲ記載シタル質問主意書ハ之ヲ受理スルコトヲ得ス
トノ理由ニ依リ議長(粕谷義三君)ハ各派協議會ニ諮リタルニ協議會ニ於テモ之ヲ受理スルノ
限ニ在ラスト決定シタルヲ以テ其ノ旨ヲ提出者ニ傳ヘ提出者ハ英文ハ勿論假名文字ニテ記シ
タル音文ヲモ削除シ全然邦文ノミニ訂正シタルヲ以テ之ヲ受理シタリ

五一七 停會中ト雖既ニ提出セラレタル質問主意書ハ之ヲ政府ニ轉送ス

質問主意書ニシテ停會前ニ提出セラレタルモノアルトキハ停會中ト雖之ヲ政府ニ轉送ス最近ノ事
例ヲ舉クレハ第三十回議會(大正二年一月二十日及二十一日)ニ於テ停會前ニ提出ノ質問四件ハ孰
レモ停會ノ翌日(二十一日)印刷成レルヲ以テ轉送ノ手續ヲ爲セリ

參看 一八二號

五一八 質問主意書ハ其ノ全文ヲ印刷配付シ且速記録ニ掲載ス

議員政府ニ對シ質問ヲ爲サムトスルトキハ主意書ヲ議長ニ差出シ議長ハ直ニ之ヲ政府ニ轉送シ議

院ニ對シテハ唯其ノ提出アリタルコトヲ議場ニ報告スルニ止マリシモ第二回議會明治二十四年十
二月十二日植木枝盛君ヨリ總テノ質問書ハ之ヲ印刷シテ各員ヘ配付スヘシトノ請求ニ對シ同月十
五日議長(中島信行君)ハ「印刷配付ヲ爲スコトハ容易ニアラザレバ今日ノ所ハ質問主意書ヲ朗讀
スルコトト爲ス故速記録ニ就イテ見ルヘシ」ト告ケ、翌十六日植木枝盛君ハ更ニ朗讀シタルモノト
シテ速記録ニ掲クヘシト請求シタルヲ以テ議長ハ此ノ請求ヲ採用シ朗讀ヲ經サルモ速記録ニ掲載
スルコトトシ質問主意書ハ淨書シテ政府ニ轉送シ印刷配付ハ爲ササリシモ第二十二回議會ヨリ印
刷ニ付シ議案類ト同シク各議員ニ配付シ又政府ヘ轉送スルコトナレリ

參看 一八九號

五一九 質問ノ撤回ハ議院ノ許可ヲ要セス

質問ハ日程ニ上レルト否トヲ問ハス提出者ヨリ之ヲ撤回スル場合ニハ單ニ議院ニ報告スルニ止マ
リ議院ノ許可ヲ要セサルヲ例トス最近ノ事例ヲ舉クレハ第四十回議會神谷卓男君提出日米協定ニ
關スル質問外一件、第四十一回議會土井權大君提出地方稅制限ニ關スル法律改正ニ關スル質問ノ
如キ是ナリ

參看 一九三號、一九七號、一九八號

五百二十六

五二〇 院議ヲ以テ祕密會ノ内容ニ互レル質問主意書ヲ撤回セシム

第三十九回議會 大正六年七月三日樋口秀雄君提出寺内内閣總理大臣竝本野外務大臣ニ對スル質問ニ對シ鶴澤總明君ヨリ「議員樋口秀雄君ヨリ提出シタル寺内内閣總理大臣竝本野外務大臣ニ對スル質問主意書ハ事祕密會ノ議事ニ互リ議院ノ信用ヲ傷クルモノト認ム提出者ハ速ニ該質問主意書ヲ撤回スヘシ」トノ動議ヲ提出シ院議多數ヲ以テ該動議ヲ可決シタルヲ以テ樋口秀雄君ハ「院議トアレバ多數ニ服センケレバナリマセヌカラ遺憾ナガラ撤回致シマス」ト告ケ右質問主意書ヲ撤回セリ

五二一 議長ニ對スル質問書ハ之ヲ受理セス

第五十回議會 大正十四年三月十四日議長(粕谷義三君)ハ「此ノ程尾崎行雄君ヨリ議長ニ對シ議長ノ職權ニ關スル質問書ト題シ數項ニ互ル質問書ヲ提出セラレマシタ尾崎君ハ質問主意書

ヲ提出シタノハ政府ニ對スル質問ノ形式ニ則ラレタモノニ過ギナイ要ハ議長ヨリ書面ノ答辯ヲ受ケ政府ニ對スル質問ト同様該質問主意書ヲ印刷配付シ答辯書ト共ニ速記録ニ登載セラレタイト謂フコトデアリマス議長ハ斯ノ如キ文書ヲ受理致シマスコトハ現在ノ法規慣例ニ於テ認メナイ所デアリマスカラ隨意ニ答辯書ヲ差出スト謂フコトモ如何カト存シマス殊ニ又印刷配付シ且速記録ニ掲載致シマスコトデアリマス、事私ノ身上ニ關シ且新ニ茲ニ例ヲ聞クコトニナリマスカラ一應議場ニ御諮リシテ之ヲ決シタイト存ジマス」ト述ヘ之ヲ院議ニ諮ヒタルニ少數ニテ之ヲ否決シタリ依テ尾崎君ハ更ニ議事進行トシテ發言ヲ求メ議長ハ之ニ對シテ應答セリ

五二二 質問ノ趣旨辯明ハ火曜日ニ之ヲ爲ス但シ緊急ヲ要スルトキハ何時ニテモ議院ノ許可ヲ得テ之ヲ爲スコトヲ得

第二十六回議會以來火曜日ヲ質問日ト定メ其ノ件名ヲ議事日程ノ初位ニ掲載シ日程ニ入ルノ前其ノ趣旨辯明ヲ爲サシム但シ緊急ヲ要スルトキハ議院ノ許可ヲ得日程ヲ變更シテ何時ニテモ其ノ趣旨辯明ヲ爲スコトヲ得ルモ政府案ニ先ツテ之ヲ爲サムトスルトキハ政府ノ同意ヲ求ムルモノトス

而シテ政府ノ答辯モ火曜日ニ爲スヲ例トシ書面答辯ニシテ定日以外ニ到達シタルモノト雖定日ヲ以テ議場ニ報告ス但シ緊急質問ノ答辯ハ概ネ即時口頭ヲ以テ之ヲ爲スヲ例トス

第二十六回議會 明治四十三年三月十九日(土曜日)議事日程第三ヲ終リタルトキ議長(長谷場純孝君)ハ「武藤金吉君カラ緊急事件ニ付テ質問ヲ此場合ニ於テシタイト云フ爰ニ制規ノ贊成ヲ得テ質問書ヲ提出シテアリマス質問ハ火曜日ニ爲ス内規ニナツテ居リマス併ナガラ緊急ノ事件ト認ムルトキハ此ノ限ニアラズト云フコトノ御相談ニモナツテ居リマスカラ一應御諮リヲ致シマス」ト諮ヒ院議之ヲ許可シ武藤君ハ直ニ質問ノ趣旨ヲ辯明シタリ

第三十五回議會 大正三年十二月十二日(土曜日)議事日程ニ先チ中村啓次郎君ヨリ「唯今議員カラ、政府ニ對シテ質問スベキ緊急ノ要件アリトノ申出デアリマスカラ、此場合直ニ趣旨辯明ヲ許可スベシ」トノ動議ヲ提出シ議長(奥繁二郎君)ハ「唯今中村君ヨリ緊急動議ノ質問ガ出マシテゴザイマス、本日質問スルコトニ許可シテ御異議アリマセヌカ」ト諮ヒ異議ナカリシヲ以テ武藤金吉君ハ同君提出輸出生絲及羽二重ニ關スル件ニ付其ノ趣旨辯明ヲ爲シタリ

第四十回議會 大正七年二月十九日(火曜日)元田肇君提出米國政府ノ輸出入制限令ニ關スル件、同月二十三日(土曜日)望月小太郎君提出露國ノ單獨講和ニ關スル件、三月二日(土曜日)土屋清三郎君提出傳染病研究所ニ於ケル肺ペスト豫防措置ニ關スル件ハ孰レモ院議ヲ經テ趣旨辯

明ヲ爲シタリ

第四十二回議會 大正九年二月二十四日(火曜日)質問及議事日程ノ終了ニ際シ加藤定吉君提出西伯利撤兵ニ關スル緊急質問ハ院議ヲ經テ其ノ趣旨辯明ヲ爲シタリ

第四十三回議會乃至第五十四回議會ニ六十二件(内撤回シタルモノ一件)アリ

【備考】

質問ニ對スル答辯ハ多クハ文書ヲ以テシ往々數十日ヲ經過シテ之ヲ爲セリ然ルニ第二十二回議會ヨリハ質問提出者ノ趣旨辯明ニ次テ主管國務大臣ヨリ口頭ヲ以テ答ヲ爲スノ例ヲ開キタリ

質問ニ對シ政府委員ヨリ答辯ヲ爲ス場合ニハ國務大臣ノ代理タルコトヲ表明シ若代理ニ非サルトキハ答辯ト認メサリシモ第二十六回議會ヨリハ提出者ヨリ質問ノ趣旨辯明アルトキハ政府委員トシテ直ニ口頭ヲ以テ答辯スルノ例ヲ開キタリ

質問ニ關スル規程(明治四十三年二月五日) 各派協議會決定

第一條 質問主意書ノ趣旨ヲ辯明セムトスル者ハ火曜日ノ會議ニ於テスヘシ但シ緊急ノ議事アルトキハ議長ハ質問ヲ議事日程ノ後ニ掲載シ又ハ次ノ火曜日ニ延期スルコトヲ得

第二條 質問提出者質問日ニ於テ其ノ趣旨ヲ辯明スルコト能ハサルトキハ其ノ旨ヲ議長ニ申出テ次ノ火曜日ニ延期スルコトヲ得

第三條 質問緊急ヲ要スルトキハ提出者ハ議院ノ許可ヲ經テ何時ニテモ其ノ趣旨ヲ辯明スルコトヲ得

五二三 政府ノ施政方針ニ關シ緊急質問ヲ爲ス

第五十三回會議ハ財界安定ニ關スル臨時議會ニシテ通常議會ノ恒例タル施政方針ニ關スル内閣總理大臣ノ演說財政ニ關スル大藏大臣ノ演說ナカリシカハ昭和二年五月五日政府案ノ委員付託後齋藤隆夫君、永井柳太郎君ハ政府ノ施政方針ニ關シ孰レモ緊急質問ヲ爲シ翌六日ハ中村啓次郎君、湯淺凡平君、工藤鐵男君、山杣儀重君、中林友信君、横山勝太郎君、土屋清三郎君及平井光三郎君ヨリ孰レモ政府ノ一般施政方針ニ關シ緊急質問ヲ提出シ後ニ撤回セル平井光三郎君ヲ除キ他ハ逐次質問ヲ爲シタリ

五二四 質問ノ趣旨辯明ハ答辯書ノ到達前ナルヲ要ス

質問ノ趣旨辯明前ニ答辯書到達シタルトキハ既ニ質問ノ目的ヲ達シタルモノナルニ依リ假令日程ニ上リタルトキト雖日程ヨリ之ヲ省キテ趣旨辯明ヲ爲サシメサルヲ例トシ尙答辯要領ヲ得サルノ

故ヲ以テ更ニ質問セムトスルトキハ再質問若ハ第三質問ヲ提出スルコトナシトセス

第四十四回議會 大正十年二月十二日横山勝太郎君外二名ハ司法權ノ威信ニ關スル質問主意書

ヲ提出シ未タ日程ニ上ラサルニ先チ政府ヨリ答辯書ノ到達アリタルヲ以テ同君ハ三月一日再

質問ヲ提出シタルニ尙日程掲載前答辯書ノ到達アリタルニ依リ同月十一日更ニ第三質問ヲ提出シタリ

參看 五二六號、五三八號

五二五 質問ノ趣旨辯明ノ順序ハ便宜議長之ヲ前後シ若ハ提出者間ノ協議ニ依リ之ヲ變更スルコトヲ得

質問ハ議事日程ニ掲載以來議案ト同シク日程ノ順序ニ從ヒ提出者其ノ趣旨ヲ辯明ス然ルニ提出者議席ニ在ラサルカ又ハ趣旨辯明ニ際シ國務大臣ノ出席ヲ俟ツ爲時間ヲ要スル場合等ニハ議長ハ便宜次ノ質問ニ移リ其ノ順位ヲ前後シ若ハ提出者間ノ協議ニ依リ之ヲ變更スルコトナシトセス

第四十三回議會 大正九年七月二十四日ノ議事日程ニ質問一ヨリ十二迄ニ掲ケ其ノ趣旨辯明ヲ許可スルニ先チ副議長(粕谷義三君)ハ「……質問ノ順序ニ關シマシテ提出者ノ間ニ於テ御協

議ノ上ニ、變更ノ申出ノアツタモノガアリマス是ハ先例ニ依リマシテ其通り取計フコトニ致シ
タイト思ヒマス」ト告ケ質問一ノ作間耕逸君提出道路ノ管理權ニ關スル質問ハ質問八、三木武
吉君提出選舉干涉ニ關スル質問ト順序ヲ變更シタリ

第四十四回議會 大正十年三月二十二日ノ質問日ニ於テ議事日程十四窒素化合物ニ對スル政策
ニ關スル質問(大口喜六君提出)ハ提出者不在ニ付議長(奥繁三郎君)ハ後廻シト爲ス旨ヲ告ケ
次ノ質問ノ趣旨辯明ヲ許可シタル後大口君ノ出席ヲ俟テ同君ノ趣旨辯明ヲ許可シタリ

五二六 質問ノ趣旨ヲ提出者兩名ニテ辯明ス

第四回議會 明治二十五年十二月五日立川雲平君外四名提出選舉干涉ニ關スル質問ニ付テハ立
川君其ノ趣旨ノ辯明ヲ爲シ次テ長谷場純孝君モ亦提出者トシテ登壇辯明ヲ爲シタリ
參看 二六五號、二六六號

五二七 質問ノ趣旨辯明ニ際シ院議ヲ以テ國務大臣ノ出席ヲ要求シ又ハ質問

者ヨリ其ノ出席ヲ希望ス

質問ノ趣旨辯明ニ際シ特ニ議院ノ決議ヲ以テ當該國務大臣ノ出席ヲ要求シ又ハ院議ニ依ラスシテ
質問ノ提出者ヨリ其ノ出席ヲ希望スルコト尠カラス

(一) 院議ヲ以テ國務大臣ノ出席ヲ要求シタル例

第三十回議會 大正二年三月四日林毅陸君ハ「本員ノ質問ヲ辯明スルニ先チマシテ總理大臣ノ
出席ヲ院議ニ依テ請求致シタイト」トノ動議ヲ提出シ院議多數ヲ以テ之ヲ可決シタリ

(二) 質問者ヨリ國務大臣ノ出席ヲ希望シタル例

第四十七回議會 大正十二年十二月二十三日三木武吉君ハ「私ハ此場合總理大臣ノ御出席ヲ求
メテ、火保問題ニ關シテ緊急質問ヲ致シタイト存ジマス適當ナル御處置ヲ願ヒマス」ト述ヘ議
長(粕谷義三君)ハ「先刻來總理大臣ノ出席ヲ要求シテ居リマスガ只今貴族院ニ出席中デハナ
イカト思ヒマス、尙ホ催促ヲ致シテ見マス其間暫時休憩ヲ致シマス」ト告ケタリ

參看 六〇二號、六一〇號

五二八 國務大臣ノ出席ナキ爲質問ノ趣旨辯明ヲ延期ス

質問ノ趣旨辯明ハ國務大臣ノ出席セルト否トニ拘ラス之ヲ爲スヲ例トスルモ主管ノ國務大臣ノ出席ナキ爲其ノ趣旨辯明ヲ延期シタル例尠カラス

第二十五回議會 明治四十二年一月二十三日議長(長谷場純孝君)ハ花井卓藏君ニ同君提出裁判上軍人ニ授クヘキ權利ニ關スル質問ノ趣旨辯明ヲ許セルニ花井君ハ「兩大臣ガ此席ニ列セラレシ機會ニ於テ私ハ演説ヲシヤウト思フ——陸軍大臣、海軍大臣ノ出席セラレシ時機ニ於テヤリマス」ト述ヘタリ

第三十回議會 大正二年三月四日林毅陸君提出内閣ノ政綱ニ關スル質問ニ付テハ其ノ趣旨辯明ノ際院議ヲ以テ山本内閣總理大臣ノ出席ヲ要求セルニ唯今參内ノ爲出席スルコトヲ得ストノ回答ニ接シ林君ハ「折角ノ院議ヲ汚スノハ残念デアリマスカラ、ソレデハ總理大臣ノ出席サルマデ待チマセウ」ト述ヘタリ

第三十五回議會 大正三年十二月十五日議長(奥繁三郎君)ハ人見米次郎君ニ同君提出ノ銀行業取締ニ關スル質問ノ趣旨辯明ヲ許可セルニ人見君ハ「本員ノ質問セント致シマスルノハ、大藏大臣ニ對シテデアリマス、大藏大臣ハ唯今缺席デアリマスカラ、直グニ出席セラルナラバ本員ハ質問致シマスガ直グ出席スルコトガ出來ナケレバ次回ニ於テ致シタイト思ヒマス、大藏大臣ニ御尋ネ下サルヤウニ……」ト請求シ議長ハ「今豫算委員會ニ出席中デアリマス」ト答ヘタルニ同君ハ「ソレデハ次回ニ御廻シ下サルヤウニト述ヘ趣旨辯明ヲ延期シタリ

五二九 質問ノ趣旨辯明ヲ省略スルノ申出アルトキハ其ノ答辯書ヲ俟テ主意書ヲ速記録ニ掲載ス

質問主意書ハ提出者ノ趣旨辯明アリタル際速記録ニ掲載スルモ豫メ趣旨辯明ヲ省略スルノ申出アルトキハ答辯書ノ提出アリタルトキ併セテ速記録ニ掲載スルヲ例トス

五三〇 會期終了ニ際シ院議ヲ以テ質問ノ趣旨辯明ヲ許可セス

第三十四回(臨時)議會 大正三年九月九日(會期終了日)議事日程ノ議事宣告後鈴木萬次郎君ハ「私カラ質問書ガ出シテゴザイマスガ是ハ日程ノ初メニ其趣意ヲ述ベル譯デアリマスガ是ハドウナリマスカ」ト問ヒタルニ對シ議長(奥繁三郎君)ハ「唯今出タノデ既ニ日程ニ入りマシタカラ日程ヲ變更サレマシタナラバ格別サモナイト日程ヲ議了シタル後デアリマス」ト答ヘ日程議了後議長ハ質問主意書ヲ報告セシメ「質問ノ趣旨ヲ演説シタイト云フコトデゴザイマス

カラ此場合許ス考デアリマス御異議アリマスマイカト諮ヒ(「無用々々」ト呼ブ者アリ)「無用ト云フ聲ガアリマスカラ決ヲ採リマス」ト告ケ之ヲ採決セシニ少數ナリシヲ以テ「少數デゴザイマスカラ質問演説ハ許シマセヌ」ト告ケ之ヲ許可セサリキ

五三一 特別ノ事由アルトキハ質問主意書若ハ質問ノ参考書ヲ速記録ニ掲載セス

第二十六回議會 明治四十三年三月二十二日高木益太郎君外一名提出日本及日本人三月十五日發行第五百二十九號發賣頒布禁止ニ關スル質問ニ對シト部喜太郎君ハ其ノ趣旨辯明中「此ノ論文ノ全部ヲ速記録ニ載セテ置キマスカラ……」ト述ヘ後議長(長谷場純孝君)ハ「ト部君ガ質問ノ末ニ御發議ニナツタ中ニ新聞紙法ニヨリ發賣頒布ヲ禁止セラレタル言論ハ禁止ノ結果他ニ轉載スルヲ得ザルモノト信ジマス、故ニ速記録ニ掲載スルコトハドウデアラウカト考ヘマスガ、併シ此事ヲ御諮リスルツモリデアリマスケレドモ發議者ノト部君モ唯今御闕席ノヤウニ見受ケマスカラシテ、明日此事ハ院議ニ問フテ決定ヲシタイト思ヒマス、故ニ今日ノ速記録ニハ此全文ヲ掲ゲルコトハ見合セ置キマスカラ、左様御承知ヲ願ヒタイ」ト告ケ翌二十三日議

長ハ「昨日ノト部君ノ質問ヲ彼發賣發行ヲ禁止セラレタ「日本及日本人」ト云フ雜誌ノ軍事私議ト云フ項ヲ朗讀ハシテアツタケレドモ其全部ヲ速記録ニ載セタイト云フコトデアリマシタガ、其事ヲ議場ニ御諮ヒヲ致シテ……」ト諮ヒ採決ノ結果本事件ニ限り速記録ニ掲載スヘカラスアルコトニ決セリ

第二十七回議會 大正四年十二月十四日佐々木安五郎君ハ同君提出乃木問題ニ關スル質問ノ趣旨辯明中「朗讀ニ換ユルニ此ノ「日本及日本人」ノ原稿ヲ以テシマス」ト述ヘ速記録ニ掲載セムコトヲ求メタルニ對シ翌年一月二十五日議長(島田二郎君)ハ「豫テ懸案トナツテ居リマシタ佐々木安五郎君ヨリ請求ニ係ル質問ノ參考書トシテ發賣頒布ヲ禁止セラレタル「日本及日本人」ヲ速記録ニ掲載スルヤ否ヤノ件——之ヲ議題ト致シタイ」ト諮ヒ院議多數ヲ以テ議題ト爲シタル際政府ヨリ秘密會ノ要求アリ秘密會ニ移リ後議長ハ秘密會ニ於テ速記録ニ掲載スヘカラスト決シタル旨公開議場ニ宣告セリ

同 大正五年二月一日乃木問題ニ關スル質問ニ付提出者伊東知也君ハ其ノ趣旨辯明ヲ省略スル旨ノ申出ヲ爲ス此ノトキ福田又一君ヨリ伊東君ノ本問ニ關スル質問主意書ハ普通ノ文書ナレハ速記録ニ掲載スヘキモノナルモ之ハ佐々木安五郎君ヨリ提出セラレタル乃木問題ニ關スル「日本及日本人」(前掲)ト同一ナルヲ以テ同一ノ趣旨ニ依リ速記録ニ掲載スヘカラストノ動議

ヲ提出シ院議異議ナク此ノ動議ヲ可決シ從テ此ノ質問主意書ヲ速記録ニ掲載セサリキ

五三二 質問ノ趣旨辯明ニ對スル質疑ハ之ヲ許ササルヲ例トス

第十回議會以來質問ノ趣旨辯明ニ對スル質疑ハ之ヲ許ササルコトナレリ

(一) 院議ニ諮ヒタル例

第十四回議會 明治三十三年二月二十二日星松三郎君ノ宗教法案ニ對スル質問ノ趣旨辯明ニ對シ花井卓藏君ハ質問ニ對スル質疑ハ之ヲ許スヘシトノ動議ヲ提出シ之ニ贊成者アリタルトキ議長(片岡健吉君)ハ之ヲ採決シタルニ少數ニテ否決シタリ

第二十八回議會 明治四十五年三月十九日服部綾雄君ノ對米外交ニ關スル質問ノ趣旨辯明ニ對シ日向輝武君ノ質疑中議長(大岡育造君)ハ「御中言デアリマスガ先例ガアリマスカラ之ヲ諮ルマデチヨット御待下サイ前例ニ依リマスト質問ノ趣旨辯明ニ對スル質疑ハ之ヲ許サザル例ニナツテ居リマス先キニモ之ヲ議場ニ諮ツタル結果ガ斯ウ云フ風ニ定ツテ居ルノデアリマス今新ニ之ヲ許スノ例ヲ開クヤ否ヤヲ諸君ニ諮ルノデアリマス……議事ノ進行上カラ云ヘバ政府ガ答ヘル場合ニ於テノ疑義ヲ質スコトハ當然デアルケレドモ側面ヨリノ質問ハ許サザル例ヲ

守リタイト議長ハ思ヒマスガ如何デゴザイマスカ……御意見ガナケレバ……」日向君「私ハ服部君ノ質問ニ對シテ簡單ナル御辯明ヲ要シタイノデアリマス」議長「ソレデモイケマセヌ既ニ議場ニ諮ツテ先例ヲ守ルコトニ決定致シマシタカラ日向君ノ質問ハ此所ニ止メラレンコトヲ望ミマス」ト告ケタリ

第三十六回議會 大正四年六月八日小林丑三郎君ノ非募債計畫前途ニ關スル質問ノ趣旨辯明ニ對シ田川大吉郎君ハ質疑ヲ爲シタルニ花井卓藏君ヨリ許スヘシトノ新ナル動議ノ出テサル以上先例上之ヲ許スヘキモノニ非ス之ヲ許スヤ否ヤヲ確メタル後之ヲ爲スヘシト述ヘ横田千之助君ハ質問ノ趣旨辯明ニ對シ質疑ヲ許スヘシトノ動議ヲ提出シ議長(島田二郎君)ハ之ヲ採決シタルニ少數ニテ否決シタリ

(二) 院議ニ諮ハサリシ例

第十回議會 明治三十年三月三日小室重弘君外一名提出紀綱紊亂ニ關スル質問ニ付同君其ノ趣旨辯明ヲ爲シタルトキ工藤行幹君ハ之ニ對シ質疑ヲ爲サムトシタルニ議長(鳩山和夫君)ハ「工藤君ニ申シマスガ質問ノ辯明ニ對シテ許シマセヌ」ト告ケタリ

第十四回議會 明治三十三年二月十四日星松三郎君外一名提出東京市ニ關スル質問ニ付同君其ノ趣旨ノ辯明ヲ爲シタルトキ松田秀雄君ハ質問ノ論旨ニ對シ質問ノ演說ヲ爲サムトシタルニ

議長(片岡健吉君)ハ「質問演説ニ向ッテ質問スルトカソレニ對スル演説トカ云フコトハ總テ許サナイコトニナツテ居リマス(中略)議長ハ是マデ許シテ居リマセヌ併シ議場ニ御諮ヒニナツテ議場ガ許スト云フコトナレバ差支ゴザイマセヌ」ト告ケシモ松田秀雄君ハ之ヲ請求セサリキ

第三十七回議會 大正五年二月二十五日早川龍介君ノ曆法ニ關スル質問ノ趣旨辯明ニ對シ小西和君ハ質疑ヲ爲サムトシタルニ副議長(早速整爾君)ハ「質問ニ對スル質問ハ許サナイト云フコトノ慣例ニナツテ居リマス」ト告ケタルニ小西和君ハ「許サレタ慣例モアルヤウデアリマス」ト述ヘ尙許可ヲ求メタルモ副議長ハ「兎ニ角質問ニ對スル質問ハ許サナイト云フコトガ本式デアラウト考ヘマス」ト告ケ之ヲ許ササリキ

參看 二七六號、二九〇號、五三九號

五三三 質問ニ對シ國務大臣ヨリ答辯スヘキ日時ヲ通知シ若ハ言明ス

第一回議會 明治二十三年十二月十二日青木外務大臣ヨリ新井章吾君外三十二名提出條約改正ノ成行竝之ニ關スル將來内閣ノ方針ニ關スル質問ニ對シ來十二月十七日午後一時本院ニ於テ答辯スル旨、同月十五日新井章吾君外三十二名提出陸海軍ノ方針ニ關スル質問ニ對シ大山陸

軍大臣、樺山海軍大臣ヨリ、同教育ノ方針ニ關スル質問ニ對シ芳川文部大臣ヨリ明十六日當議場ニ於テ答辯ヲ爲ス旨、同二十四年三月五日三崎龜之助君外百五名提出條約改正ノ方針ニ關スル質問ニ對シ本日午前十一時ニ、井上角五郎君外三十三名提出朝鮮關係ノ件ニ關スル質問ニ對シ本日午後一時ニ青木外務大臣ヨリ答辯アル旨通知アリタルニ依リ議長ハ孰レモ之ヲ議場ニ報告シタリ

第二回議會 明治二十四年十二月十五日高梨哲四郎君提出東京米商會所ニ關スル質問ニ對シ陸奧農商務大臣ヨリ明十六日ヲ以テ答辯スル旨通知アリタルニ依リ議長ハ之ヲ議場ニ報告シタリ

第四回議會 明治二十五年十二月八日井上角五郎君提出朝鮮政略ノ方針ニ關スル質問ニ對シ明九日陸奧外務大臣本院ニ出席シテ答辯アル旨通知アリタルニ依リ議長ハ之ヲ議場ニ報告シタリ

第三十回議會 大正二年三月八日山本内閣總理大臣ハ林毅陸君提出滿蒙政綱ニ關スル質問(曩ニ院議ヲ以テ同大臣ノ出席ヲ要求セルモノ)ニ對シ「右ニ關シマシテハ目下熟慮審議中デゴザイマス依テ今ヨリ三日間中ニ御答ヲ致シマスル左様御承知置ヲ願ヒタイ」ト述ヘ次回(十一日)ノ會議ニ於テ答辯セリ

五三四 政府ヨリ答辯書ヲ提出セラレタルトキハ之ヲ報告スルモ朗讀ハ省略スルヲ例トス

質問ニ對スル政府ノ答辯ハ主務大臣議場ニ於テ之ヲ演述シ又ハ文書ヲ以テス其ノ文書ヲ以テシタルモノハ議場ニ於テ諸般ノ報告書ト共ニ之ヲ朗讀シタルモ近時之カ朗讀ヲ省略スルヲ例トス但シ院議ニ依リ朗讀シタルコトナシトセス

第四十三回議會 大正九年七月二十六日ノ會議ニ於テ岩崎勳君ハ島田三郎君提出ノ高橋大藏大臣、山本農商務大臣、中橋文部大臣瀆職ノ嫌疑ニ關スル質問主意書及之ニ對スル答辯書ノ朗讀ヲ、島田三郎君ハ同答辯書ノ朗讀ヲ要求シ議長(奧繁三郎君)ハ書記官ヲシテ其ノ朗讀ヲ爲サシメタリ

參看 三一六號

五三五 國務大臣若ハ政府委員口頭答辯ヲ爲シ更ニ書面答辯ヲ爲シ又ハ書面ヲ以テ答辯スヘキ旨ヲ言明ス

質問ノ趣旨辯明アリタルトキ國務大臣若ハ政府委員先ツ口頭ヲ以テ答辯ヲ爲シタル後更ニ書面ヲ

以テ詳細ニ答辯ヲ爲シ又ハ答辯ノ際追テ文書ヲ以テ答辯スヘキ旨ヲ言明スルコト其ノ事例尠カラス

五三六 質問ニ對スル答辯要領ヲ得サル爲衆議院規則第四百十六條ニ依リ國務大臣ノ出席ヲ求メタルニ書面ヲ以テ答辯ス

第三十七回議會 大正五年二月三日小久保喜七君ハ曩ニ提出シタル登極令違反ニ關スル質問ニ對スル大隈内閣總理大臣ノ答辯要領ヲ得サルノ故ヲ以テ衆議院規則第四百十二條(改正第四百十六條)ニ依リ更ニ精細ノ質問ヲ爲サム爲大隈内閣總理大臣ノ出席ヲ求メ同月十六日同大臣ノ出席アリシトキ再ヒ質問ヲ爲シタルニ同大臣ハ「只今小久保君ヨリ縷々御質問デアリマシタガ既ニ過日ノ質問ニ對シテ詳細ナル答辯ヲ致シテ置キマシタガ之ニ満足サレナカッタ存ジマス事ハ頗ル簡單デアリマスガ又頗ル重大ナル問題デアリマスカラ成ルタケ誤解ヲ避ケル爲ニ私ハ充分ナル考慮ヲ致シテ書面デ返答致シマス」ト答ヘ同月二十三日再ヒ書面ヲ以テ答辯セリ此ノ答辯ニ對シ翌二十四日小久保喜七君ハ更ニ衆議院規則ニ依リ出席ヲ求メシモ其ノ後出席ナキ爲同月二十八日日本質問ニ對スル答辯ニ付意見ヲ述ヘタリ

五三七 質問ト關係アル議案ノ議事中國務大臣口頭又ハ書面ヲ以テ答辯ス

第二十三回議會 明治四十年三月二十一日(第二號)明治四十年度歳入歳出總豫算追加案(特第二號)明治四十年度各特別會計歳入歳出豫算追加案ノ會議中奥野市次郎君外五名提出東京大相撲常設館國庫補助ニ關スル質問ニ對シ提出者ヨリ阪谷大藏大臣ニ此ノ際便宜答辯アリタシトノ要求ヲ爲シタルニ同大臣ハ之ニ應シ其ノ答辯ヲ爲シタリ

第三十一回議會 大正三年二月十二日大正三年度豫算案ノ會議中日向輝武君ハ海軍大擴張ノ件ニ關シ質疑ヲ爲シ山本内閣總理大臣ニ説明ヲ求メ議長(大岡育造君)ハ「日向君御著席ニナレバ報告ガアリマス。唯今はダケノ答辯書ガ私ノ手ニ政府ヨリ送ラレマシタ此中ニ唯今御催促ノ質問モ入ッテ居リマスガ此機會ニ於テ朗讀ヲ必要トセラル、ナラバ朗讀サセマセウ」ト諮「議事ノ進行ノタメニ暫ク諸君ハ忍ンデ僅カナル時間ヲ朗讀ニ與ヘラレタ方ガ宜カラウト思ヒマス……朗讀ヲ致サセマス」ト告ケ書記ヲシテ竹越與三郎君提出海軍政策ニ關スル質問ニ對スル答辯書ヲ朗讀セシメタリ

同日右豫算案ノ會議中尾崎行雄君ハ發言ニ先チ「陸軍大臣ノ責任ニ關スル質問……答辯ガ參ッテ居リマスカ」ト問ヒ議長(大岡育造君)ハ「唯今取調ベマス」ト告ケ次テ「先ヅ尾崎君ノ先刻ノ御尋ノ陸軍ノ答辯ハ唯今見テ到著シテ居ルコトヲ發見シマシタカラ此事ヲ御報告ニ及ビマス

……此ノ場合陸軍ノ答辯ヲ御要求ナラバ朗讀致シマス」ト諮ヒ「ヤルベシ」ト呼フ者アリ「朗讀致サセマス」ト告ケ書記ヲシテ之ヲ朗讀セシメタリ

五三八 質問ノ答辯ニ對シ提出者意見ヲ述フ

質問ニ對シ政府ヨリ答辯アリタルトキ提出者ヨリ其ノ答辯ニ關スル意見ヲ述ヘムコトヲ請求シタルハ第四回會議以來ニシテ每會期其ノ事例尠カラス此ノ場合ニハ議長ハ概ネ之ヲ許可スルモ當日ノ質問終了後若ハ議事終了後又ハ次ノ質問日ニ之ヲ許スヲ例トス而シテ近時ハ意見陳述者ノ數多キヲ加ヘ一面陳述ノ機會少ナキ爲順次幅輳シテ十數名ニ登ルコトアリ此ノ如キ場合ハ再質問書ヲ提出スルヲ便トス

第八回議會 明治二十八年三月十九日大竹貫一君外四名提出日英條約ニ關スル質問ニ對シ陸奥外務大臣ヨリ書面ヲ以テ答辯ヲ爲シタルトキ大竹貫一君ハ其ノ答辯ニ對シ意見ヲ述ヘムコトヲ求メタルニ議長(楠本正隆君)ハ當局大臣ノ出席スル時ニ質疑スルカ又ハ更ニ書面ヲ以テ質問スヘシト述ヘタルモ同君ハ尙其ノ發言ヲ請求シ議員中之カ許否ニ付議論アリタルニ依リ議長ハ「此質問答辯ガアツタル場合ニ於テ演說ヲ許スト申スコトニ就イテ同意ノ諸君ハ起立」ト

告ケ起立者多數ナリシヲ以テ同君ノ發言ヲ許可シ同月二十二日齋藤良輔君提出青森大林區署官吏ニ關スル質問ニ對シ書面答辯アリ之ニ對シ提出者ヨリ發言ヲ求メタルトキ議長ハ院議ニ諮フコトナク直ニ之ヲ許可シタリ

此ノ意見陳述ニ對シテハ政府ハ別ニ答辯セサルモノトス

參看 五二四號

五三九 答辯ニ關聯セル質疑ハ提出者以外ノ者ト雖之ヲ爲スコトヲ得

質問ニ對シ答辯アリタル場合ニ之ニ關聯セル質疑ハ提出者以外ノ者ト雖之ヲ爲スコトヲ得ヘキハ第一回議會以來認メラレタル所ナリ即チ明治二十三年十二月十七日新井章吾君ノ爲セル條約改正ノ成行竝之ニ關スル將來内閣ノ方針ニ關スル質問ニ對シ青木外務大臣ノ答辯アリタルトキ三崎龜之助君之ニ對シ發言ヲ求メシニ議長(中島信行君)ハ始メ之ヲ許ササリシカ新井章吾君ヨリ「既ニ此ノ議場ニ於テ質問ヲ爲シ又答辯ヲ爲セル以上ハ此ノ議院ノ問題トナリタルモノナレハ提出者以外ノ者ト雖答辯ニ付充分ナル説明ヲ求ムルヲ得ヘキモノナリ」トノ意見出テ贊成者アリタルヲ以テ三崎君ノ質疑ヲ許可スルコトトセリ爾來之ヲ例トス

第三十一回議會 森田小六郎君提出京都大學紛擾ニ關スル質問ニ對シ大正三年二月三日奥田文

部大臣ノ答辯アリタルトキ林毅陸君發言ヲ求メテ同大臣ノ答辯中進退ニ付テ聖斷ヲ仰クノ言アリシカスノ如キハ「累ヲ宮中ニ及ボスヤウナコトニナルカモ知レナイ、是ハ甚ダ重大ナ點ト考ヘマスカラ、文部大臣ノ御説明ヲ願ヒマス」ト述ヘ奥田文部大臣之ニ對シ答辯ヲ爲セリ

第四十回議會 大正七年二月十九日元田肇君提出米國政府ノ輸出入制限令ニ關スル緊急質問ニ

對シ本野外務大臣ヨリ答辯アリタルトキ早速整爾君ハ其ノ答辯ニ關シ質疑ヲ爲シ同大臣之ニ應答セリ

第五十二回議會 昭和二年三月二十二日堀切善兵衛君提出財界動搖ニ關スル緊急質問ノ會議ニ

於テ片岡大藏大臣ノ答辯ニ對シ堀切善兵衛君、東武君、田崎信藏君ハ質疑ヲ爲シ大藏大臣孰レモ答辯ヲ爲シタリ

然ルニ第三十七回議會大正五年二月十六日小久保喜七君ノ登極令違反ニ關スル再質問ニ對シ大隈内閣總理大臣ハ更ニ書面ヲ以テ答辯スヘキ旨答辯セルトキ廣岡宇一郎君此ニ關聯シテ總理大臣ニ質疑ヲ爲サムトセシニ議長(島田三郎君)ハ「……過日ノ決定ハ此事ニ限ッテ小久保君ノ請ヲ容レルト云フコトニ決シテアリマス」ト告ケ許否ニ付テ廣岡君ト數次ノ應答ヲ重ネ小川平吉君ヨリ廣岡君ニ許可スヘシト發議シタルモ議長ハ規則第四百二十二條(改正第四百四十六條)ニ依リ小久保君ニ許

可セルモノナリ是ハ質問ヲ提出セラレタル本人ニ與ヘラレタル特權ナリト告ケ廣岡君ハ小久保君ニ限定セラレタルニ非ス又先例ヨリ見ルモ之ヲ許スヘシト辯駁シ議長ハ先例ナシ先例ハ第四百十二條ニ依リシモノニ非ス這回カ始テ例ヲ爲スナリ……疑義ハ議長之ヲ決スト告ケ之ヲ許サザリキ而シテ休憩ノ後廣岡君ハ小久保君ノ質問ハ規則第四百十二條ニ依レルモノナルニ更ニ書面ヲ以テ答辯スルハ本條ノ精神ヲ無視シタルモノニシテ議長亦其ノ精神ヲ解セサルモノト謂フヘク又質問日ニ非ストモ質問アリタル以上質問日ト解スルヲ相當トス故ニ提出者以外ノ者ト雖質疑ヲ許可セラレムコトヲ希望スル旨ヲ述ヘタルモ遂ニ其ノコトナクシテ終レリ

【備考】

第四十四回議會大正十年一月二十三日各派協議會ニ於テ本會議ニ於テハ質問ノ答辯ニ對シ質問者以外ノ者ヨリ成ルヘク質疑ヲ爲ササルコトノ申合ヲ爲シタリ

參看 五三二號

第八章 祕密會議

五四〇 祕密會議ハ政府ノ要求若ハ議院ノ決議ニ依リ又ハ懲罰事犯ノ會議ノ際之ヲ開ク

祕密會議ヲ開クトキハ直ニ傍聽人ヲ退場セシム

政府ヨリ祕密會議ヲ要求シ又懲罰事犯ノ祕密會議ヲ開ク場合ニハ其ノ事件ヲ議題ニ供スルト同時ニ傍聽人ヲ退場セシム然レトモ議長若ハ議員ヨリ祕密會議ノ發議アリタル場合ニハ先ツ之ヲ開クヤ否ヲ採決シ其ノ議決ヲ俟テ傍聽人ヲ退場セシム

(一) 政府ヨリ祕密會議ノ要求アリタル場合

第四十五回議會 大正十一年三月十八日尾崎行雄君提出ニ重橋附近ニ起リタル事件ニ關スル緊急質問ノ會議中副議長(粕谷義三君)ハ政府ヨリ祕密會議ノ要求アリタル旨ヲ告ケ直ニ傍聽人ノ退場ヲ命シタリ

(二) 懲罰事犯ノ爲祕密會議ヲ開キタル場合

第四十六回議會 大正十二年三月一日山道襄一君ノ懲罰事犯ニ付議長(粕谷義三君)ハ「懲罰事

第二編 會議 第八章 祕密會議 (五四〇)

議第三七條
議第三八條
議第三九條
議第四〇條

犯ノ議事ハ秘密會デアリマスカラ傍聽人ノ退場ヲ命ジマス」ト告ケタリ

(三) 議長若ハ議員ヨリ秘密會議ヲ開クノ發議アリタル場合

第三回議會 明治二十五年六月十四日稻垣示君提出動議(賄賂事件ニ關シ調査委員ヲ設クル件)ニ付議長(星亨君)ハ「議長ハ秘密會議ヲ開クコトヲ必要ト認メマスガ……秘密會ヲ開クト云フニ同意ノ方ハ起立ナスツテ下サイ」ト告ケ起立者多數ナルヲ以テ傍聽人ヲ退場セシメ秘密會議ヲ開キタリ

第十三回議會 明治三十一年十二月二十三日明治三十二年豫算案會議中星亨君ハ全院委員會ヲ開キ之ヲ秘密會トスルノ動議ヲ提出シ之ニ贊成者アリタルトキ議長(片岡健吉君)ハ全院委員會ヲ開クコト及秘密會トスルコトニ付採決シ多數ヲ以テ可決シタルニ依リ傍聽人ヲ退場セシメタリ

【備考】

第七回(臨時)議會 明治二十七年十月二十日末廣重恭君ハ伊藤内閣總理大臣ニ對シ外交ニ關スル質疑ヲ爲ス爲秘密會議ヲ開カムコトヲ發議シ之ニ贊成者アリタルトキ議長(楠本正隆君)ハ傍聽人ヲ退場セシメテ秘密會議ヲ開クヤ否ノ採決ヲ爲サムトセシニ星亨君ハ「只今マデノ慣例ハドウデゴザイマセウカ違ツテ居リハシマセヌカ」ト問ヒシニ議長ハ「慣例トテハ別ニ確守スル處ノ慣例ハ覺エマセヌ此議院法ニ依ラザルヲ得ヌ……傍聽人諸君ハ止ムヲ得ザル場合茲ニ御退出ヲ請ヒ

マス」ト告ケ傍聽人ヲ退場セシメテ之ヲ採決セリ

參看 一五六號

五四一 秘密會議ニ速記ヲ用キタルトキハ之ヲ密封シテ保存ス

秘密會議ハ刊行スルコトヲ得サルカ故ニ從來秘密會議ノ場合ニハ一切速記ヲ用キサリシモ第十三回議會以來速記ヲ用ウルコトトナレリ但シ政府ノ要求アル場合ニハ之ヲ廢セリ而シテ其ノ速記ハ反文淨書ノ上密封シテ之ヲ保存スルコトトセリ爾來之ヲ例トス

(一) 政府ヨリ要求アリタルモ速記ヲ用キタル例

第三十四回(臨時)議會 大正三年九月五日加藤外務大臣ハ外交ニ關スル質疑ニ對シ辯明ヲ爲ス爲秘密會議ヲ要求シ秘密會ヲ開キタル際同大臣ハ速記ヲ廢止セムコトヲ要求シ一旦速記ヲ廢シタルモ松田源治君ノ動議ニ依リ更ニ速記ヲ用ウルコトトナレリ

(二) 政府ノ要求ニ依リ速記ヲ廢シタル例

第四十五回議會 大正十一年三月十八日政府ハ尾崎行雄君提出二重橋附近ニ起リタル事件ニ關スル緊急質問ニ對シ一應答辯ヲ爲シタル後更ニ同事件ニ關シ秘密會議ヲ要求シ尙速記ノ中止

ヲ求メタルニ右秘密會議ニ於テハ速記ヲ廢シタリ

五四二 院議ヲ經テ委員會ニ於ケル秘密會議ノ會議録ヲ印刷配付ス

第二十回(臨時)議會 秋山定輔君ニ關スル調査ノ件委員會ハ秘密會議トシテ速記ヲ付シ同事件ノ結了後即チ明治三十七年三月二十九日本會議ニ於テ前委員長肥塚龍君ヨリ其ノ速記ヲ公ニセムコトノ請求ヲ爲シタルニ議長(松田正久君)ハ院議ニ諮ヒ之ヲ印刷配付セリ

五四三 秘密會議ハ其ノ會議ニ關係アル國務大臣及政府委員出席ス

秘密會議ノ場合ニ於テハ議事ニ關係アル國務大臣及政府委員ハ其ノ席ニ在ルヲ通例トス
議員ノ懲罰事犯ノ秘密會議ニ於テハ政府ニ全然關係ナキノ故ヲ以テ第二回以來議長ハ書記官ヲシテ國務大臣及政府委員ノ退席ヲ求メシメタリ

五四四 秘密會議ノ結果ハ場合ニ依リ公開議場ニ於テ報告ス

懲罰事犯ニ在リテハ秘密會議ヲ終リタル場合ニ於テ再ヒ議場ヲ公開シ其ノ結果ヲ報告スルハ勿論ナルモ其ノ他ノ秘密會議ニ於テモ尙其ノ結果ヲ公開議場ニテ報告シタルコトアリ左ノ如シ

第九回議會 明治二十九年二月一日明治二十九年豫算案ノ會議中政府ノ要求ニ依ル秘密會議

第十三回議會 明治三十一年十二月二十三日明治三十二年豫算案ノ會議中議員ノ動議ニ依リ

秘密會トシテ開キタル全院委員會

第二十七回議會 明治四十四年二月二十三日政府ノ要求ニ依ル犬養毅君外二名提出決議案ノ秘密會議

第三十七回議會 大正五年一月二十五日政府ノ要求ニ依ル佐々木安五郎君ノ要求ニ係ル雜誌「日本及日本人」ヲ速記録ニ掲載スルヤ否ヤノ件ノ秘密會議

第三十八回議會 大正六年一月二十三日政府ノ要求ニ依ル國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ノ秘密會

第四十八回議會 大正十二年十二月二十七日虎ノ門附近ニ於ケル容易ナラサル不敬事件ノ事實報告ニ付政府ノ要求ニ依ル秘密會議

五四五 祕密會議中懲罰委員ニ付スルノ動議提出セラレタルトキハ議場ヲ公開シタル際之ヲ報告ス

第四十九回議會 大正十三年七月十五日議員田淵豊吉君懲罰事犯ノ件ヲ議決シ公開議場ニ於テ同君ニ對シ謝辭朗讀ヲ命シタル後副議長(小泉又次郎君)ハ「更ニ祕密會議中ノ件ヲ御報告致シマス上埜安太郎君外一名ヨリ中野寅吉君ヲ懲罰委員ニ付スルノ動議ヲ、工藤鐵男君ヨリ原惣兵衛君ヲ懲罰委員ニ付スルノ動議ヲ提出セラレ孰レモ留保スルコトニ致シマシタ」ト報告セリ

第九章 秩序、懲罰及傍聽

第一節 秩序

五四六 議場ニ於テハ略服ヲ許サス但シ無地又ハ之ニ準スヘキ折襟背廣服ノ着用ヲ妨ケス

從來議場ニ於ケル服装ハ略服ヲ禁止セラレタルモ第四十三回議會大正九年七月二日ノ會議ニ於テ議長(奥繁二郎君)ハ「同議會中議場ニ於テ無地若ハ之ニ準スヘキ折襟背廣服ノ着用ヲ妨ケヌコトニ異議ナキヤ」ヲ院議ニ諮ヒ異議ナカリシヲ以テ同會期中ハ議員其ノ他ハ背廣服ヲ着用入場セリ而シテ同月二十八日ノ會議ニ於テ衆議院規則ヲ改正シ無地又ハ之ニ準スヘキ折襟背廣服ノ着用ヲ妨ケサルコトト爲セリ但シ縞又ハ無紋ノ羽織ハ許サレサルモノトス

五四七 議場ニ於テハ新聞紙等ノ配付ヲ許サス

第四十四回議會 大正十年三月十七日決議案(南滿洲鐵道會社ニ對スル監督責任ノ件)ノ會議ニ

於テ濱田國松君ノ贊成演說中當日ノ新聞夕刊ヲ議席ニ配付シ居レル議員ニ對シ議長(奧繁三郎君)ハ……議場デハ參考書ノ外新聞等ノ配付ハ許シマセヌト宣告シタリ

第四十六回議會 大正十二年三月八日辯護士法中改正法律案ノ會議中清水留三郎君ハ……只今辯護士法中改正法律案ガ討議セラレテ居リマス最中、吾々ノ手許ニ東京辯護士會、東京辯護士協會代表者會長ノ名目ヲ以テ、種々ナ宣傳ガ此處ニ參ッテ居ルノデアリマス、議席ニ宣傳致スト云フコトハ前例ガアルマイト思ヒマス之ニ對シテ議長ハドウ云フ所ノ御考ヲ持ッテ居リマスカト述ヘタルニ議長(粕谷義三君)ハ……只今清水君ヨリ御尋ノ事ハ議長ニ於テハ之ヲ許シタ覺エハアリマセヌ、何レ能ク取調ベタ上御答致シマスト答ヘタリ

衆第六七條

五四八 議員ハ議長ノ許可ヲ得テ給仕ヲ附シ、守衛ニ倚リ又ハ杖ヲ用キ議場ニ入ルコトヲ得

疾病又ハ負傷ノ爲歩行不自由ノ議員ハ議長ノ許可ヲ得テ給仕ヲ附シ又ハ杖ヲ用キ或ハ守衛ニ負ハレテ議場ニ入ルコトヲ得

參看 三八號

五四九 疾病又ハ負傷ノ爲縋帶若ハ襟卷ノ儘議場ニ入ルニハ議長ノ許可ヲ要ス

議員ニシテ疾病又ハ負傷ノ爲襟卷又ハ縋帶セル儘議場ニ入り又ハ其ノ儘登壇シテ發言セムトスルトキハ議長ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

五五〇 議長ノ許可ヲ得テ議場内ノ衛生試験ヲ爲ス
議場内ノ空氣其ノ他衛生上ノ試験ヲ行フ爲議長ノ許可ヲ得テ係ノ者數名ヲ議場内ニ入場セシメタルコトハ第十三回議會ヲ始メトシ爾來時々之カ試験ヲ行ハシム

五五一 議長議事若ハ議場整理ニ關シ辯明又ハ注意ス
議事若ハ議場整理ニ關シ議長辯明又ハ注意シタル事例各會期ニ於テ尠シトセス
第三十一回議會 大正三年二月十二日(大正三年度豫算案上程セラレタル當日)日程ニ入ルニ先チ議長(大岡育造君)ハ(前略)此序デニ私ハ議場ノ整理ノ爲ニ一言ヲ致シテ置キマス本日ノ

第二編 會議 第九章 秩序、懲罰及傍聽 第一節 秩序 (五四八—五五一) 五百五十七

議場ノ形勢モ亦甚ダ靜肅ヲ保ツニ困難ナル状態デアリマス已ムヲ得ザレバ遂ニ警戒ヲ加ヘ注意ヲ與ヘ警戒ヲ加ヘテ尙議場整理ノ妨ヲナス人ノアル場合ニハ據所ナク退場ヲ命ジマス……何卒斯様ナコトノナイヤウニ十二分ニ諸君ハ此大切ナル議事ヲ御討論ニナッテ圓滿ニ進行スルヤウニ偏ニ希望致シマス」ト注意セリ

第四十四回議會 大正十年二月十九日武富時敏君外八名提出決議案(内閣不信任ノ件)ノ會議ニ於テ議長(奥繁二郎君)ハ……反對黨ノ演説ガ耳ニ逆フコトガアツテモ忍ンデ御聽ニナルコトヲ望ミマス……尙諸君ニ一應注意致シマス、武富君ハ過日來御病氣デアツタヤウデス、敬意ヲ拂ツテ靜ニ御聽下サルコトヲ望ミマス」ト注意セリ

第四十九回議會 大正十三年七月二日國務大臣ノ演説ニ對スル質疑ニ入ルニ先チ議長(粕谷義三君)ハ「ドウゾ演説ヲセラレマス諸君モ努メテ用語ニ御注意下サレマシテ苟モ他ノ感情ヲ激スルガ如キコトヲ慎マレタク思フノデアリマス又政府ト致シマシテモ出來得ル限り質問者ヲ満足セシムル如キ懇切ナル答辯ヲ與ヘラレンコトヲ望ムノデアリマス」ト述ヘタリ

第五十回議會 大正十四年三月二日政府提出衆議院議員選舉法改正法律案ノ第一讀會ノ續會ニ入ルニ先チ議長(粕谷義三君)ハ「本日上程セラレマシタ衆議院議員選舉法改正ノ事ハ諸君御承知ノ如ク實ニ朝野多年ノ宿題デアリマス茲ニ本日ヲ以テ本案ニ對スル我カ衆議院ノ態度ヲ

決定スルコトニ相成リマシタ本案ハ憲法附屬ノ重大ナル法典デアリマスルカラ之ニ對シテ贊否ノ議論ヲ盡サル、コト、存ジマスルガドウゾ諸君ニ於カセラレマシテモ互ニ他ノ演説ヲ靜肅ニ傾聽セラレ又御演説爲サル諸君ニ於カセラレマシテモ其用語等ニ御注意下サイマシテ最モ嚴肅ノ裡ニ此審議ヲ進メラレムコトヲ切ニ希望致ス次第デアリマス」ト注意セリ

第五十一回議會 大正十五年二月四日土屋清三郎君ノ國務大臣ノ演説ニ對スル質疑ヲ終リタル際岩崎勳君ハ議事進行ニ關スル發言ヲ求メ「只今土屋君ノ言論ハ政府ノ答辯ニ依リテ見マシテモ明ニ不實虛構ノ事實デアルノミナラズ議院法第九十二條ニ所謂無禮ノ言論デアリマス斯様ナ事柄ヲ議長ハ此議場ノ紀律節制ヲ保ツ上ニ於テ何ト考ヘラルルノデアアルカ……」ト問ヒタルニ對シ副議長(小泉又次郎君)ハ「土屋君ノ御質疑ノ大分御議論ノ如クニモ聞ヘマシタガ議長ト致シマシテハ田中大將ガ現役當時ニ在リシ事ヲ御話ノ後ニ其責任トシテ當局ハドウ考ヘルカ左様ニ結論ハ聽イタノデアリマス但シ途中ニ於キマシテハ或ハ九十二條ニ違反スルノ虞アリト見マシタカラ二回ニ互ツテ注意ハ致シテ置イタノデアリマス」ト答ヘタリ

五五二 議長院内取締又ハ傍聽人ノ件ニ付辯明ス

第四十二回議會 大正九年二月十四日武富時敏君外六名提出衆議院議員選舉法中改正法律案ノ將ニ會議ニ付セラレムトシタル際高松正道君ハ議事ノ進行ニ關シ發言ヲ求メ「本日國民ノ權利ニ關シマスル普通選舉法案ノ上程セラル、ニ際シマシテ國民ハ齊シク此重大法案ノ議事ヲ聽カンコトヲ希望シテ、此議院ニ蝟集スルモノデアリマス、然ルニ聞ク所ニ依リマスレバ、本日傍聽席内ニハ、多數ノ私服警官ガ潜伏シテ居ルト云フ風説ヲ聞クノデアリマス、此點ニ就キマシテ私ハ議院法第八十六條ニ依テ、議長ハ之ヲ指揮ヲサレタノデアリマス、若ハ議院規則第八十條乃至第八十五條ノ條項(改正第八十四條乃至第八十九條)ニ依リマシテ、之ヲ御許シニナツタノデアリマス、果シテ然リト致シマスルナラバ、吾々ハ此議場ノ神聖ヲ保ツ上ニ於テ、此事態ヲ明カニシタイト思フノデアリマス、苟モ我憲法ニ依テ保障セラレテ居ル所ノ此議場ハ、至ッテ神聖ナモノデアアルニ拘ラズ、此風説ノ如クンバ、吾々ハ警官ノ監視警官ノ壓迫ノ裡ニ此法案ヲ進ムルト云フコトハ、甚ダ心外ナ事デアラウト思フノデアリマス、此點ニ就キマシテ、明快ナル御答辯ヲ煩シタイト思ヒマス」ト述ヘタルニ議長(大岡育造君)ハ「奇怪ナ事ヲ承ルモノデアリマス、此議場ニハ内外人、官民、苟モ傍聽券ヲ持ツテ居ラヌ者ヲ入レタコトハ無イ筈デアリマシテ、此處ニ潜伏スルモノナドノアル筈ハナイノデアリマス御安心下サイ」ト告ケタリ

第五十回議會 大正十四年二月二十一日牧山耕藏君ハ議事進行ニ付發言ヲ求メ「本日ハ我カ帝國憲法附屬ノ重大法典デアアル衆議院議員選舉法案ガ當議場ニ上程審議セラル、ノデアリマスカラ御互ハ冷靜ニ審議ヲ致シタイト思フノデアリマス私ハ此議事進行ノ上ヨリ致シマシテ國家ノ面目上ヨリ又帝國議會ノ神聖ヲ保持スル上カラ又議會ト民衆トノ意思疏通ノ上カラ觀察ヲ致シマシテ議長ニ一言伺ヒタイト思フ事ガアリマス——ソレハ我ガ衆議院内外ノ警備ニ關スル問題デアリマス本日我ガ衆議院内ニ於テハ多數ノ警察官ガ配置サレ傍聽席ニモ澤山ナル私服ノ警官ガ入レラレテアルノデアリマス又院外ニ於キマシテハ數千ノ警察官ヲ配置シテ我ガ衆議院ヲ包圍サレテ居ルノデアリマス本日此重大ナル法案ニ對シマシテ國民ノ中ニ贊成ノ意ヲ表スル者アリ反對ノ意見ヲ表明スル者モアルノデアリマスガ特ニ此ノ政府案ニ反對ヲ致シマスル所ノ三十有餘ノ有力ナル團體頭山滿君其他ガ參加致シテ居ル所ノ團體ニ於テハ芝増上寺ニ大會ヲ開イテ居ルノデアリマス政府ハ政府案ニ贊成ヲ致ス所ノ團體ヲ援助シ之ニ反對スル所ノ團體ニ對シテハ壓迫干涉ヲ加ヘテ居ル事實ガアルノデアリマス(中略)民意ノ暢達ヲ圖ル政黨内閣ヲ標榜スル所ノ現内閣カスノ如ク民衆ヲ壓迫シ憂國ノ志士ヲ壓迫スルト云フコトハ何事デアアル吾々ハ本日此重大案ヲ審議スル上ニ於テ先以テ議長及内閣總理大臣ニ對シテ此ノ點ニ對スル説明ヲ伺ヒタイトノ質疑ニ對シ議長(粕谷義三君)ハ「本日院ノ内外ニ涉リマ

ス所ノ警戒ニ付キマシテハ是ハ斯ノ如キ大問題ノ上程サレマス場合ニ於テハ先例モアル事デアリマス其以外ニ御答スル必要ハナイト思ヒマス尙院外ニ於ケル取締ニ付テハ議長ノ答辯スル限リデハアリマセヌト答ヘタリ

參看 五九一號、五九二號

五五三 議場騷擾ノ爲休憩ス

議場騷擾ノ爲議長一時休憩ヲ宣告スルハ每會期其ノ例尠カラス

參看 二五〇號

五五四 議院法第八十八條ニ依リ會議ヲ閉ツ

第四十五回議會 大正十一年二月二十四日ノ本會議ニ於テ議場整理ニ關スル先決動議ヲ議題ト爲シ討論ノ際佐々木安五郎君登壇中議場騷擾ヲ極メ議長(奥繁二郎君)ハ議院法第八十八條ニ依リ散會スル旨ヲ宣告シタリ

第四十六回議會 大正十二年二月二十七日安達謙藏君外十一名提出衆議院議員選舉法中改正法律案ノ會議ニ於テ山道襄一君ノ演說中議場騷擾ヲ極メタル爲議長(粕谷義三君)ハ山道君ノ發言ノ中止ヲ求メ「……議場騷擾シテ居リマスカラ本日ハ此議事ヲ中止致シマシテ散會致シマス」ト宣告シタリ

第五十一回議會 大正十五年三月十一日ノ本會議ニ於テ牧野良三君ノ望月圭介君外一名提出決議案ノ趣旨辯明後清水市太郎君ヨリ議員牧野良三君ヲ懲罰委員ニ付スルノ動議ヲ提出シ其ノ趣旨辯明中議場騷擾シタル爲議長振鈴シ次テ議場整理シ難キモノト認メ議長(粕谷義三君)ハ議院法第八十八條ニ依リ會議ヲ中止シテ延會スル旨ヲ宣告セリ

第五十二回議會 昭和二年三月二十四日決算ノ會議ニ於テ清瀬一郎君ノ一身上ニ關スル辯明中議場騷擾ヲ極メタル爲議長(粕谷義三君)ハ「……諸君議場ノ光景ハ諸君御覽ノ通りデアリマス、此儘ニ於テ議事ヲ進メテ行クコトハ頗ル困難ト思ヒマス、今日ハ是ニテ散會致シマス」ト宣告セリ

五五五 議長議員ノ發言ヲ禁止ス

第二編 會議 第九章 秩序、懲罰及傍聽 第一節 秩序 (五四三―五五五)

第四十六回議會 大正十二年二月二十日床次竹二郎君外十一名提出產業組合中央金庫法案第一
讀會ノ會議ニ於テ星島二郎君ノ質疑ニ對スル横田千之助君ノ應答中副議長(松田源治君)ハ田
淵豐吉君ニ對シ發言ヲ禁止スル旨ヲ宣告セリ

第五十回議會 大正十四年二月三日ノ本會議ニ於テ猪野毛利榮君ノ議事進行ニ關スル發言中議
長(粕谷義三君)ハ再三注意ヲ爲シタル後同君ノ發言ハ議事進行ト認メサルニ依リ發言ヲ禁止
スル旨ヲ宣告セリ

第五十一回議會 大正十五年三月二十五日ノ本會議ニ於テ高橋熊次郎君ノ議事進行ニ關スル發
言中副議長(小泉又次郎君)ハ同君ニ對シ屢々注意ヲ爲シタル後「……高橋君ハ再三議長ノ注
意ヲ聽キマセヌ仍テ高橋君ノ發言中デアリマスルガ其發言ヲ禁ジマス……高橋君ノ降壇ヲ命
ジマス」ト宣告セリ

參看 二九五號、三一〇號、三一〇號、三一〇號

五五六 議長議員ノ發言禁止ヲ解ク

第三十一回議會 大正三年二月十六日政府提出營業稅法中改正法律案外十件ノ會議ニ於テ議長

(大岡育造君)ハ黑須龍太郎君ニ對シ警告又ハ注意ヲ與ヘ堀切善兵衛君ノ演說中「黑須君ニ注
意致シマス發言ヲ禁止シマス」ト命シ休憩後ノ會議ニ於テ「先刻黑須龍太郎君ノ發言ヲ禁ジマ
シタガ議事ノ進行上一旦休憩ヲ致シマシタカラ休憩限リヲ以テ解キマス」ト告ケ之ヲ解除シ
タリ

第四十四回議會 大正十年一月二十六日國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ノ會議ニ於テ橋本喜造君
ノ質疑ニ對シ山本農商務大臣ノ答辯中議長(奥繁二郎君)ハ中野寅吉君ニ對シ發言ヲ禁止スル
旨ヲ宣告シタル後安藤正純君ノ質疑ニ對シ中橋文部大臣ノ答辯ヲ爲サムトスルニ當リ「中野
寅吉君先刻發言ヲ禁止シマシタ、ソレハ前ノ農商務大臣ノ答辯中ノ事デアリマス……」ト告ケ
タリ

五五七 議長議事妨害ト認メ議員ノ演說ヲ停止ス

第五十回議會 大正十四年三月二日政府提出衆議院議員選舉法改正法律案ノ第二讀會ニ於テ倉
元要一君ハ本案反對ノ演說中參考文書トシテ多數ノ印刷物ヲ朗讀シテ容易ニ其ノ論旨ヲ進メ
サルニ依リ副議長議長共ニ前後六回ニ涉リ其ノ論旨ヲ進メラレムコトヲ注意シ且參考文書ハ

速記録ニ掲載ノ便宜モアレハ時間ヲ尊重シテ德義上之カ朗讀ヲ止メラレムコトヲ從順シタル際議場騷擾シテ一時休憩シ再開ト同時ニ議長(粕谷義三君)ハ「倉元要一君ノ御演說ニ對シ議長ハ再三注意シタルニ拘ラズ依然トシテ參考文書ヲ朗讀セラレマシテ少シモ其ノ論旨ヲ進メラレマセヌ斯ノ如キハ徒ニ議事ヲ妨害セラレルモノト認メマシテ議長ハ倉元君ノ發言ヲ禁止致シマス」ト宣告セリ越エテ數日則元君吉良君中林君等ヨリノ質疑ニ對シ議長ハ「諸君ノ發言權利ハ最モ重大ナル權利デアリ之ヲ尊重致サナケレバナラヌト云フコトハ論ヲ俟タヌノデアリマス私ハ常ニ此ノ信念ヲ以テマシテ有ユル議事ニ臨ンデ居ルノデアリマス併シナガラ其言論ガ法規ニ關シマスル場合ハ申スマデモナイノデアリマス假令法規ニ明文無イト致シマシテモ若其言論ガ議事ノ進行ヲ妨ゲルモノト認メマシタ場合ニハ議長ハ議長ノ權能ニ於テ之ヲ制止シ得ベキモノト信ジテ居リマス(中略)尙此上同君ガ其參考文書ノ朗讀ヲ繼續セラレマスコトハ徒ニ議場ノ騷擾ヲ醸シ議事ノ妨ゲトナルモノト信ジマシテ議長ハ常識ノ判斷ニ依リマシテ議長ノ權能ニ於テ倉元君ノ發言ヲ停止シタノデアリマス」ト答ヘタリ

五五八 議長議場ノ喧騒ヲ制止スル爲振鈴ス

衆第一八二條

振鈴ハ議長躬ラ之ヲ爲ス

議場喧騒シ議長靜肅ヲ注意スルコト數次ニ及フモ尙靜肅ニ至ラス喧騒益甚シキトキハ振鈴ス左ノ場合はナリ

第一回議會 明治二十三年十二月一日衆議院規則起草委員選舉ノ件ニ關スル會議ニ於テ傍聽ヲ許スヤ否ノ討議中、同年二月六日及同月二十一日豫算案ノ會議中

第二回議會 明治二十四年十二月二十二日豫算案歲出經常部海軍省所管ノ會議ニ於テ樺山海軍大臣ノ演說中

第三十一回議會 大正三年二月十四日關直彦君外五名提出營業税法廢止法律案外十件ノ會議ニ於テ伊藤大八君提出十二時ヲ經過スルモ議事ヲ延長シテ各案ヲ議了スヘシトノ動議ニ對シ川原茂輔君ヨリ討論終局ノ動議出テ其ノ採決ニ付テノ宣告中

第四十二回議會 大正九年二月十四日坂本金彌君提出衆議院議員選舉法案ヲ委員ニ付託シタル後小山松壽君、三木武吉君ヨリ議事ノ進行ニ關シ發言中

第四十五回議會 大正十一年二月十四日早速整爾君提出及大口喜六君提出豫算返付ノ動議採決中

第五十一回議會 大正十五年三月十一日ノ本會議ニ於テ清水市太郎君提出議員牧野良三君ヲ懲

第二編 會議

第九章

秩序、懲罰及傍聽

第一節 秩序

(五五八)

五百六十七

罰委員ニ付スルノ動議ノ趣旨辯明中

第五十二回議會 昭和二年三月二十四日大正十四年度歳入歳出總決算ノ會議ニ於テ清瀨一郎君ノ演說中

振鈴ハ議長躬ラ之ヲ爲スモノトス

第二十五回議會 明治四十二年三月十八日議事日程ノ會議ニ入ルニ先チ松田源治君ハ「ソレデ號鈴ハ副議長タル肥塚君ガ命ジテ號鈴ヲ振ラシタモノデアルカドウカト云フコトガ質問ノ一デゴザイマスソレカラ若シ第二議長タル職分ヲ行フトコロノ副議長ガ命ジテ號鈴ヲ振ラセルモノトシタナラバ此號鈴ト云フモノハ書記官ガ代理スルト云フコトガ出來ルカドウカト云フコトガ第二ノ質問デアアルトノ問ニ對シ議長(長谷場純孝君)ハ次ノ會議日ニ於テ「第一問ニ付テハ本職不在中ノ出來事デアリマシタカラ當時ノ狀況ヲ副議長及書記官長ニ質シタルニ副議長ハ振鈴ヲ命ジタル覺ナシトノコトデアリマス、書記官長ノ云フ所ニ依レバ振鈴ハ事實デ津久井書記官ガ鈴ヲ振タト云フコトデアリマス同書記官ノ始末書及上申書ヲ徴シテアリマス之ヲ見マスト津久井書記官ハ全ク副議長ヨリ命令ヲ受ケタルモノト心得テ振鈴シタノデアリマス併シ副議長ハ之ヲ命令セヌトノコトデアリマスカラ振鈴ハ誤解ニ出デタルモノト認メラレマス第二問ノ振鈴ハ議長自ラ爲スヘキモノナルヤ否ニ付テハ本職ハ議院ノ神聖ヲ保ツ爲ニ議

長躬ラ爲スベキモノト信ジマス」ト答ヘ松田源治君ハ答辯ニ満足シタル旨ヲ述ヘタリ

五五九 議員ノ身上ニ關スル議事中ト雖關係議員ハ退席スルヲ要セス

議員自己ノ懲罰事犯ノ會議ニ列席スルコトヲ得サルハ衆議院規則ニ規定スル所ニシテ唯自ラ辯明セムトスルトキハ議長ノ許可ヲ得テ之ヲ爲スコトヲ得ルモ辯明ヲ終リタルトキハ退席セサルヘカラス然レトモ懲罰事犯ノ會議ニ非サル限り身上ニ關スル議事中ト雖關係議員ハ退席スルヲ要セス

第二十三回議會 明治四十年三月十九日議員ノ行動カ本院ノ體面ニ關スルモノアリトシ委員ヲ設ケテ之ヲ調査セシメタル件院議ニ付セラレタルニ關係議員ハ孰レモ議席ニ著ケリ(總テ八名内一名ハ病氣缺席)而シテ其ノ表決ニ際シ神崎東藏君ヨリ高梨哲四郎君外七名ノ諸君ハ自己ノ身上ニ關スルモノナルヲ以テ當然此ノ表決ニ加ハラサラムコトヲトノ動議ヲ提出シ贊成者アリ成立シタルモ後神崎君ハ前ノ發言ハ德義上當然退席セラレテ然ルヘシトノ意味ナリ依リテ議長ヨリ更ニ退席ノ勸告アリタシト述ヘタルニ議長(杉田定一君)ハ「德義上自カラ退クノハ兎モ角モ議長カラ退場然ルベシト云フコトハ申サレマセヌ、ソレデ神崎君ノ說ニ付イテハ採決シマセヌ」ト告ケ關係議員ハ退席ヲ爲ササリキ

五六〇 議員自己ノ行動ニ付陳謝ス

第二十七回議會 明治四十四年三月十六日政府提出軍人恩給法中改正法律案ノ會議ニ於テ寺内陸軍大臣ハ發言ニ際シ藏原君ヲ音讀シ次テ訓讀シタルモ藏原君ハ其ノ取消ヲ求メ且議長ノ許可ヲ經ス登壇セルニ依リ議長(長谷場純孝君)ハ著席ヲ命シ之ヲ聽カサリシヲ以テ守衛長ヲシテ退去セシム然ルニ菅原傳君ハ「藏原君ノ行爲ハ謝罪スベキ價ハアルト思ヒマス……願クハ議長ヨリ藏原君ニ謝罪ヲ述ベラレンコトヲ要メラルヤウ……」ト發議シ議長ハ「此場合ニ於テ藏原君ハ相當ノ謝意ヲ御述ベニナル方ガ議長モ議院ノ神聖ヲ保ツタメニ……議場ニ御述ベニナル方ガ宜カラウト思フ」ト注意シ菅原君ハ藏原君ノ聲明ニ對シ更ニ議長ニ請求シ議長ハ「藏原君ハ潔ク此議場ノ神聖ニ對シテ一言謝辭ヲ述ベラレルハ相當デアラウト思ヒマスカラ更ニ注意ヲ與ヘマス」ト告ケタルニ藏原君ハ「私ハ謝意ヲ表スルト云フコトヲ諸君ニ聲明スル」ト述ヘタリ

第二十八回議會(明治四十五年二月二十日)一件、第四十四回議會(大正十年二月十二日)一件、第

五十回議會(大正十四年三月十四日及同月二十三日)四件、第五十一回議會(大正十五年二月二十一日)ニ一件同一ノ事例アリ

五六一 院議ヲ以テ引用文書ノ發表ヲ命ス

第三十一回議會 大正三年二月二十一日ノ會議ニ於テ奥繁三郎君提出院議ヲ以テ藏原惟郭君ニ其ノ引用シタル文書發信人ノ氏名住所日附宛名等全部ヲ明ニセシムヘシトノ動議多數ヲ以テ可決セラレ議長(大岡育造君)ハ「……仍テ藏原君ニ院議ヲ以テ……其信書ノ即チ發信人ノ氏名住所日附宛名ヲ全部明カニスルコトヲ命ジマス」ト宣告セルニ藏原君ハ院議ハ尊重スヘキモ國家ノ爲暫ク保留シ置ク旨ヲ述ヘ議長更ニ之ヲ注意セルニ發表ノ機會ハ之ヲ保留スト云ヒ議長ハ「院議ノ執行ニ此ノ如ク注意ヲ與ヘテモ……再三君ノ爲ニ注意ヲ致シマス……藏原君ハ此ノ如ク懇切ニ注意ヲ與ヘ勸告ヲスルト雖モ尙院議ニ從ハザルモノト見ザルコトヲ得ヌノデ甚ダ私ハ悲シミマスガ現ニ此ノ如キコトハ諸君ノ實見セララル通リデアリマス」ト告ケ村松恆一郎君ハ發信者ノ氏名發表ヲ當然ト思惟スルノ意見ヲ述ヘ次テ奥繁三郎君ノ動議ニ依リ藏原君ハ議院ノ命令ニ抵抗セルヲ以テ懲罰事犯トシテ懲罰委員ニ付セラレタリ委員會ハ同月

二十四日同君ヲ出席停止ニ週間ニ處スヘキモノト決シ同日ノ本會議ニ於テ委員會報告ノ通議決セリ

參看 五七〇號、五七一號

五六二 院議ヲ以テ議員ニ處決ヲ促ス

第二十回(臨時)議會 明治三十七年三月二十六日ノ會議ニ於テ秋山定輔君ニ關スル調査委員會ノ報告ヲ是認スルヤ小河源一君ヨリ秋山定輔君ハ本院ノ決議ニ鑑ミ處決スヘキモノト議決ストノ緊急動議ヲ提出シ大岡育造君ハ衆議院ハ議員秋山定輔君ニ同君カ主宰スル二六新報本月十六日發兌内閣彈劾問題ニ對スル論說ニ關シ自ラ處決セラレンコトヲ望ムトノ修正動議ヲ提出シ院議右修正動議ヲ可決シタルヲ以テ同君ハ翌日辭表ヲ提出シ同月二十九日院議同君ノ辭職ヲ許可スルニ決セリ

第四十三回議會 大正九年七月二十六日ノ會議ニ於テ日程ヲ變更シテ小川平吉君ハ同月二十三日議員島田三郎君提出高橋大藏大臣、山本農商務大臣、中橋文部大臣瀆職ノ嫌疑ニ關スル質問ハ虛構ノ言說ヲ以テ人ノ名譽ヲ傷ケ議院ノ神聖ヲ汚シタルモノト認ム島田三郎君ハ右質問ニ

對シ速ニ引責處決スヘシトノ決議案ノ趣旨ヲ辯明シ翌日ノ會議ニ於テ多數ヲ以テ可決シ議長(奥繁二郎君)ハ本案可決ノ宣告ヲ爲スヤ島田君ハ「本員ハ此不當ノ決議ニ服從シマセヌ」ト述ヘ一時休憩後川原茂輔君ノ動議ニ依リ島田君ハ院議ヲ無視シタルモノトシテ懲罰委員ニ付シ委員會ハ翌二十八日同君ヲ除名スヘキモノト決シ報告書ヲ議長ニ提出シタルモ會期終了ノ爲本會議未決ニ終レリ

第五十一回議會 大正十五年三月二十日ノ會議ニ於テ議員梅田寬一君ノ行動ニ關スル調査ノ件委員長ノ報告ヲ是認スルヤ湯淺凡平君ハ決議案(議員梅田寬一君ノ處決ニ關スル件)ヲ提出シ院議多數ヲ以テ可決シタルヲ超エテ二十五日梅田寬一君ヨリ書面ヲ以テ自決ノ院議ニ服スル能ハサル旨ノ回答ニ接シタルモ當日ハ會期終了日ノ散會前ニシテ而モ議場騷擾休憩等ノ爲其ノ旨議場ニ報告スルノ暇ナク衆議院公報ニ掲載シタリ

五六三 議長ノ制止ニ從ハス議場ノ妨害ヲ爲スモノハ退場ヲ命セラル

議長ノ制止ニ從ハス議場ノ妨害ヲ爲ス者ハ登壇中タルト議席ニ在ルトヲ問ハス退場ヲ命セラル第三回議會以降其ノ事例尠カラス

五六四 退場ヲ命セラレタル議員其ノ事件終了シタルトキ再ヒ入場ヲ許サル
退場ヲ命セラレタル議員ハ當日ノ會議ヲ終ル迄議場ニ入ルヲ得サルヲ本則ト爲スモ議長ノ許可アルトキハ再ヒ入場スルコトヲ得ルモノトス

第四十四回議會 大正十年一月二十九日政府提出臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案ノ會議ニ於テ中野正剛君ノ質疑中佐々木安五郎君ニ對シ退場ヲ命シタルモ其ノ後押川方義君提出植民省設置ニ關スル建議案ノ議事ニ入ルニ先チ議長(奧繁三郎君)ハ「……押川君ト同志ノ佐々木安五郎君ニ退場ヲ命ジマシタガ押川君ノ演說茲ニ此時ヨリ以後出席ヲ許シマス」ト告ケ入場ヲ許可セリ

第五十二回議會 昭和二年一月二十七日田崎信藏君ノ議事進行ニ關スル發言中古川清君ハ退場ヲ命セラレタルカ日程第一第二ヲ議了シ次テ日程第三乃至第六ヲ一括議題トシ其ノ質疑中議長(粕谷義三君)ハ「此際古川清君ノ入場ヲ許シマス」ト告ケ其ノ入場ヲ許セリ

五六五 議長退場ノ命ヲ取消シ特ニ注意ヲ爲ス

議長議場ノ靜肅ヲ注意、警告シ議員其ノ制止ニ從ハサルトキハ退場ヲ命セラル然ルニ左ノ場合ニ於テハ同僚ノ保證アルニ依リ特ニ退場ノ命ヲ取消シタリ

第三十一回議會 大正三年二月十日關直彦君外五名提出決議案ノ議事中議長(大岡育造君)ハ本案ハ大切ノ問題ナルニヨリ非常ノ注意ヲ以テ靜肅ヲ保タムコトヲ求メ屢々靜肅ヲ注意セリ然ルニ松田源治君ノ演說中議長ハ又靜肅ヲ注意セルモ尙議場騷擾シ終ニ黑須龍太郎君ニ對シ退場ヲ命シタリ其ノ執行中議長ハ「倍テ黑須君ハ屢々其席ヲ離レテ彼ノ通りノ行動ヲ爲サレタニ依テ私ハ退場ヲ命ジタノデアリマス併シナガラ名譽アル同志會ノ總務武富時敏君ガ來テ以來ハ靜ニサセルト云フコトノ保證ガアリマスカラ暫ク前ノ命令ヲ取消シテ後ノ靜肅ヲ待チマス」ト宣告シ退場ノ命ヲ取消シタリ

五六六 議長ハ退場ヲ命セラレタル議員ニ對シ退席中ノ經過ヲ報告セス

第三回議會 明治二十五年六月二日退場ヲ命セラレタル田中正造君ハ議長ノ許可ヲ得テ入場シタルトキ「唯今闕席中ニドウ云フ結果ニナリマシタ……氏名點呼ハ……出席人ハ幾人デアツ

テドウ云フ……聽カナケレバ分ラヌ」ト問ヒタルニ議長(星亨君)ハ退場ヲ命ジタノデアルカラ其ノ間ニ起ッタコトハ報告ヲスル必要ハナイ書記官ノ所デ御聽ニナッタガ宜イ」ト告ケ之ヲ報告セサリキ

五六七 退場ノ命令ニ從ハサルトキハ守衛之ヲ執行ス

議長ノ制止ニ從ハサル議員ニ退場ヲ命シ議員之ニ從ハサルトキハ守衛ハ議長ノ命ニ依リ強制シテ退場ヲ爲サシム

第三回議會 明治二十五年六月二日議長ノ處置ニ關シ其ノ是非ヲ院議ニ諮ヒタルニ異議申立アリタルニ依リ更ニ氏名點呼ノ際議長(星亨君)ハ尾崎行雄君ニ退場ヲ命シタルニ尾崎君ハ「腕カラ以テスルノ外決シテ動カヌ」ト應セサルヨリ議長ハ「宜シイ引出セ」トテ守衛ニ命シ退場セシメタリ尙相次テ福田久松君、田中正造君、鈴木萬次郎君ニ退場ヲ命シ孰レモ守衛ヲシテ退場セシメタリ

第十三回議會 明治三十一年十二月十六日議員重野謙次郎君負傷ノ件ノ報告ニ際シ星亨君ハ「イヅレ反對黨ノヤツ等デセウ」ト言ヒタル言辭ニ對シ田中正造君ハ議長席ニ殺到シテ其ノ發

言ノ許否ニ付質疑ヲ爲シタルニ議長(片岡健吉君)ハ「席へ御著キナサイ……此處デハ應接ヲシマセヌ」……田中君ニ退場ヲ命ジマス……引出出セ」トテ守衛ヲシテ退場セシメタリ

第二十八回議會 明治四十五年二月十三日明治四十五年豫算案ノ會議中遠藤良吉君ハ自席ヲ離レテ他ノ席ニ至リ怒號シ且齋藤宇一郎君ヲ毆打セシカハ議長(大岡育造君)ハ「遠藤君ニ退場ヲ命ジマス……守衛長議長ノ命令ヲ執行セヨ」トテ守衛長ヲシテ退場セシメタリ

第三十六回議會 大正四年六月九日武藤金吉君ノ演說中議長(島田三郎君)ハ同君ニ對シ屢々注意ヲ爲シタルモ之ニ應セサリシ爲「演壇ニ於テ數々注意ヲ與ヘテ其命ニ從ハズ更ニ禁止スルト云フ命ヲ下セバ禁止セラルル理由ガナイト此處デ拒マレルノデアリマスソレ故第三ノ手續トシテ退場ヲ命ジタノデアリマス……更ニ退場ヲ命ジテ守衛ノ執行ヲ拒マルルノデアリマスカ」ト告ケタルモ同氏尙退場セス議場騒然タリシヲ以テ暫時休憩ヲ爲シ更ニ開會シテ「先刻議長ノ命ヲ御拒ミニナッタニ付テ懲罰委員ニ付スルコトニ致シマス」ト宣告シタリ

參看 五六三號

五六八 議院ノ規律節制ニ關シ議決ス

第五十回議會 大正十四年三月十四日箕浦勝人君外四名ヨリ議院ノ規律節制ニ關スル決議案ヲ提出シ即日全會一致ヲ以テ之ヲ可決シタリ

決議

世情人心安定ヲ缺キ動モスレハ常規ヲ逸スルノ時ニ方リ議會ハ宜シク嚴肅公正範ヲ中外ニ示ササルヘカラス

茲ニ衆議院ハ院内近時ノ狀態ニ鑑ミ各相戒メ秩序ヲ重ムシ典例ヲ守リ以テ議會ノ神聖ヲ保維セムコトヲ期ス

右決議ス

五六九 議場内ニ交渉係ヲ設ク

第五十回議會 大正十四年二月五日各派協議會ヲ開キ議場靜肅ニ關スル件ニ付申合ヲ爲シ其ノ第一項ニ於テ

議場内ニ於ケル發言通告其ノ他ノ用務ハ總テ各派交渉係ヨリ書記官長又ハ書記官ニ交渉スルコトトシ如何ナル場合ニ於テモ多數登壇シ議長席又ハ演說者ニ迫ルカ如キコトヲ爲サザ

ルコト而シテ右交渉係ハ各派三名トスルコト

ヲ協議決定シ尙登壇交渉スルニハ成ルヘク交渉係ノ内一名ナルコトヲ申合セ爾後ノ會議ニ於テ之ヲ實行シタリ

第二節 懲罰

五七〇 議長職權ヲ以テ懲罰委員ニ付ス

議員ハ二十人以上ノ賛成アルニ非サレハ懲罰ノ動議ヲ提出スルコトヲ得サルモ議長ハ議事規則又ハ議場ノ秩序ヲ紊ルモノニ對シ警戒シ、制止シ又ハ發言ノ取消ヲ命シ之ニ從ハサルトキハ職權ヲ以テ直ニ懲罰委員ニ付スルコトヲ得而シテ第五十回議會ニ於テ衆議院規則改正ノ際議長ノ懲罰權ノ範圍ヲ擴張シ會議、委員會、部ノ外議院内部ニ於ケル懲罰權ヲ認メタル結果實際ニ於テハ事實ノ調査其ノ他ニ日子ヲ要スヘキヲ以テ第五十一回議會大正十五年三月十三日ノ會議ニ於テ議長(粕谷義三君)ハ議長ノ懲罰ニ對シテノ宣告ハ懲罰動議ノ如ク事犯後三日以内ト云フ期間ニ拘束セラレサルモノト解スルニ異議ナキヤヲ諮ヒ院議異議ナク之ヲ承認セリ

議第九八條
衆第二〇五條

(一) 直ニ懲罰委員ニ付シタルモノ
第十三回、第三十一回、第三十六回、第三十七回、第三十九回議會ニ各一件、第四十四回議會ニ五件、第四十五回議會ニ三件、第四十六回議會ニ二件、第四十九回議會ニ一件、第五十回議會ニ二件、第五十一回議會ニ一件

(二) 日ヲ隔テテ懲罰委員ニ付シタルモノ
第五十回議會ニ六件(事犯後二日目ニ宣告シタリ)
第五十一回議會ニ三件(事犯後十日目ニ宣告シタリ)

參看 附錄一一

五七一 院議ヲ以テ懲罰委員ニ付ス

議院ノ體面ヲ汚シ、議場ノ騷擾ヲ醸シ、議院ノ命令ニ抵抗シ若ハ無禮ノ言語ヲ用キ又ハ無届闕席等ノ理由ニ依リ懲罰委員ニ付スルノ動議成立スルトキハ衆議院規則第二百四條ニ依リ議長ハ討論ヲ用キスシテ議院ノ決ヲ取り委員ニ付スルヤ否ヲ決ス而シテ院議ヲ以テ之ヲ委員ニ付シタル場合ヲ舉クレハ左ノ如シ

(一) 議院ノ體面ヲ汚シタル者
第五回議會二件、第十三回、第二十五回、第二十八回、第四十二回議會各一件、第四十三回議會二件、第四十五回議會ニ一件

(二) 議場ノ騷擾ヲ醸シタル者
第五回、第三十六回、第三十七回、第四十五回、第五十回議會ニ各一件

(三) 議院ノ命令ニ抵抗セル者
第三十一回、第四十三回議會ニ各一件、第四十五回議會ニ二件

(四) 無禮ノ言語ヲ用キタル者
第三十九回、第四十回、第四十四回、第四十六回議會ニ各一件、第四十九回議會ニ二件

(五) 無届闕席ノ者
第一回議會ニ一件

參看 附錄一一

【備考】

議場委員會及部ノ外ニ起リタル事件ハ之ヲ懲罰委員ニ付セサルハ從來法規先例ノ認ムル所ニシテ其ノ事例ハ左ノ如シ

第四十二回議會大正九年二月十四日院內廊下ニ起リタル事件ニ關シテハ同月十九日會議ノ始ニ於テ議長(大岡育造君)ハ

第二編 會議

第九章

秩序、懲罰及傍聽

第二節 懲罰

(五七一)

五百八十一

「去ル十四日院内ニ生シタル警察事項ニ關スル調査ヲ爲シ將來斯ノ如キ事態ノ發生ヲ避ケル途ヲ講スル爲メ特別委員ヲ設置スルコトデアリマス御異議アリマセヌカ」ト諮リ院議十八名ノ委員ニ付託スルニ決シタルモ議會解散ノ爲委員會ノ報告ヲ綴ルニ至ラザリキ

第四十五回議會大正十一年一月二十五日院内喫煙室ニ於テ起リタル事件ニ關シ本田恆之君ヨリ懲罰委員ニ付スヘシトノ動議ヲ提出シタルニ採決ノ結果懲罰委員ニ付スヘカラスト議決シタリ

第五十回議會大正十四年二月三日第三回ノ休憩中議場内ニ起リタル事件ニ付同月五日ノ會議ニ於テ伊坂秀五郎君ハ議事進行ニ關スル發言ヲ求メ「…議長ハ更ニ再考セラレテ能ク事柄ヲ調査アツテ懲罰ニ付セラレムコトヲ希望致シマス」ト述ヘタルニ對シ議長(粕谷義三君)ハ「…此事ニ關シマシテハ守衛長ヨリ議長ニ對スル報告ガアリマス、何レ被害者ノ御出席ヲ待チマシテ考慮致ス考デアリマス：…」ト答ヘタリ然ルニ此ノ事件ニ關シテハ三月十五日議長ハ所信ヲ披瀝シ院議全會一致ヲ以テ議院ノ規律節制ニ關スル決議案ヲ議決シ且同日及同月二十三日ノ議場ニ於テ關係者執レモ該事件ニ關スル行動ニ付被害者並同僚ニ對シ謹テ陳謝スル旨ヲ述ヘ被害者亦之ニ依リ釋然氷解シタル旨ヲ表明シ以テ本件ハ圓滿ナル解決ヲ告ケタリ

同三月二日休憩中議場廊下ニ起リタル事件ニ關シ同月五日中午林友信君ノ議長ニ對スル質疑ニ對シ議長(粕谷義三君)ハ斯ノ如キ暴行事件ノ惹起セシコトニ對シテハ限りナキ遺憾ノ意ヲ表スルト同時ニ被害者ニ對シテハ深甚ナル同情ノ念ヲ禁スル能ハサルモ議場外若ハ休憩中ニ起リタル事件ニ關シテハ懲罰委員ニ付スルニ由ナキ旨ヲ述ヘタリ

斯ノ如ク議場委員會及部ノ外ニ起リタル事件ハ法規ニ明文ノ存セサル爲懲罰委員ニ付スルコトヲ得サリシモ第五十回議會大正十四年三月二十四日衆議院規則改正ノ結果爾今議院内部ニ於テ懲罰事犯アルトキハ議長ハ之ヲ懲罰委員ニ付スルコトヲ得ルコトナレリ

五七二 懲罰委員ニ付スルノ動議提出セラルルトキハ發言中又ハ表決中ト雖討論ヲ用キスシテ直ニ之ヲ採決ス

會議中懲罰委員ニ付スルノ動議提出セラルルトキハ議員ノ發言中又ハ表決中ト雖討論ヲ用キスシテ直ニ之ヲ會議ニ付スヘキコトハ第一回議會以來認ムル所ノ慣例ナルヲ以テ第五十回議會規則改正ノ際明ニ其ノ旨ヲ規定シ且懲罰ノ動議ハ事犯後三日以内ニ之ヲ爲スヘキコトハ議院法ノ命スル所ナルモ近時會議ハ隔日ニ開クノ慣行トナリタルヲ以テ往々其ノ機會ヲ失スルノ虞ナシトセス依テ懲罰ノ動議ハ必スシモ會議中ニ提出スルヲ要セス散會後書面ヲ以テ爲スヲ妨ケス苟モ事犯後三日以内ニ提出セラレタルトキハ最近ノ會議ニ於テ之ヲ議題ト爲スヘキコトナレリ

第一回議會 明治二十四年二月四日山田東次君提出豫算案ノ表決ニ關スル動議ノ氏名點呼中鹽田與造君ハ隣席ノ議員ニ代リテ點呼ニ應シタルヲ以テ太田實君ヨリ同君ヲ懲罰委員ニ付スヘ

シトノ動議ヲ提出シ議長(中島信行君)ハ點呼ヲ終リタル後之ヲ採決スヘシト告ケタルニ異議アリタルニ依リ點呼ヲ中止シ懲罰委員ニ付スルノ動議ニ付テ採決ヲ爲シタリ

第五十回議會 大正十四年二月三日床次竹二郎君外二十名提出市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案外一件ノ第一讀會ニ於テ高田耘平君ノ質疑中議長(粕谷義三君)ハ「横山君ニ發言ヲ許シマス」ト告ケ横山金太郎君ハ登壇シ議員原惣兵衛君並牧山耕藏君ヲ懲罰委員ニ付スルノ動議ヲ提出シ其ノ趣旨辯明ヲ爲シ次テ議長ハ右動議ヲ採決セリ

五七三 議長懲罰委員ニ付スルノ動議ヲ保留ス

懲罰委員ニ付スルノ動議提出セラルルトキハ討論ヲ用キシテ直ニ之ヲ會議ニ付スヘキコトハ勿論ナルモ左ノ場合ニ於テハ一ハ特別ノ動議可決セラレタル爲一ハ祕密會議中ニ提出セラレタル爲孰レモ議長ニ於テ該動議ヲ保留シタリ而シテ祕密會議中ニ提出セラレタル懲罰動議ハ公開議場ニ於テ處理スルモノトス

第三十一回議會 大正三年二月十六日政府提出營業税法中改正法律案外十件ノ會議ニ於テ武藤金吉君ハ議員藏原惟郭君、鈴木萬次郎君懲罰事犯ノ件ヲ即今院議ニ付スヘシトノ動議ヲ提出

シ議長(大岡育造君)ハ討論ヲ用キス直ニ之ヲ採決セムトセルニ鈴置倉次郎君ハ「昨日此税法ノ各案ガ議了スルマデハ動議若クハ質問ト云フモノハ禁ジテアル筈ト存ジマス仍テ今武藤君ノ動議ノ出ツベキ筈ハナイト思ヒマス」トノ注意ヲ爲シ武藤君ハ「此營業税法外九件ノ議了スルマデハ議長ノ御手許ニ保留ヲ願ヒマス」ト述ヘ議長ハ「議長ハ本議場ニハ重大ノ問題ノ横ッテ居ルガ爲メニ格別ナル動議ガ提出サレテソレガ決定サレテ居リマスカラシテ御説明ハ聽キマシタケレドモ是ハ今取上グベキ問題ニハナラヌト信ジマス」ト宣告セリ翌十七日ノ會議ニ於テ川原茂輔君ハ昨日武藤金吉君ヨリ提出ノ懲罰事犯ノ動議成立セルヤ否ニ付質疑ヲ爲シタルニ議長(大岡育造君)ハ「……議長ノ見解ハ……同ジ意味ニ於テ預ツテ居ルノデアリマス……武藤君ガ動議ヲ出サルルコトニ付テハ勿論權利デアリマスケレドモ之ヲ取上ゲテ議ニ付スルノ時ニアラズト云フ意味ヲ以テ御答ヲシタノデアリマス御承知ニナリマシタカ」ト告ケ又小河源一君ヨリ武藤君ノ緊急動議ハ成立セルモノニ非ストノ意見ヲ述ヘシニ議長ハ「ソレハ事實ヲ能ク報告ヲ致シテ置キマスガ昨夜案ヲ具ヘテ持出サレタノデアリマス而シテ其提出者ハ……外二十三名ノ連記賛成ガ表シテアリマス其事實ハ御承知ヲ願ヒマス」ト辯明シ該動議ハ成立シタルモノトシテ議長ニ於テ保留シタリ但シ動議ハ院議ニ付スルニ至ラザリキ

第四十九回議會 大正十三年七月十五日議員田淵豐吉君懲罰事犯ノ會議ニ於テ上埜安太郎君外

一名ヨリ中野寅吉君ヲ、工藤鐵男君ヨリ原惣兵衛君ヲ孰レモ懲罰委員ニ付スヘシトノ動議提出セラレ副議長(小泉又次郎君)ハ之ヲ保留シ公開議場ニ於テ之ヲ報告シタルモ翌十六日提出者ヨリ夫々撤回ノ申出アリ院議異議ナク之ヲ許可スルニ決セリ

五七四 懲罰委員ニ付スルノ動議ニ對シテハ其ノ議員ノ辯明ヲ許ス

衆議院規則第十五條ニ依レハ懲罰事犯アリト告ケラレタル議員ハ辯明ノ爲ニ數回ノ發言ヲ爲スコトヲ得トアリ從テ第一回議會以來懲罰委員ニ付スルノ動議提出セラレタルトキハ事犯アリト告ケラレタル議員ニシテ辯明ヲ爲ササル者アルモ多クハ辯明ヲ爲セリ而シテ第四十五回議會ニ於テハ事犯アリト告ケラレタル議員其ノ席ニ在ラサル爲特ニ其ノ採決ヲ後日ニ延期シタル事例三件アリ然ルニ第一回議會明治二十四年二月四日太田實君ヨリ鹽田與造君ヲ懲罰委員ニ付スヘシトノ動議ヲ提出セルトキ議員中ヨリ鹽田君及鹽田君ニ關聯セル兩名ヲシテ辯明セシムヘシトシタルニ議長(中島信行君)ハ被告ニ關聯セル本間直君ノ辯明ヲ許シタルモ鹽田與造君ニ對シテハ此ノ動議ニ就テ懲罰事犯ナリト認メラレタノデアリマスカラ辯明ヲスル場合デナイト告ケ同君ニ辯明ヲ許ササリキ

五七五 懲罰委員ニ付スルノ動議ヲ採決スル場合ニハ其ノ議員ハ退席スルヲ要セス

懲罰委員ニ付スルノ動議ヲ採決スル場合ハ其ノ議員ハ退席スルヲ要セサルモ自己ノ懲罰事犯ノ會議ニハ列席スルコトヲ得サルモノトス

第二十五回議會 明治二十四年三月二十四日藏原惟郭君ヲ懲罰委員ニ付スルノ動議ノ採決ニ際

シ鳩山和夫君ヨリ藏原君ノ退席ヲ求メタルニ議長(長谷場純孝君)ハ「唯此場合ニ於テ本人ヲ議場ニ在席セシムル、セシメヌハ規則ニ依テ議長ノ考デ差支ナイト思フ此採決ノ場合ニハ差支ナイト思ヒマス」ト告ケ退席セシメサリキ

參看 五五九號

五七六 守衛ノ公務執行ヲ妨クル者アルトキハ議長之ヲ懲罰委員ニ付ス

議長議員ニ退場ヲ命シ若命ニ從ハサルトキハ守衛ヲシテ之ヲ執行セシメ或ハ議場混亂ニ陥リタル際秩序維持ノ爲ニ守衛ヲ派スルコトアリ此ノ場合ニ於テ守衛ノ職務執行ヲ妨クル者アルトキハ議長ハ懲罰委員ニ付ス

第三十一回議會 大正三年二月十二日議長(大岡育造君)ハ「……已ムヲ得ザレバ遂ニ警戒ヲ加ヘ注意ヲ與ヘ警戒ヲ加ヘテ尙議場整理ノ妨ヲ爲ス人ノアル場合ニハ據處ナク退場ヲ命ジマス若シ其退場ノ命ニ應セラレザル場合ニハ更ニ命令ヲ下シテ守衛ヲ差向ケマス此守衛ノ公務ノ執行ヲ妨ゲル人ガアレバ之ヲ一ノ懲罰事犯ト認メテ懲罰委員ニ付スルコトニ致シマス……」ト宣告セリ

第五十回議會 大正十四年二月三日議長(粕谷義三君)ハ横山君ノ懲罰動議宣告後「先刻議場ガ混雜致シマシタ際ニ守衛ノ職務執行ヲ妨害セラレタ方ガアルヤウデアリマス此事ハ追テ調査ヲ致シマシテ相當ノ處置ヲ致シマス」ト宣告シ尙猪野毛君ヲ懲罰委員ニ付シタル後「休憩前ノ議事ニ於キマシテ守衛ノ公務執行ヲ妨害セラレタ方ガアリマス是モ亦調査ノ上相當ノ處置ヲ致ス考デアリマス」ト宣告セリ超エテ二月五日議長ハ其ノ調査ノ結果ニ基キ議員六名ニ對シ懲罰委員ニ付スル旨ヲ宣告セリ

參看 五六三號、五六七號、五七一號

五七七 議長懲罰事犯アリト認メ會議ヲ中止ス

第三十一回議會 大正三年二月十四日關直彦君外五名提出營業税法廢止法律案外十件ノ會議ニ於テ伊藤大八君提出十二時ヲ經過スルモ議事ヲ延長シテ各案ヲ議了スヘシトノ動議ニ對シ川原茂輔君ヨリ討論終局ノ動議ヲ提出シ議長(大岡育造君)其ノ採決ニ付テ宣告中議場騒然議員議長席ノ前ニ進ミ發言スル者多ク議長ハ「綾部君何ヲスルノデスカ」ト詰問シ(綾部惣兵衛君「壞ハレテ居タノダ怪シカラヌ」ト呼ビ又「藏原ヲ懲罰ニ付スベシ」ト呼フ者アリ)……(此時議長振鈴ス)議長ハ靜肅ヲ願ヒマス……各々御著席ヲ願ヒマス……唯今此議事ノ進行ノ紛擾ノタメデモアリマスケレドモ現ニ懲罰事犯ガアリマシタ綾部惣兵衛君ガ現ニ投票函ヲ踏踏ツテ斯ノ如クデアリマス仍テ綾部惣兵衛君ヲ懲罰委員ニ付シマス」ト告ケ會議ヲ中止シテ散會ヲ宣告シタリ

五七八 委員會ニ於テ起リタル懲罰事犯ハ委員長ノ報告ヲ俟テ議長ハ直ニ懲罰委員ニ付ス

第二十九回議會 大正六年七月十三日議長(大岡育造君)ハ「懲罰委員長ヨリ同委員會ニ於テ委員横山勝太郎君ノ懲罰事犯アリトノ報告ヲ受ケマシタ、議長ハ議院法第九十五條三項ニ依リ

横山勝太郎君ヲ懲罰委員ニ付シマス」ト宣告シ同月十五日院議同君ヲ譴責ニ處シタリ

五百九十

衆第五七條

五七九 懲罰委員ノ審査ニ對シ期限ヲ附ス

第二十五回議會 明治四十二年三月二十四日(會期終了日)藏原惟郭君ヲ懲罰委員ニ付スルノ動議可決シ委員ノ審査中大岡育造君ハ「唯今懲罰委員ニ付セラレタル問題ヲ極メタイト思ヒマス六時迄ニ時ヲ限ツテ報告スヘキコトヲ可決シテ議長ヨリ委員會ニ御達シニナルコトヲ希望致シマス」トノ動議ヲ提出シ議長(長谷場純孝君)ハ之ヲ採決セシニ多數ヲ以テ可決シタリ

參看 三二八號

五八〇 懲罰事犯ノ件ヲ再審査ニ付ス

第五十回議會 大正十四年二月四日議員猪野毛利榮君懲罰事犯ノ件ハ同君ニ對シ二週間出席停止ヲ命スヘキモノトノ報告書ヲ提出シ三月十四日其ノ懲罰事犯ノ會議ニ於テ本件ハ懲罰委員ニ再付託スルコトニ決定シタリ而シテ同日再付託ニ係ル懲罰事犯ノ件ヲ院議ニ付シ院議同君

ニ對スル懲罰事犯ノ件ハ懲罰事犯ニ非スト議決セリ

衆第二一四條

五八一 懲罰ハ其ノ議決ノ宣告ニ依リテ執行セラル

懲罰ハ議決ノ宣告ニ因リテ執行セラル各種ノ事例ヲ示セハ左ノ如シ

第五回議會 明治二十六年十二月十三日星亨君除名ノ議決ヲ爲シタルトキ副議長(楠本正隆君)

ハ「諸君是ヨリ公會ニ相成リマスル祕密ノ議決ノ結果ヲ宣告致シマス、星亨君ノ懲罰ノ件ハ委員長ノ報告ノ通り星亨君ヲ除名スト決セリ」ト宣告シ即日失格者タルノ手續ヲ爲セリ

第十三回議會 明治三十一年十二月十七日門馬尙經君、田中正造君懲罰事犯ノ祕密會議ニ於テ門馬尙經君ハ三日間、田中正造君ハ一週間ノ出席ヲ停止スヘキモノトノ議決アリタルトキ議長(片岡健吉君)ハ書記官ヲシテ退場セル兩君ニ其ノ身上ニ關ル議事ノ了レル旨ヲ通知セシメタルニ門馬尙經君ハ其ノ宣告前少時議席ニ著ケリ而シテ再ヒ其ノ議場ヲ退カムトスルトキ議長ハ「祕密會議ノ結果ハ書記官長ヨリ讀上ゲマス」ト宣告シ書記官長(林田龜太郎君)ハ其ノ議決文ヲ朗讀シ以後兩君ハ出席スルコトナカリキ

第二十五回議會 明治四十二年三月二十四日藏原惟郭君ハ謝意ヲ表スヘキモノトノ決議ヲ爲シ

第二編 會議

第九章

秩序、懲罰及傍聽

第二節 懲罰

(五七九—五八一)

五百九十一

タルトキ議長(長谷場純孝君)ハ「藏原君モ著席ニナリマシタカラ前秘密會ニ於テ決定シタ事柄ヲ衆議院規則ニ依ッテ宣告ヲ致シマス此ノ通リニ秘密會議ニ於テ決議ニナリマシタカラ藏原惟郭君ハ演壇ニ立ッテ、サウシテ此通リニ謝辭ヲ演ヘラレンコトヲ求メマス」ト宣告シ同君ヲシテ謝辭ヲ朗讀セシメタリ

第四十六回議會 大正十二年三月三日樋口伊之助君懲罰事犯ノ件ヲ院議ニ付シ委員長報告ヲ可決シタルニ依リ副議長(松田源治君)ハ「議院法第九十六條第一項第一號ニ依リ樋口伊之助君ヲ譴責ス」ト宣告セリ

參看 一一七號

五八二 議員譴責セラル

懲罰事犯ノ會議ノ議決ニ基キ議長譴責ヲ宣告シタル場合左ノ如シ

第三十七回、第三十九回、第四十二回、第四十四回、第四十六回、四十九回及第五十一回議會ニ各一件

參看 附錄一一

議第九六條

議第九六條
衆第二〇九條

五八三 議員ヲシテ謝辭ヲ述ヘシム

懲罰事犯ノ會議ノ議決ニ基キ謝辭ヲ表セシメタル場合左ノ如シ

第二十五回、第三十一回、第三十九回、第四十回、第四十四回、第四十九回及第五十一回議會ニ各一件

參看 附錄一一

五八四 議員出席ヲ停止セラル

懲罰事犯ノ會議ニ基キ出席ヲ停止セラレタル場合左ノ如シ

第五回議會一件、第十三回議會二件、第三十一回議會一件、第三十六回議會二件、第三十七回議會五件、第四十三回議會二件、第四十四回議會四件、第四十五回議會八件、第四十六回議會一件、第四十九回議會一件、第五十回議會八件

參看 附錄一一

議第九六條
衆第二〇九條

五八五 出席停止ハ議決宣告ノ日ヨリ起算シ休日ヲモ包含ス
出席停止ハ三十日ヲ超エサル範圍内ニ於テ命セラレ其ノ起算ハ宣告ノ日ヨリシ且休日ヲモ包含ス
ルモノトス

五八六 併發セル二箇ノ懲罰事犯ニ對シ各出席停止ヲ命セラル

第四十四回議會 大正十年二月一日鈴木富士彌君懲罰事犯ノ件(一ハ發言取消ノ命令ニ服從セ
サルニ依ル(議長發議)、一ハ國務大臣ノ演說ニ對スル質疑中議院ノ體面ヲ瀆シタルモノアリ
ト認ムルニ依ル(龍野周一郎君提出)ノ會議ニ於テ二箇ノ懲罰事犯ハ同時ニ院議ニ付シ孰レモ
五日間ノ出席停止ヲ命スルニ決セラレ而シテ議長(奧繁三郎君)ハ同時ニ此ノ二箇ノ議決ノ結
果ヲ宣告シタルニ依リ各五日間ノ出席停止ハ共ニ同日ヨリ起算セラレタリ

五八七 出席停止ヲ命セラレタルモノ委員ナルトキハ解任セラル

第三十七回議會 大正四年十二月二十一日武藤金吉君ハ一週間ノ出席停止ヲ命セラレタルトキ

同君ハ第四部選出豫算委員ナリシ爲翌々二十三日議長ハ同君ハ衆議院規則ニ依リ解任セラレ
タル旨ヲ報告シタリ

五八八 議員除名セラル

懲罰事犯ノ會議ノ議決ニ基キ除名セラレタル場合左ノ如シ

第五回議會一件

參看 附錄一

第三節 傍聽

五八九 開院式勅語奉答文案ノ會議ヨリ傍聽ヲ許ス

第二回議會以來開院式當日奉答文案ノ會議ヨリ傍聽ヲ許スヲ例トス但シ第一回議會ニ於テハ開院
式當日ハ勅語ニ對シ奉答スルヤ否ノ會議ヲ開キタルモ傍聽ヲ許ササリシカ其ノ翌日衆議院規則案

ノ會議ニ際シ三崎龜之助君ノ動議ニ依リ直ニ傍聽ヲ許可スルコトトナリ議長(中島信行君)ハ議場ニ於テ各議員ニ傍聽券ヲ配布セシメ公衆ノ傍聽ヲ許可シタリ
第十八回議會以來新聞記者ニ限リ召集日ヨリ記者席ニ入場スルコトヲ許スヲ例トス

參看 二四一號

議第二三條

五九〇 全院委員會ハ傍聽ヲ許ス

常任委員會及特別委員會ハ議員ノ外傍聽ヲ禁スルハ議院法ノ定ムル所ナルモ全院委員會ニ付テハ何等ノ規定ナキヲ以テ第一回議會以來傍聽ヲ許スヲ例トス

參看 一五三號、一五六號

衆第一九二條

五九一 傍聽席ニ在リテハ帶劍スルコトヲ得ス

從來傍聽席ニ在リテハ軍人ノ正裝タルト略裝タルトヲ問ハス均シク帶劍ヲ許ササリシカ第三十六回議會大正四年五月二十一日各派協議會ニ於テ大禮服着用ノ場合ト雖衆議院規則ニ依リ帶劍スル

ヲ得サルモノト解釋スルコトニ決定セリ

衆第一八七條

五九二 公衆傍聽券ハ召集當日各議員ニ交付ス

第一回議會ニ於テハ一週間乃至十日分ヲ部長ニ交付シ部長ハ之ヲ部員ニ配付シタルモ第二回議會ニ於テ議長(中島信行君)ハ部長ト協議ノ上一會期分ヲ一括シテ事務局ヨリ直ニ各議員ニ交付スルコトトナリ爾來召集日ヲ以テ之ヲ交付シ開會當日空席アルトキハ議員ノ請求ヲ俟テ更ニ臨時ニ交付シタルモ第二十一回議會ニ至リ臨時ニ交付スヘキ分ヲモ併セテ召集日ニ一括交付セリ爾來之ヲ例トス

衆第一九二條
衆第一九三條

五九三 議長必要ト認メタルトキハ傍聽人ノ身體搜查ヲ爲サシメ又ハ員數ヲ制限スルコトヲ得

議長必要ト認ムルトキハ守衛又ハ警察官吏ヲシテ傍聽人ノ身體搜查ヲ爲サシメ又取締上必要アルトキハ假令傍聽券ヲ有スト雖傍聽ヲ禁シ若ハ傍聽ノ員數ヲ制限スル等從來屢之ヲ實行シ來リタル

第二編 會議

第九章

秩序、懲罰及傍聽

第二節 傍聽

(五九〇—五九三)

五百九十七

ノミナラス十二歳未滿ノ兒童ノ傍聽ハ第二十五回議會以來之ヲ禁止シ來リタルヲ以テ第五十回議會規則改正ノ際特ニ之ヲ明記セラル

第十章 議事録及速記録

五九四 議事録ハ會議ニ關スル事項ヲ記載ス

議事録ハ衆議院規則第三十九條ノ事項ヲ記載シ印刷ニ付ス印刷シタル議事録ノ内二部ハ議長及書記官長署名シテ議院ニ保存ス

【備考】

議事録ノ外決議録ハ第二回議會明治二十四年十二月五日植木枝盛君ノ動議ニ依リ作成スルコトヲ議決シ第二回議會以來日
日之ヲ調製シ印刷ニ付セス議長書記官長署名シ議院ニ保存シ來リタルモ其ノ必要ヲ認めサルニ依リ第五十回議會衆議院規則改正ノ際削除セラル

五九五 速記録ニハ議場ニ於ケル發言其ノ他議事日程、報告事項、議案等ヲ記載ス

速記録ハ議事日程、議案、議事投票者氏名及諸般ノ報告其ノ他必要ナル事項ヲ掲載スルモノニシテ議事ハ速記法ニ依リテ之ヲ速記ス而シテ速記録ハ翌日ノ官報附録トシテ各議員ニ配付セラル

第七回(臨時)議會ハ廣島ニ召集セラレ從來ノ慣行ニ從フ能ハサルヲ以テ明治二十七年十月十八日議長(楠本正隆君)ハ院議ニ諮ヒ閉會後一括シテ配付シタリ
第四十六回議會ニ於テ大正十二年二月二十四日ノ會議ニ上程セル帝都制案(鳩山一郎君外九名提出)外十七件ハ孰レモ浩漣ニシテ且同一種類ノ議案ナルニ依リ内容同一ナル案ハ省略シ大同小異ノ案ハ其ノ異ナル部分ノミヲ抄録シ同日發行ノ速記録附録トシテ之ヲ掲載セリ

五九六 速記録ニハ新聞紙ニ掲載ヲ禁セラレタル事項ニ關スル發言ヲ記載セ

第四十四回議會 大正十二年二月二十五日決議案(朝鮮統治ニ關シ調査委員會設置ノ件)ノ會議ニ於テ提出者中野正剛君ノ趣旨辯明ノ後議長(奧繁三郎君)ハ……先刻中野正剛君ノ演說中ニ関元植氏ニ關スル事柄ヲ陳述サレマシタ、當議場ハ言論ノ自由ノ場所デゴザイマスカラ、固ヨリ發言ハ自由デゴザイマス、併ナガラ御承知ノ如ク是ハ新聞紙ノ記事差止ニナツテ居ル事項デアリマス……故ニ官報號外ヲ以テ之ヲ世間ニ公布スルコトダケハ避ケタラドウカト思ヒマス」ト告ケ院議起立多數ヲ以テ之ヲ可決シ中野君ノ發言中新聞紙ニ掲載ヲ禁セラレタル事

項ニ關スル發言ハ速記録ニ記載セサリキ

五九七 取消シタル言辭ハ速記録ヨリ抹消ス

議院法第八十七條ニ依リ議長ヨリ取消ヲ命セラレタル發言ハ速記録ニ記載セサルコトハ衆議院規則ノ命スル處ナルモ國務大臣政府委員、議員自ラ取消シタル言辭モ當日ノ速記録ヨリ抹消スルヲ例トス

五九八 速記録ニハ質問主意書、答辯書ヲモ掲載ス

議長ヨリ掲載ノ許可ヲ得タル參考書、辯明書、始末書、往復書類等亦同シ

第一回議會以來質問主意書、答辯書ノ類ハ朗讀ヲ經サルモノヲモ參照ノ爲常ニ速記録ニ掲載スルヲ例トシ又提出者若ハ委員長ノ請求アルトキハ議長ノ許可ヲ經テ參考書辯明書等ヲ速記録ニ掲載セリ其ノ例枚舉ニ違アラス

然レトモ第十六回議會明治三十五年二月八日提出者菅野善右衛門君ノ請求ニ依レル鐵道列車災害

豫防法案ノ參考書ニ付テハ同法案第二讀會ヲ開カサルコトトナレルヲ以テ議長(片岡健吉君)ハ院議ニ諮リ之ヲ速記録ニ掲載スルコトヲ許可セサリキ

參看 三一六號、五一三號、五一八號、五三一號

五九九 議事録及速記録ハ召集當日ヨリ之ヲ調製ス

速記録ハ議事ヲ記載スルモノナルコトハ衆議院規則第四百十二條ノ定ムル所ナレトモ第一回議會明治二十三年十一月二十五日召集ノ當日書記官長(會禰荒助君)ハ「今日ノ景況竝ニ結果ハ即チ速記者ヲシテ筆記セシメテ之ヲ報道スルコト別段御異議モ御座リマセネバ其事ヲ可決ト認メテ執行致シマス」ト告ケ當日ヨリ速記セシメタリ第二回議會亦同シ第三回議會明治二十五年五月二日召集ノ當日書記官長(水野遵君)ハ「本日速記者ヲシテ速記ヲ致サセマシテゴザイマスガ此速記ハ第一議會ノトキニハ速記録號外ト致シマシテ印刷ノ上諸君ニ御配付致シマシタ矢張先例ニ依リマシテ右様ニ致サウト思ヒマス御異議ガナクバサウ致シマス」ト宣告シ爾來成立ニ關スル集會ニモ速記録號外トシテ配付スルコトトナレリ

第五十二回議會ノ會期終了日昭和二年三月二十五日ニハ日程ニ掲載セラレタル件數數百件ニ上リ

尙假議長、議長副議長候補者選舉ヲ行ヒタル爲速記録ノ紙數實ニ百數十頁ニ互リタルニ依リ當日ノ速記録ハ(一)及附録ノ三ツニ別チ(一)、(二)ハ翌二十六日附録ハ三十一日ニ至リテ發行セリ
議事録モ亦召集ノ當日ヨリ之ヲ調製スルヲ例トス

六〇〇 議事録速記録ニハ投票者ノ氏名ヲ掲載ス

記名投票ニ於ケル可否兩者ノ氏名ヲ初テ速記録ニ掲載シタルハ第三回議會明治二十五年五月十二日河野廣中君外八名提出選舉干涉ニ關スル上奏案及同月十四日中村彌六君外一名提出選舉干涉ニ關スル決議案ニシテ以後每會期ニ於テ記名投票ヲ用キタルコト數次ナルニ拘ラス此ノ前例ヲ襲クコトナカリシモ第十二回議會ニ至リ明治三十一年五月三十日鳩山和夫君外十名提出ノ上奏案ニ付記名投票ヲ用キタル場合ニ於テ再ヒ其ノ氏名ヲ速記録ニ掲載スルコトトナリ爾來此ノ例ニ依レリ第二十五回議會明治四十一年十二月二十六日全院委員長ノ選舉ヲ行ヒタルトキ其ノ投票者ノ氏名ヲ速記録ニ掲載シタリ爾來無名投票ノ場合ニ於テモ其ノ投票者ヲ速記録ニ掲載スルノ例トナレリ
議事録亦同シ

第三編 政府及貴族院トノ關係

第一章 政府トノ關係

第一節 國務大臣及政府委員

六〇一 憲法第六十七條ノ費目ノ修正議決ニ對スル政府ノ同意、不同意ノ表明ハ口頭又ハ書面ヲ以テス

議院ニ於テ憲法第六十七條ノ費目ニ對シ修正議決ヲ爲シタル場合ニ於ケル政府ノ同意、不同意ノ表明ハ議場ニ於テ口頭ヲ以テシ又ハ書面ヲ以テセリ

(一) 議場ニ於テ同意、不同意ヲ表明シタル例

第一回議會(明治二十四年三月二日)明治二十四年度豫算案(再修正ノモノ)、第四回議會(明治二十五年十二月十四日、同二十六年二月二十二日)明治二十五年度豫算追加案、明治二十六年度豫算案(再議ノモノ)、第六回議會(明治二十七年五月三十一日)、第九回議會(明治二十九年二月四日)、第十回議會(明治三十年二月十八日)、第十三回議會(明治三十一年十二月二十四日)、第十五

回議會(明治三十四年二月七日)、第十六回議會(明治三十四年十二月二十八日)、第二十一回議會(明治三十七年十二月十七日)、第二十五回議會(明治四十二年二月十三日)、第二十六回議會(明治四十三年二月十二日)、第二十七回議會(明治四十四年二月十四日)、第四十回議會(大正七年二月十二日)ニ於ケル豫算案ニ付テハ修正ニ同意シタリ

第四回議會(明治二十六年一月十六日)明治二十六年度豫算案ニ付テハ内閣總理大臣臨時代理井上内務大臣ハ議院ニ出席シテ本院ノ要求ニ對シテ政府ハ不同意ヲ表明スル旨ヲ演述セリ

(二) 書面ヲ以テ不同意ヲ表明シタル例

第一回議會(明治二十四年二月二十三日)明治二十四年度豫算案ニ付テハ不同意ノ覆牒ヲ爲シ、第四回議會(明治二十六年一月十七日)明治二十六年度豫算案ニ付テハ議院ニ於テ政府ノ不同意ノ表明ニ對シ更ニ同意ヲ求メタルヲ以テ不同意ノ覆牒ヲ爲シ又議院ハ豫算修正案ヲ政府ニ送致シ且政府ノ處置ヲ待ツ爲五日間休會ヲ決議セルニ對シ之カ覆牒ヲ爲シタリ

參看 四六三號、附錄一(一)

六〇二 議院ノ出席要求若ハ希望ニ對シ國務大臣ヨリ覆牒又ハ回答ヲ受ク

院議ヲ以テ國務大臣ノ出席ヲ要求シ又ハ議員ヨリ其ノ出席ヲ希望セルトキハ議長ハ書記官ヲ派シテ之ヲ通告ス而シテ國務大臣ハ此ノ要求、希望ニ應シテ議院ニ出席シ或ハ出席セサルノ覆牒若ハ回答ヲ爲スコトアリ

(一) 院議ヲ以テ出席ノ要求、希望ニ對シ出席シタル例

第二十一回議會(明治三十八年二月二十七日)、第二十六回議會(明治四十三年三月二十三日)、第三十一回議會(大正三年一月二十九日)ニ於テ花井卓藏君ノ動議、第三十回議會(大正二年三月八日)ニ於テ林毅陸君ノ動議(三月四日可決)ニ依リ出席ヲ要求セルトキ

第二十五回議會(明治四十二年一月三十一日)花井卓藏君ノ動議、第二十七回議會(明治四十四年一月二十四日)ニ於テ菅原傳君ノ動議、第三十一回議會(大正三年二月二十一日)齋藤隆夫君ノ動議ニ依リ出席ヲ希望セルトキ

第四十二回議會(大正八年一月三十一日)小久保喜七君ノ動議ニ依リ出席ヲ希望セルトキ國務大臣ハ之ニ應シテ議院ニ出席シタリ

(二) 院議ヲ以テ出席ヲ要求セルトキ出席セサル旨ヲ覆牒シタル例

第一回議會(明治二十三年十二月十七日)、同二十四年二月二日)ニ於テ山田東次君、橋本久太郎君、高梨哲四郎君ノ動議、第四回議會(明治二十五年十二月三日)ニ於テ河野廣中君ノ動議、第五

回議會(明治二十六年十二月十五日)長谷場純孝君ノ動議、第六回議會(明治二十七年五月二十八日)ニ於テ鈴木充美君提出判事ノ退職ニ關スル質問ニ對シ司法大臣出席答辯ヲ請フノ建議ニ對シテハ國務大臣ハ已ニ答辯シ盡セリトシ或ハ質問主意書ノ提出ヲ求メ或ハ國務大臣ハ何時ニテモ出席スルノ權能ヲ有スルカ故ニ特ニ請求ヲ煩ハスヲ要セストシ議院ニ覆牒シタリ

(三) 院議ヲ以テ出席ヲ要求セルトキ出席シ難キ旨ヲ回答シタル例

第二十回議會(大正二年三月四日)ニ於テ林毅陸君ノ動議ニ依リ出席ヲ要求セルニ國務大臣ハ參内ノ爲出席スルコトヲ得ストノ回答ヲ爲セリ

(四) 議員ヨリ出席ヲ希望セルトキ

質問ノ趣旨辯明ニ際シ或ハ質疑等ノ爲議員ヨリ國務大臣ノ出席ヲ希望スルコト毎會期其ノ例ニ乏シカラス、此ノ場合之ニ應シテ直ニ出席スルカ又ハ公務上ノ都合若ハ委員會或ハ貴族院ニ出席ノ爲或ハ差支ノ爲出席シ得スト回答セルコト亦尠カラス

參看 三七二號ノ(二六)、五二七號、附錄一(二ノ二)

六〇三 院議ヲ以テ參考文書ノ提出ヲ政府ニ要求ス

議第七四條

第五十二回議會 昭和二年一月十九日鳩山一郎君提出書類提出ニ關スル決議案(政府ハ朴準植

金子文子ニ對スル減刑奏請ノ書類竝同人等ニ對スル檢事總長ノ減刑奏請申立書及其ノ添付書

類ヲ提出スヘシ)ノ會議ニ於テ江木司法大臣ハ斯ノ如キ書類ハ政府ハ祕密ニ涉ルモノト認メ

議院法第七十四條ニ依リ議院ノ要求ニ應スルコトヲ得サル旨ヲ述ヘ齋藤隆夫君ハ政府カ同意

セサル所ノ祕密文書ヲ議會ノ決議ヲ以テ要求スルハ違法ナリト思料スルヲ以テ決議案ニ反對

スル旨ヲ述ヘ濱田國松君ハ政府カ此ノ書類ノ提出ヲ拒ムトキハ國民ノ疑惑ハ永久ニ解ケス政

府ノ快ク之ニ應スルハ憲法政治ノ美例ナリトテ決議案ニ贊成スル旨ヲ述ヘ其ノ他清瀨一郎君

松田源治君ノ贊成山道襄一君ノ反對演說ノ後採決ノ結果本案ハ之ヲ可決セリ然ルニ政府ハ一

月二十日附ヲ以テ議院法第七十四條ニ依リ要求ニ應シ難キ旨ノ回答ヲ爲セリ

【備考】

第四十五回議會大正十一年三月四日山道襄一君ハ決議案(政府ハ關東州ニ起リタル阿片事件ニ關スル豫審調書及之ニ關係アル一切ノ書類ヲ議會ニ提出スヘシ)ヲ提出シタルカ採決ノ結果本案ハ否決セラレタリ

六〇四 政府ハ政府委員ヲ任免スル毎ニ議院ニ通牒ス

第三編 政府及貴族院トノ關係 第一章 政府トノ關係 第一節 國務大臣及政府委員 (六三三、六三四) 六百九

政府ハ開院式前ニ於テ政府委員ヲ任命シ議院ニ通牒スルヲ例トス而シテ政府委員ハ單ニ政府委員若ハ某省所管事務政府委員トシテ任命セララルルヲ通例トシ或ハ特ニ一省ノ豫算ニ關シ任命セラレタル者アリ又政府提出ノ一議案ニ付若ハ貴族院衆議院提出ノ議案ニ付任命セラレタルコトアリ最近ハ内閣ニ直屬セル官廳内ヨリ任命セララルモノハ單ニ政府委員トシ其ノ他ハ某省所管事務政府委員トス而シテ政府委員ノ解任ニ付テハ從來何等ノ辭令ナカリシモ第五十一回議會以降ハ閉院式當日附ヲ以テ又會期中政府委員ヲ免セラレタルトキハ其ノ都度政府委員被免ノ辭令ヲ發セラレ其ノ旨本院へ通牒アリ尙轉職免官ノ事由ニ由ル政府委員ノ解任ニ付テハ自然消滅ト看做シ別ニ發令ナシ

六〇五 政府ハ概ネ議事日程變更ノ要求ニ同意ス

議員提出議案ヲ政府提出議案ニ先チ會議ニ付セム爲議事日程ノ變更ニ付政府ノ同意ヲ求ムル場合ニハ書記官長若ハ書記官ヲシテ口頭ヲ以テ照會ス而シテ政府ハ概ネ之ニ同意スルヲ例トシ其ノ數枚舉ニ違アラス其ノ同意セサリシハ左ノ數件ニ過キス
第一回議會 明治二十四年二月二日高梨哲四郎君提出政府委員交換ノ決議ニ對スル政府ノ覆牒

ニ關スル件

- 第二回議會 明治二十四年十二月二十五日豫算案歳出經常部ノ議了後直ニ鈴木昌司君外一名提出地租條例改正案第一讀會ノ續會ヲ開クノ件
 - 第四回議會 明治二十五年十二月七日内閣總理大臣臨時代理井上内務大臣ノ朗讀シタル施政ノ方針ニ關シ河野廣中君ノ意見演說ノ件
 - 第十回議會 明治三十年三月二十四日小室重弘君提出請願事件ヲ院議ニ付スルノ件
 - 第五十四回議會 昭和三年一月二十一日山道襄一君提出賀表捧呈決議案採決後日程ヲ變更シテ直ニ總テノ動議ニ先チ濱口雄幸君外二十七名提出決議案ヲ院議ニ付スルノ件
- 參看 三七〇號

六〇六 軍隊ニ對スル功勞感謝ノ決議、通牒又ハ慰問ニ對シ國務大臣ヨリ回答並通牒ヲ受ク

軍隊ニ對シ功勞感謝ノ決議ヲ爲ストキハ即日之ヲ内閣總理大臣若ハ主管ノ國務大臣ニ通牒ス此ノ場合ニ於テハ主管ノ國務大臣ヨリ回答又ハ通牒ヲ受ケタリ

第二節 國務大臣及政府委員ノ發言

六〇七 內閣總理大臣、大藏大臣、外務大臣ハ每會期ノ始ニ於テ施政ノ方針、財政計畫、外交ニ關スル演說ヲ爲スヲ例トス

年末年始ノ休會明ケノ第一會議日ニ於テ內閣總理大臣ハ施政ノ方針ニ關シ、大藏大臣ハ財政計畫ニ關シ、外務大臣ハ外交ノ方針並現況ニ關シ議院ニ出席シテ演說スルヲ例トス又臨時議會ニ在リテハ臨時事件ノ要務ニ關シ國務大臣演說ヲ爲スヲ例トス然レトモ第二十四回議會迄ハ內閣總理大臣及大藏大臣共ニ演說ヲ爲スカ或ハ內閣總理大臣若ハ大藏大臣ノミ演說ヲ爲シタルコトアリ第二十五回議會ヨリハ外務大臣ハ外交ノ方針並現況ニ關シ演說ヲ爲スノ例トナレリ但シ第三十回議會ニ於テハ二回ノ內閣更迭等ニ依リ外交ニ關スル演說ハアラサリキ

第十一回議會ニ於テハ全院委員長選舉ニ先チ日程ヲ變更シ鈴木重遠君提出內閣不信任案ヲ上程シ

其ノ趣旨辯明中解散セラレタルニ依リ演說ノ機會ナカリキ

第十九回議會ニ於テハ開院式勅語ニ對スル奉答書中內閣彈劾ノ文字アリタル爲捧呈ニ先チテ解散セラレタルニ依リ演說ノ機會ナカリキ

第四十八回議會ニ於テハ三大臣ノ演說ノ通告アリタルモ之ニ先チテ濱田國松君外三名ヨリ緊急質問ノ請求アリ院議之ヲ許可シタルヲ以テ濱田君趣旨辯明ヲ爲シ小松鐵道大臣ニ次テ清浦內閣總理大臣之ニ答辯セムト爲シタル際議員ニ非サル者議場ニ闖入シ騷擾シタル爲休憩シ次テ解散セラレタルニ依リ演說ノ機會ナカリキ

每會期ニ於ケル國務大臣ノ演說ヲ列記スレハ左ノ如シ

- (一) 施政方針ニ關シ內閣總理大臣、財政計畫ニ關シ大藏大臣、外交ニ關シ外務大臣ノ演說アリタル例

第二十五回乃至第二十八回、第三十一回、第三十四回(臨時)、第三十五回乃至第四十六回、第四十九回乃至第五十二回議會及第五十四回議會

- (二) 施政方針ニ關シ內閣總理大臣ノミノ演說アリタル例

第二回、第三回、第六回、第八回、第十回及第十二回議會

- (三) 財政計畫ニ關シ大藏大臣ノミノ演說アリタル例

第十四回及第十五回議會

六百十四

(四) 施政ノ方針ニ關シ内閣總理大臣、財政計畫ニ關シ大藏大臣ノ演說アリタル例

第一回、第四回、第五回、第九回、第十三回、第十六回乃至第十八回、第二十一回乃至第二十四回、第三十回、第三十二回(臨時)、第四十七回(臨時)及第五十三回議會

(五) 日清事件又ハ日露事件ニ關シ内閣總理大臣、大藏大臣及外務大臣ノ演說アリタル例
第七回(臨時)、第二十回(臨時)議會

(六) 御大喪ニ關スル豫算案ニ關シ内閣總理大臣及大藏大臣ノ演說アリタル例
第二十九回(臨時)及第三十二回(臨時)議會

憲第二四條
議第四二條

六〇八 國務大臣議院ニ出席シテ特殊ノ事件ニ關シ報告又ハ演說ス

内治外交又ハ軍事上財政上重大ノ出來事アリタルトキハ内閣總理大臣若ハ主管ノ國務大臣議院ニ出席シテ其ノ顛末ヲ報告シ又ハ演說ヲ爲スヲ例トス其ノ事例ハ之ヲ附録ニ表記セリ

參看 附録一二ノ五

憲第五四條
議第四二條

六〇九 委員付託、討論終局ノ動議成立若ハ可決ノ後又ハ表決ニ際シ國務大

臣又ハ政府委員發言ス

國務大臣及政府委員ハ何時タリトモ發言スルコトヲ得ルハ憲法ノ規定スル所ナルニ依リ國務大臣及政府委員ハ左ノ場合ニ於テ發言ヲ爲シタリ

(一) 委員付託ノ動議成立後發言シタル例

第二十七回議會 明治四十四年二月十八日島田三郎君外三名提出織物消費稅法廢止法律案外二件ニ對シ委員付託ノ動議成立後政府委員發言シタリ

(二) 委員付託ノ動議可決後發言シタル例

第九回議會 明治二十九年三月二十三日井上角五郎君外三名提出廣島縣下郡界變更法律案ニ對シ委員付託ノ動議可決後政府委員發言シタリ

第三十一回議會 大正三年三月十三日花井卓藏君外二名提出陸軍治罪法中改正法律案外一件ノ會議ニ於テ兩案トモ委員ニ付託後楠瀬陸軍大臣ハ兩案ニ對シ政府ノ意見ヲ述ヘタリ

(三) 討論終局ノ動議成立後發言シタル例

第四十二回議會 大正九年二月十三日大正九年度豫算案會議ニ於テ討論終局ノ動議成立後原内閣總理大臣ハ發言シタリ

第三編政府及貴族院トノ關係第一章政府トノ關係第二節國務大臣及政府委員ノ發言(六〇八、六〇九、六一〇、六一一、六一二、六一三、六一四、六一五)

第五十一回議會 大正十五年二月二十一日政府提出所得稅法中改正法律案外二十三件ノ第一讀會ノ續會ニ於テ作間耕逸君ヨリ討論終局ノ動議ヲ提出シタルニ議長(粕谷義三君)ハ同時ニ濱口大藏大臣ヨリ發言ヲ求メラレタルニ依リ作間君ノ動議ヲ保留シテ大藏大臣ノ發言ヲ許ス旨ヲ告ケタリ

同 二月二十三日政府提出鐵道敷設法中改正法律案ノ第一讀會ノ續會ニ於テ作間耕逸君ヨリ討論終局ノ動議ヲ提出シタルニ議長(粕谷義三君)ハ同時ニ仙石鐵道大臣ヨリ發言ヲ求メラレタルニ依リ先ツ之ヲ許ス旨ヲ告ケタリ

同 二月二十四日大正十五年度總豫算案ノ會議ニ於テ作間耕逸君ハ討論終局ノ動議ヲ提出シタルニ議長(粕谷義三君)ハ同時ニ財部海軍大臣及濱口大藏大臣ヨリ發言ヲ求メラレタルニ依リ順次之ヲ許ス旨ヲ告ケタリ

同 三月十六日政府提出輸出生絲檢查法案ノ第二讀會ニ於テ討論終局ノ動議成立後山川政府委員ハ本案ニ對スル政府ノ意見ヲ述ヘタリ

(四) 討論終局ノ動議可決後發言シタル例

第一回議會 明治二十四年二月九日明治二十四年豫度算案外務省所管ニ對シ討論終局後政府委員岡部外務次官發言ヲ求メタルニ之カ許否ニ關シ議論ヲ生シ末松謙澄君ハ討論終局ノ後發言

ヲ許可スルトキハ終結ノ決議ハ消滅スルヲ以テ外國議院法ノ原則ト爲スカ故ニ政府委員ノ發言ヲ許シ其ノ場合ニ依リ更ニ討論ヲ開始シ或ハ終結スヘシト述ヘ植木枝盛君ハ討論終結ノ實行ヲ延期シテ政府委員ノ發言ヲ許可シ更ニ其ノ時ニ於テ討論終結ヲ實行スヘキヤ否ヲ決スヘシトノ動議ヲ提出シタルモ共ニ議院ノ容ルル所トナラス政府委員岡部外務次官ハ「本員ハ憲法第五十四條ニ國務大臣及政府委員ハ何時タリトモ各議院ニ出席シ及發言スルコトヲ得ト言フ明文ニ依リマシテドコマデモ發言ヲ致ス權ヲ十分ニ認メテ居リマス」ト述ヘ議論益沸騰シタルヲ以テ議長(中島信行君)ハ延會ヲ命シ翌十日山縣內閣總理大臣ハ憲法第六十七條ノ解釋ニ付政府ノ意見ヲ演述シ續テ「終ニ臨ミマシテ因ニ一言申置キマスルガ、憲法五十四條ニ國務大臣竝ニ政府委員ハ何時タリトモ發言ヲスルノ權ヲ與ヘラレテ居リマス然ルニ昨日政府委員ノ發言ニ於キマシテ偶然ニモ論議ガアリマシテ御座リマス蓋シ是ハ偶然ナル事情ヨリ起ッタコトト存ジマス政府ハ勿論議院ノ權利ヲ貴重スルト同時ニ憲法及法律上與ヘラレタル所ノ政府ノ權利ヲ拋棄スルコトハ出來マセヌト存シマス恰モ是ハ議院ニ於キマシテ議院ノ權利ヲ固守爲サルト一般ト存ジマス故諸君ニ於キマシテ充分ニ審議ヲ盡サレンコトヲ望ミマス」ト述ヘ政府委員岡部外務次官ハ昨日日本員ガ當場ニ於テ發言セムトシタル事柄ハ先刻山縣內閣總理大臣ヨリ演說セラレ最早演說ヲ爲ス必要ナキ旨ヲ述ヘシニ依リ前日ノ紛議ハ茲ニ其ノ局ヲ

結ヘリ

六百十八

第四回議會 明治二十五年十二月八日稻垣示君ヨリ現内閣信任闕乏ノ動議ヲ提出シ其ノ討論終局後藤農商務大臣發言ヲ求メタルニ議長(星亨君)ハ「發言ヲ許シマス」ト告ケ清水文二郎君ノ「討論終結ノ後ニ何ンダイ」ト云ヘルニ對シ「討論終局シタケレドモ又討論ヲ開クノ外ハナイト思ヒマス政府ハ何時ニ於テモト云フコトガアリマスカラ即チ討論ハ許ス即チ第二ノ討論ガ復タ開イタモノト見ルガ宜シイ……諸君ハ討論スルガ宜シイ」ト告ケ同大臣ニ其ノ發言ヲ許シタリ

第二十六回議會 明治四十三年三月十日(追第二號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件ノ會議ニ於テ討論終局ノ動議可決シタル後後藤遞信大臣ハ發言ヲ求メ本案ノ修正ニ同意スル能ハサル旨ヲ述ヘタリ

第四十回議會 大正七年二月十二日大正七年度豫算案會議ニ於テ討論終局後勝田大藏大臣ハ「唯今ノハ政府ハ同意ヲ致シマス」ト述ヘタリ

(五) 表決ニ際シ發言シタル例

第二回議會 明治二十四年十二月十六日東尾平太郎君ヨリ田畑地價特別修正法案ヲ議スル爲議事日程ヲ變更スルノ動議ヲ提出シ之ニ贊成者アリ其ノ採決ニ際シ陸奥農商務大臣ハ高梨哲四

郎君ノ質問ニ對シ答辯ノ演說ヲ爲シタリ

第二十三回議會 明治四十年三月十四日政府提出貴族院送付刑法改正案ノ第二讀會中其ノ第二章第七十七條ニ對シ議長(杉田定一君)ハ「委員長ノ報告通り御異議アリマセヌカ」ト諮ヒタル際政府委員倉富檢事ハ同條第一號ニ對スル委員會ノ修正案ニ反對ノ意見ヲ述ヘタリ

第二十六回議會 明治四十三年三月十八日政府提出鐵道營業法中改正法律案ノ第二讀會ニ於テ議長(長谷場純孝君)ハ高木益太郎君提出ノ修正動議ヲ採決セル際後藤遞信大臣ハ發言ヲ求メ高木君ノ發議ニ對シテ辯明シタリ

參看 三九一號

六一〇 院議若ハ議員ノ希望ニ依リ國務大臣又ハ政府委員ノ出席要求中其ノ議事ヲ續行シ若ハ一時延期ス

會議中院議ヲ以テ國務大臣ノ出席ヲ要求シ又ハ議員ヨリ國務大臣若ハ政府委員ノ出席ヲ希望スルトキ議長ヨリ之ヲ通告スル場合ニハ其ノ議事ヲ續行シ若ハ一時延期シテ次ノ日程ニ移リ又ハ議事日程ヲ變更シテ他ノ議案ヲ議シタルコトアリ

(一) 議事ヲ續行シタル例

第二十八回議會 明治四十五年二月十日齋藤宇一郎君外六名提出所得税法中改正法律案外一件ノ第一讀會ノ續會中守屋此助君ヨリ大藏大臣出席ノ希望ニ對シ議長(大岡育造君)ハ「守屋此助君ノ御希望ハ通ジテ置キマスガソレヲ通ズル爲メニ此議事ノ進行ヲ延スコトハ出來マセヌカラ此議事ハ進行致シマス」ト告ケタリ

(二) 議事ヲ一時延期シタル例

第三十回議會 大正二年三月四日林毅陸君提出内閣ノ政綱ニ關スル質問ノ趣旨辯明ニ際シ院議ヲ以テ内閣總理大臣ノ出席ヲ要求スルニ決セルトキ議長(大岡育造君)ハ「直チニ内閣ニ向ッテ其儀ヲ傳ヘマス、出席ノアル迄待ツト云フコトモ時間ヲ無用ニ潰ス譯デアリマスカラ姑ク次ノ質問ニ移リマス」ト告ケタリ

第三十五回議會 大正三年十二月十七日兒玉亮太郎君外三名提出航空事業國庫補助ニ關スル建議案ノ會議ニ於テ委員長ノ報告ヲ了リタルトキ小山完吾君ハ「本案ニ關聯致シテ軍事當局者、殊ニ陸軍大臣ニ簡單ナル質問ヲ此ノ席ヨリ致シタイノデアリマス、若シ豫算會議ノ御都合ガ付クナラバ御出席ヲ願ヒタイ」ト請求シ議長(奥繁三郎君)ハ「今陸軍大臣ニ照會ヲシテ見マス」ト告ケ尙「其時間モ多少アリマスルカラ、次ノ日程ニ移リマス」ト宣告セルモ中村啓次郎君

ノ動議ニ依リ議事日程ヲ變更シテ他ノ一議案ヲ議了セリ

六一一 議員提出議案ノ趣旨辯明ニ先チ政府委員發言ス

議員提出議案ニ對シ提出者ノ趣旨辯明前政府委員ノ發言シタルコトアリ

第四回議會 明治二十五年十二月三日杉田定一君外二名提出地租條例改正案ノ趣旨辯明ニ先チ政府委員田尻大藏次官ハ政府ノ意見ヲ述ヘ、同月五日工藤行幹君外二名提出郡制改正法律案ニ付テモ提出者ノ趣旨辯明前政府委員渡邊内務次官ハ政府ノ意見ヲ述ヘタリ

六一二 上奏案、建議案、決議案ニ對シ國務大臣及政府委員發言ス

上奏案、建議案及決議案ノ會議ニ於テ國務大臣又ハ政府委員其ノ議案ニ對スル政府ノ意見ヲ表明シタルコト尠カラス

參看 四九二號、四九五號、五四七號、六〇九號

六一三 國務大臣、政府委員用語ヲ釋明シ若ハ訂正シ又ハ不穩當ト認メタル言語ヲ取消ス

第五十回議會 大正十四年一月二十四日ノ會議ニ於テ加藤內閣總理大臣ハ高見之通君ノ質疑ニ對スル答辯中ノ言辭ニ付議員ヨリ取消ヲ要求シタル者アリ越エテ一月二十七日ノ會議ニ於テ同大臣ハ此ノ點ニ關シ釋明ヲ爲シタリ

同 大正十四年二月十二日ノ會議ニ於テ高橋農商務大臣ハ去ル二月五日前田房之助君ノ質問ニ對スル答辯中少シク訂正スヘキ點ヲ發見シタル旨ヲ述ヘ實例トシテ指摘シタル國名及數字ヲ訂正シタリ

第五十一回議會 大正十五年二月十八日ノ本會議ニ於テ政府委員鈴木富士彌君ハ「一昨日日本議場ニ於キマシテ勞働組合法ヲ審議スルニ際シ有馬君ヨリ內閣總理大臣ニ對シ質問ガゴザイマシタ然ルニ內閣總理大臣ハ不在デアリマシタカラ便宜上私ヨリ答辯ヲ致シマシタ其際議場ガ喧騒致シマシタカラ私モ激昂ノ餘リ最後ニ穩當ナラサル言論ノアツタコトハ深く遺憾ト致シマス茲ニ之ヲ取消シマス尙將來モ注意致シタイト思ヒマス」ト述ヘタリ

第五十二回議會 昭和二年一月十九日ノ本會議ニ於テ三士忠造君ノ國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ニ對スル片岡大藏大臣ノ答辯中ニ不穩當ノ言辭アリトテ取消ヲ要求スルノ發言喧シカリシカ同大臣ハ「……今議長ノ注意ガアリマスカラ私ハ喜ンデ應ジマセウト存ジマスソレハ三士君一己ノ意見ト申上ゲタコトガ……是ガ御耳ニ觸リマスナラバ私ハサウ云フ意思デハアリマセヌガ全然取消シマセウ何ノ妨ゲモアリマセヌ……」ト述ヘタリ

同 昭和二年二月二十四日政府提出出版物法案ノ第一讀會ニ於テ原惣兵衛君ノ質疑ニ對シ鈴木政府委員ハ答辯中ニ用キタル言辭ニ對シ「申上ゲマス……ト云ヒマシタコトハ取消シマス」ト述ヘ之ヲ取消シタリ

同 昭和二年五月五日ノ本會議ニ於テ岩切重雄君ノ質疑ニ對シ田中內閣總理大臣ハ答辯ヲ爲シタル後「只今私ノ答辯中ノ……ト云フ言葉ハ取消シマス議會ニ提案ヲシテ其ノ協贊ヲ求ムベキモノデアルト云フ意味ニ訂正致シマス」ト述ヘタリ

參看 三二三號

六一四 政府委員ノ發言ニ關シ議長注意ヲ爲ス

第二十八回議會 明治四十五年二月六日中川虎之助君外十三名提出砂糖消費稅法中改正法律案ノ第一讀會ニ於テ菅原大藏省主稅局長ハ「曩ニ委員ニ御付託ニナリマシタ酒造稅法中ノ改正

法律案ト今討議中ニ係リマス砂糖消費税法中ノ改正法律案ノ此二案ニ對シテ政府ハ反對ノ意見ヲ簡單ニ申上ゲマス」ト述ヘタルニ議長(大岡育造君)ハ「ソレハ委員會デ……」ト注意シ菅原政府委員ハ「左様デスカ何時デモ意見ヲ述ベテ然ルベキコトニ承知シテ居リマスガチヨツト機會ヲ失シマシタノデアリマシテ……簡單ニ申シマスカラ……」ト引續キ發言セルヲ以テ議長ハ更ニ「政府ハ何時ニテモ發言スルコトヲ得ルノハ勿論デアリマスケレドモ問題ニアラザル場所ニ於テ言フベキモノトハ議長ハ思ハヌノデアリマス併ナガラ是迄ノ例ガアルト云フニ依ツテ政府委員モ此所ニ出テ言ハレルノデアリマセウガ茲ニ私ノ考フルトコロニ依レバ此案ハ委員ニ付託セラレテ居リマスカラ委員會ニ於テ説明シ尙委員會ノ經過及結果ハ本會ニ之ヲ報告スルノデアリマスカラシテ政府ノ意見ヲ諸君ニ明瞭ニスル機會ハ幾ラモアルト信ジマス此場合ハ唯今ノ砂糖消費税ニ關スル議題ダケノ説明ヲ政府ガスルノガ穩當ト思フノデアリマス」ト注意スル所アリ菅原政府委員ハ「ソレデハ砂糖消費税法中ノ改正法律案ニ對シテノミ反對ノ意見ヲ述ベテ置キマス」ト言ヒ議長ノ注意ニ應シタリ

第四十回議會 大正七年二月二十八日共通法案ノ會議ニ於テ政府委員有松英義君答辯中「松田源治ヨリ」ト云ヒ直ニ其ノ失言ヲ謝シタルモ尙議長(大岡育造君)ヨリ「御改メナサイ」ト注意シ同政府委員ハ失言ヲ訂正シタリ

第四十七回(臨時)議會 大正十二年十二月十四日政府提出保險會社ニ對スル貸付金ニ關スル法律案ノ會議ニ於テ志賀和多利君ノ質疑ニ對シ政府委員松本丞治君答辯ヲ爲スニ當リ「只今ノ御質問ノ御趣旨ハ甚ダ私ニハ了解出來マセヌガ……」ト述ヘ議員ヨリ其ノ失言ヲ詰ルモノアリ副議長(松田源治君)ハ同政府委員ニ注意ヲ與ヘ之カ取消ヲ促シタルニ同政府委員ハ直ニ右失言ヲ取消シタリ

第五十一回議會 大正十五年二月十六日政府提出勞働組合法案ノ會議ニ於テ有馬頼寧君ノ質疑ニ對スル鈴木政府委員ノ答辯ニ關シ秦豐助君ハ鈴木政府委員ハ議長ノ許可ヲ得シテ登壇シ不穩當ナル言辭ヲ爲シタルモノナリトテ議長ニ對シ「……此事ハ議長ニ於テハ十分處置ヲ執ラレテ將來スノ如キ出來事ノナイヤウニ相當處分セラレムコトヲ希望スル次第デアリマス」ト述ヘ之ニ對シ議長(粕谷義三君)ハ政府委員ニ對シ「……尙政府委員ニ於キマシテモ將來スノ如キコトノナイコトヲ希望致シマス……」ト述ヘ二月十八日ノ本會議ニ於テ鈴木政府委員ハ二月十六日ノ議場ニ於テ穩當ナラサル言論ヲ爲シタルコトヲ遺憾トスル旨並之ヲ取消シ將來注意スル旨ヲ述ヘタリ

六一五 國務大臣又ハ政府委員自席ヨリ發言ヲ爲ス

國務大臣及政府委員ニシテ議員ノ質疑ニ對シテ答辯スルハ通常登壇シテ之ヲ爲スヲ例トスルモ答辯簡單ナルカ又ハ足痛等ノ爲其ノ席ヨリ辯明ヲ爲シタルコトアリ

六一六 國務大臣又ハ政府委員其ノ資格ニ付辯明ス

第二十八回議會 明治四十五年三月二十五日請願委員長提出寺院境内地下戻ニ關スル法律案ノ第一讀會ニ於テ政府委員上山農商務省山林局長ノ意見ニ對シ鶴澤總明君ハ「政府委員ハ政府ノ全體ヲ代表シテ御答ヲナスッタノデアリマセウカ、或ハ單ニ農商務省ヲ代表シテノ御答デアリマセウカ、本案ハ……單純ナル山林局ノ問題デナイト思フノデアリマス、宗教ニ關スル大問題デアリマスカラ、若シ政府委員ガ政府全體ヲ代表シテノ御答辯デアルト云フコトナラバ其趣旨ヲ尙明白ニシテ置イテ戴キタイト思ヒマス」ト問ヒタルニ上山政府委員ハ「私ハ農商務省ノ政府委員デアリマスカラ農商務省ニ關係スルコトノ意見ヲ述ベル、尤モ農商務省ノコトニ關係ヲシタ政府全體ノ勿論意見デアリマス」ト辯明セリ

第三十七回議會 大正四年十二月七日國務大臣ノ演說ニ對シ元田肇君ノ質疑ニ對シ一木內務大

臣ノ答辯アリタルトキ齋藤珪次君ハ「先刻一木內務大臣ガ其所ニ登壇セラルル時ニ於テ本大臣ハ總理大臣ニ代ッテ答辯ヲ致ス、斯様ニ申サレマシタヤウニ思ヒマス……總理大臣ニ代ッテト云フ一言ハ抑々代理ヲ意味スルノカ、或ハ便宜上唯國務大臣トシテ出タカ、遂ニ代ッテト云フ餘計ナ辭ヲ附ケテ言フタノデアルカ其邊ヲ一應議長ニ確メマス、若シ代理ノ意味ナリトセバ議會ニ於テハ國務大臣ハ代理ヲ爲スコトハ許サヌコトデアル……」ト述ヘタルニ一木內務大臣ハ「先刻私ガ代ッテト云フ言葉ヲ使ツタノハ、或ハ穩カデナカツタカモ知レマセヌガ、趣旨ハ總理大臣ガ直接御答スヘキ所デアルケレドモ、私ガ此場合ニ於キマシテ、總理大臣ガ居ラレヌカラシテ此事ニ就テ御答ヲスル、斯ウ云フ意味デアツタ」ト辯明セリ

第四十回議會 大正七年二月七日野村嘉六君ハ「……總理大臣故障ノ時ニハ、他ノ大臣ヲシテ事務ヲ代理サセルノガ當然ダト信ジマス、未ダニ其手續ガ出來テ居ラヌヤウニ見受ケマス、此點ニ對シテハ政府ハ如何ナル手續ヲ執ツテ居ラレルノデアリマスカ承リタウ御座イマス」ト質シタルニ後藤內務大臣ハ「事務上ニ差支ハ無イヤウニ致シテアリマス、又總理大臣ハ近日恢復スル見込デアリマス、何等其間ニ事務ニ差支ハナイコトデアリマス」ト答ヘタリ越ヘテ同十二日齋藤隆夫君ヨリ「……寺內首相ハ確カ豫算總會ノ初メ三日間ハ出席ヲセラレマシタガ、其後ノ總會及ビ分科會、引續イテ今日ノ本會ニ至ルマデ出席ガ無イノデアリマス、私ハ強イテ之

ニ付テ出席ヲ強要スル者デハナイ、斯ル場合ニ處スルガ爲メ、内閣官制第八條ハ何ガ故ニ運用セラレヌノデアリマス、當期議會ノ最モ此重大問題タル所ノ一國ノ財政計畫ヲ論ズルニ方リ……責任ノ首腦者タル所ノ總理大臣ノ出席ガナイト云フコトハ、洵ニ議會ヲ尊重スル所以デハナイト私ハ思フ、過日ノ質問ニ對シテハ十二日迄ニ出席ガ出來ヌナラバ、相當ノ取計ヒヲスルト云フコトデアツタ、相當ノ取計ヒヲ果シテセラレタノデアルヤ否ヤ、政府ニ於キマシテモ相當ナ御辯解ガアルト信ジマスガ、此際ニ於テ承ツテ置キタイノデアリマス」ト質シタルニ後藤内務大臣ハ「此事ハ總理大臣ガ連日缺席デ出席容易ニ出來ナイト云フ場合ニ於テハ臨時總理大臣ヲ置クト云フコトモアリマスノデ、總理大臣ハ全ク一時ノコトデアリマシテ、本日ハ出席シヤウト云フコトヲ希望シテ居リマシタガ、臨時ニ尙ホ工合ガ惡イト云フノデ出席ガ出來ナクテ、今日ハ出席シマセヌ併ナガラ此總理大臣缺席ノ時ニ於テ、其職務ヲ代理スルコトニ付テハ閣議ノ上ニ相當ノ處置ヲ執ル方法モ極ツテ居リマス、又臨時必要ノ場合ニ、其命ヲ受ケテ事ヲ處スルコトニナツテ居ルノデアリマス左様ニ御承知下サイ」ト答辯シタリ然ルニ齋藤君ハ「唯今内務大臣ノ御答辯ニ依リマスルト云フト、閣議ニ依テ總理大臣ノ臨時代理ヲ勤ムルト云フヤウナコトヲ相談シタト云フコトデアアル、總理大臣ノ臨時代理ハ閣議ニ於テ決定スベキモノデアリマスカ、官制ノ第八條ニハ勅命ヲ承ケナケレバ、正式ナル所ノ代理ハ出來ナイト云

フコトニナツテ居リマス其官制ヲ無視シテ國務大臣ガ勝手ニ總理大臣臨時代理ト云フコトガ出來ルノデアリマスカ」ト重ネテ質疑シ後藤内務大臣ハ「内閣官制第八條ノコトハ齋藤君カラ御説明ニナツテ居リマスカラ、ソレニ反對シテ閣議ニ依テ決議ヲシタト申シタ譯デハアリマセヌ、此臨時代理ヲ致スコトニ付テハ、命ヲ受ケテ居ルノデアリマス左様ニ御承知下サイ」ト答辯セリ之ニ關シ三木武吉君ヨリ「本員ハ政府ニ對シテ臨時總理大臣ノ任命ハ何時アリシヤ、及ビ何人ニ對シテ下命セラレタルモノナルヤヲ御尋ネ致シタイノデアリマス先刻我黨ノ齋藤隆夫君カラ内務大臣ニ對シテ爲シタル質問ノ答辯ニ、其第一回ノ答辯ト致シマシテハ、内務大臣ハ閣議ニ於テ總理大臣ニ代ルベキ者ヲ定メテ此席ニ出テ居ルノデアアルカラ、差支ナイト云フ御答辯ニナツタノデアアル、齋藤君ノ追究ニ依ッテ第二ニ答辯セラレタ、其答辯ノ要旨ハ命ヲ受ケテ總理大臣ノ事務ヲ代理スルノデアルト答辯サレタノデアリマス、第二ノ答辯ハ即チ内閣官制第八條ニ依ルノ命デアラウト私ハ信ジマス、第一ノ答辯ハ内閣官制ニ認メラレザル所ノ、不法ノ代理決議デアルト私ハ信ジマス、内務大臣ノ答辯ガ前後ニ於テ矛盾ヲ爲シタル以上ハ其孰レガ眞ナリヤヲ確メルノ必要ガアルノデ御座イマス」ト質シ之ニ對シ後藤内務大臣ハ「齋藤君ハ内閣官制ノ正條ヲ引イテ御話デアリマシタ、其事ハ承知致シテ居リマスト斯ウ言ツタ、ソレカラ命ヲ受ケテ居ルカト云フカラ、命ハ受ケテ居リマス、併ナガラ今三木君ノ御尋ハ、齋藤君ノ

命ヲ受ケテ居ルト云フコトノ意義ト私ノ命ヲ受ケテ居ルト云フ意義トヲ、混同シテ御尋ニナッタヤウデアリマス、此國務大臣ハ總理大臣ノ不在ノ時ニハ其首席ノ大臣、若ハ其差支ガアル後ニハ其次ノ大臣ガ、此或職務ニ就テ總理大臣ヲ代表シタ一部ノ事ヲ爲スト云フコトニ付テハ、命ヲ受ケテ居ル事ヲ申シタノデアリマス、而シテ又官報ニ出ストカ出ストカ言ヒマスガ、之ハ即チ副署ヲシタリスルヤウナコトデ、即チ臨時總理大臣トシテ全部ヲ代表スル場合デアアル、其事ハ承知致シテ居ルト先刻言ッタノデアリマス其通りデアリマスカラシテ先刻誰方カ此席デアリ代理ヲスル者ハ誰デアルト云フ御尋ガアリマシタガ、別ニ申上ゲマセンデシタ、ソレハ即チ首席ノ大臣ガ其代表ヲ致シマス、ソレハ或事務ヲ其國務大臣タル者ガ代理ヲ致シマスノデアリマス」ト辯明セリ

第二章 貴族院トノ關係

六一七 回付案ニ對スル同意不同意

本院送付若ハ提出ニ係ル議案ニ對シ貴族院ニ於テ修正ヲ加ヘ回付セラレタル場合ニハ本院此ノ修正ニ同意シタルトキハ之ヲ奏上スルト同時ニ其ノ旨ヲ貴族院ニ通知シ若同意セサルトキハ兩院協議會ヲ開クコトヲ求ムヘシ而シテ兩院協議會ニ於テ成案ヲ得タルトキハ其ノ成案ニ對シ協議會ヲ求メタル議院ニ於テ先ツ其ノ可否ヲ決シ可決シタルトキハ之ヲ求メラレタル議院ニ之ヲ移シ若シ否決シタルトキハ其ノ旨ヲ通知スヘシ貴族院ノ送付若ハ提出ニ係ル議案ニ對シ本院ニ於テ修正ヲ加ヘ回付シタル場合ニ於ケル貴族院ノ取扱亦同シ

(イ) 回付案ニ同意シタル場合

第四回議會ニ三件、第六回議會ニ一件、第八回議會ニ四件、第九回議會ニ八件、第十回議會ニ四件、第十二回議會ニ一件、第十三回議會ニ十一件、第十四回議會ニ九件、第十五回議會ニ四件、第十六回議會ニ八件、第十八回議會ニ二件、第二十回議會ニ一件、第二十一回議會ニ二件、第二十二回議會ニ一件、第二十三回議會ニ三件、第二十五回議會ニ八件、第二十六回、第二十七回、第三十

回議會ニ各一件、第三十一回議會ニ二件、第三十六回議會ニ一件、第三十七回議會ニ五件、第三十九回議會ニ一件、第四十回議會ニ二件、第四十一回議會ニ四件、第四十三回議會ニ五件、第四十四回議會ニ八件、第四十五回議會ニ三件、第四十六回議會ニ六件、第五十回議會ニ四件、第五十一回議會ニ一件、第五十二回議會ニ二件アリ

(ロ) 回付案ニ同意セサリシ場合

第三回議會ニ一件、第四回議會ニ三件、第六回及第八回議會ニ各一件、第九回及第十回議會ニ各三件、第十三回議會ニ八件、第十四回議會ニ四件、第十五回及第十六回議會ニ各二件、第二十二回及第二十四回議會ニ各一件、第二十五回及第二十六回議會ニ各二件、第二十七回、第二十八回、第三十一回、第三十七回、第三十九回及第五十回議會ニ各一件アリ

(ハ) 回付案ニ同意不同意ヲ表スルニ至ラサリシ場合

第十二回議會ニ二件、第三十一回及第四十五回議會ニ各一件

(ニ) 本院ヨリ回付シタル議案ニ對シ貴族院ノ同意不同意

(イ) 回付案ニ同意シタル場合

第四回議會ニ一件、第九回議會ニ四件、第十三回議會ニ一件、第十四回及第十五回議會ニ各二件、第十六回、第二十一回、第二十四回及第三十回議會ニ各一件、第五十一回議會ニ四件、第五十二回

議會ニ二件アリ

(ロ) 回付案ニ同意セサリシ場合

第八回議會ニ一件、第十三回議會ニ二件、第二十三回議會ニ一件、第二十七回議會ニ二件、第五十回議會ニ一件アリ

(ハ) 回付案ニ同意不同意ヲ表スル前ニ撤回シタル場合

第十五回議會ニ一件アリ

六一八 兩院協議會ニ於ケル議案ノ成績

(一) 兩院協議會ノ成案ヲ得タル場合

(イ) 兩院ニテ可決シタルモノ

第三回議會ニ一件、第四回 會ニ二件、第八回議會ニ一件(貴族院要求)、第九回及第十回議會ニ各一件、第十三回議會ニ七件、(内二件貴族院要求)、第十四回議會ニ四件、第十五回議會ニ二件、第十六回及第二十二回議會ニ各一件、第二十三回議會ニ一件(貴族院要求)、第二十四回、第二十五回及第二十六回議會ニ各一件、第二十七回議會ニ二件(共ニ貴族院要求)、第二十七回、第三十

九回及第五十回議會ニ各一件

(ロ) 兩院ノ一ニテ否決シタルモノ

第四回議會ニ一件(本院否決)、第六回議會ニ一件(貴族院否決)、第八回及第九回議會ニ各一件(共ニ貴族院否決)、第十六回、第二十五回第二十六回及第二十七回議會ニ各一件(共ニ本院否決)、第二十八回及第三十一回議會ニ各一件(共ニ貴族院否決)、第五十回議會ニ一件(貴族院要求、本院否決)

(二) 兩院協議會ノ成案ヲ得ザリシ場合

第十三回議會ニ一件

參看 六二二號

(三) 兩院協議會ヲ開クニ至ラザリシ場合

第九回議會ニ一件、第十回及第十三回議會ニ各二件

參看 附錄一四ノ九

六一九 兩院協議委員ハ議場ニ於テ選舉ス其ノ補闕選舉ハ議長指名ニ依ル

兩院協議委員ノ選舉ハ第一回議會以來其ノ例區々ニシテ各部通算選舉ニ依リタルモノ六、議長指名ニ依リタルモノ三十二(即時指名ス)、議場選舉ニ依リタルモノ七、總計四十五回ナルモ近時ハ議場選舉ノ方法ニ依リ其ノ數ヲ十名トスルヲ例トス而シテ第三十一回議會ニ於ケル大正三年度豫算案ノ兩院協議委員選舉ハ議場選舉ナリシモ其ノ補闕選舉ハ議長指名ニ依レリ

第三十九回議會 大正六年七月十二日政府提出貴族院回付製鐵業獎勵法案ノ會議ニ於テ院議貴族院修正ニ不同意ト決シ議院法第五十五條ニ依リ兩院協議委員ノ選舉ヲ議題ト爲シタルトキ元田肇君ハ「此際十名ノ委員ヲ當議場ニ於テ選舉致シマシテ、貴族院ニ此協議會ヲ開クコトヲ求メタイト思ヒマス」トノ動議ヲ提出シ院議之ヲ可決シタルヲ以テ十名連記投票ニ依リ選舉シタリ

第五十回議會 大正十四年三月二十七日政府提出貴族院回付衆議院議員選舉法改正法律案ノ會議ニ於テ院議貴族院ノ修正ニ不同意ト決シ議院法第五十五條ニ依リ兩院協議委員ノ選舉ヲ議題ト爲シタルトキ院議委員ノ數ヲ十名トシ議場ニ於テ選舉シタリ
同日貴族院ノ要求ニ係ル政府提出議院法中改正法律案ノ兩院協議會ハ其ノ委員ノ數ヲ十名トシ直ニ議場ニ於テ選舉シタリ

六二〇 兩院協議委員ノ選舉ニ於ケル投票中同一連記ノモノハ合算シテ讀ミ上ク

第三十一回議會 大正三年三月十四日大正三年度歳入歳出總豫算案兩院協議委員ヲ議場ニ於テ選舉セルトキ其ノ開票ニ際シ副議長(關直彦君ハ)「チヨット御諮リヲ致シマス此投票ノ計算中ニ投票中ニ全部同一ナルモノガ澤山アルヤウデアリマス、ソレヲ一々讀上ゲマスルト甚ダ時間ガ長クナリマスルカラ同ジモノハ合計致シマシテ計算シ同ジデナイモノノミヲ讀上ゲタイト思ヒマスガ如何デス」ト諮ヒ(「賛成々々」ノ聲起ル)「御異議ノナイモノト認メマスソレナラバ同一ノモノヲ合計シテ計算致シマス……」ト告ケ合算ノ上之ヲ讀上ケタリ

第三十九回議會 大正六年七月十二日製鐵業獎勵法案(政府提出、貴族院回付)ノ兩院協議委員ノ議場選舉ヲ行ヒ其ノ開票ノ際議長(大岡育造君)ハ「念ノ爲ニ申シテ置キマス、同一ノモノハ揃ヘテ讀ムコトノ先例ガアルノデアリマスカラソレヲ今ハ用キテ居ルノデアリマス」ト告ケタリ

第三十七回議會(大正五年二月二十七日)、第五十回議會(大正十四年三月二十七日)ニ同一ノ事例アリ

參看 四六六號

六二一 兩院協議委員ノ選舉ニ於テ氏名ヲ印刷セル投票ハ之ヲ有效ト認ム

第二十六回議會 明治四十三年三月十八日關稅定率法改正法律案兩院協議委員ノ議場選舉ノ際藤澤元造君ハ「此投票ハ必ず御配付ニナツテ居ル投票用紙ニ限ルヤ否ヤ」ト問ヒ議長(長谷場純孝君)ハ「ソレハ議場ニ於テ御極メニナルカマダ私ノ眼ノ前ニハ左様ナモノハ見エマセヌ併シナガラ既ニ各常任委員ノ慣例等モゴザイマスカラ……若シ其ノ場合故障ガ出マシタトキニハ議場ニ諮ツテ採決致シマス」ト答ヘ投票點檢中議長ハ「關稅兩院協議委員ト斯ウ書イテソレカラズット十名茲ニ印刷ニ付シタモノガアリマス是ハ有效デアリマスカ無効デアリマスカ」ト諮ヒ「有效」「無効」ト呼フ者アリタルニ依リ之ヲ採決セシニ有效ト決シタリ

爾來配布シタル投票用紙ヲ用キス別ニ印刷セル投票モ有效ト認ムルヲ例トス

六二二 兩院協議會ノ成案成立セサリシトキ本院議決案ヲ成案トシテ貴族院ニ送付ス

第十三回議會 明治三十二年三月九日衆議院議員選舉法改正法律案ノ兩院協議會ニ於テ協議會ノ請求ニ應シタル貴族院ノ議決案ハ否決スヘキモノト議決シ而シテ請求シタル本院ノ議決案

第三編 政府及貴族院トノ關係 第二章 貴族院トノ關係 (六二〇—六二二)

ハ修正トシテ提出セラレサリシヲ以テ形式上成案ナカリキ然ルニ同日ノ本會議ニ於テ協議會委員星亨君ハ協議會議長ニ代リ兩院協議會ノ經過ヲ述ヘ次テ「遂ニハ此案ガ否決スベキモノデアルト云フコトガ協議會ニ於テ決定シタノデアアル其案ハ否決スベキモノデアルト云フ案ハ何デアアルカト云ヘバ貴族院ガ衆議院ノ案ヲ修正致シマシタ所ノ案ハ即チ今日ノ協議會ノ原案デゴザイマスカラ是ハ否決スベシト云フコトニナッタノデアアル……サレバ吾々ノ貴族院ノ案ニアラズシテ衆議院ノ案ガ可決スベキモノトナッテ貴族院ノ案ハ否決スベキモノトナッタノデゴザイマス即チ成案ガ茲ニ成立タナイノデゴザイマスカラシテ宜シク諸君ニ於テハ彼ノ貴族院ノ案ハ否決ト定メ而シテ衆議院ノ案ハ可決ト御定メニナルコトヲ希望致シマスノデゴザイマス」ト報告シ議長(片岡健吉君)ハ「今兩院協議會ノ議長ニ代ッテ星亨君カラ報道ニナリマシタ此報道ニ付テハ御異議アリマスマイカ」ト諮ヒタルニ異議ナク之ヲ可決シ貴族院ヘ送付シタリ即チ左ノ如シ

衆議院議員選舉法改正法律案

右本院ニ於テハ衆議院議決案ヲ成案トシテ可決セリ因テ議院法第五十六條ニ依リ及送付候也貴族院ニ於テハ衆議院カ兩院協議會ニ於テ採決セサル議決案ヲ成案トシテ議決シ送付シタルハ違法ノ議決ト思料スルニ依リ本案ノ可否ヲ決スルニ及ハス衆議院ノ議決ヲ否認シ衆議院ヨリ送

付セシ成案ハ自然否決シタルモノト看做スコトニ議決セリ

六二二 回付案ニ對スル質疑討論ハ其ノ修正ノ範圍ニ限ル

第五十回議會 大正十四年三月二十五日大正十四年度歳入歳出總豫算ノ貴族院回付案ノ會議ニ入ルニ先チ議長(粕谷義三君)ハ「此ノ議事ハ豫算案ニ對スル貴族院ニ於ケル修正ノ箇所ニ同意スルヤ否ヤヲ御諮リ致スノデアリマスルカラ隨テ諸君ノ質疑及御演說等モ其ノ範圍ヲ回付セラレマシタル點ニ御局限ヲ御願シタイノデアリマス若シ然ラズシテ諸君ノ質疑ナリ或ハ討論ナリガ他ノ豫算ノ部分ニ互リマスルヤウナコトニナリマスルナラハ本案ハ再ヒ茲ニ豫算ノ會議ヲ開クノ有様ニナリマス斯ノ如キハ決シテ議事ノ進行ヲ圖ル所以デナイト思ヒマスカラ此ノ事ハ豫メ諸君ノ御諒解ヲ得テ置キマス」ト宣告シ川原茂輔君ノ回付案ニ對スル質疑中議長ハ「鐵道ノ問題ハ今此議場ニ上ツテ居リマセヌカラ其ノ點ニ關シテ御質疑ガアリマスナラバ更ニ他ノ方法ヲ御採リヲ願ヒタイ」ト注意シタリ

六二四 豫算協贊權ニ關スル貴衆兩院ノ爭議及勅裁

六百四十

第三回議會 明治二十五年豫算追加案ハ明治二十五年五月七日本院ニ提出セラレ大院ハ同月三十一日之ヲ修正議決シ翌六月一日貴族院ニ送付シタルニ貴族院ハ之ヲ修正シ更ニ本院カ削除シタル歳出臨時部海軍省所管第一款及文部省所管第二款ヲ挿入シ同月六日本院ニ回付シタルヲ以テ本院ハ同月九日山田東次君ノ動議ニ依リ左ノ議決ヲ爲シ直ニ之ヲ貴族院ニ返付シタリ

明治二十五年歳入歳出總豫算追加案ニ對シ貴族院ニ於テ海軍省所管第一款及文部省所管第二款ヲ更ニ挿入シタルハ不合法ノ議決ナルヲ以テ本院ハ之カ回付ヲ受クヘキモノニアラス

貴族院ハ翌十日更ニ左ノ議決書ヲ添ヘ豫算追加案ヲ回付シタリ

明治二十五年歳入歳出總豫算追加案ニ對シ本院ニ於テ海軍省所管第一款及文部省所管第二款ヲ更ニ挿入シタルハ不合法ノ議決ナルヲ以テ衆議院ハ之カ回付ヲ受クヘキモノニアラスト衆議院ニ於テ議決ヲ爲シタルモ本院ニ於テハ合法ノモノト確定ス依テ其ノ通牒ヲ受領セス

是ニ於テ議長(星亨君)ハ即日左ノ書面ヲ附シテ再ヒ貴族院ニ送付シタル後之ヲ議場ニ報道シ

タリ

本日貴院ヨリ更ニ御回付ノ明治二十五年豫算追加案ハ既ニ昨九日本院ニ於テ其ノ回付ヲ受クヘキモノニアラスト決議シタルモノニ付直ニ及返送候也

貴族院ハ翌十一日此ノ事件ヲ 陛下ニ上奏シテ勅裁ヲ仰キタリ上奏ニ曰ク

貴族院議長臣茂詔誠恐惶貴族院ノ決議ヲ以テ恭ク

叡聖文武 天皇陛下ニ上奏ス

本院ハ政府ヨリ提出シ衆議院ヨリ送付サレタル明治二十五年歳入歳出總豫算追加案ヲ議スルニ當リ衆議院ノ削除シタル海軍省所管第一款軍艦製造費及文部省所管第二款震災豫防調査會設備費ノ兩款ヲ急要ノ歳出ナリト認メ憲法ニ依リテ與ヘラレタル協贊ノ權ニ依リ政府ノ原案ニ基キ衆議院ノ修正案ヲ修正シ議院法第五十五條ニ依リ衆議院ニ移シタリ抑豫算案ハ前ニ衆議院ニ提出セラルルノ外憲法上豫算ニ對スル協贊ノ職權ニ於テ兩院ノ間ニ輕重スル所ナキヲ信シ又此職權ニ依テ修正ヲ行フニ當リ政府ノ提出セル原案ノ款項ヲ復スルニ付テハ法律上何等ノ制限ナキヲ信ス是ヲ以テ本院ハ憲法ノ命スル職務ヲ盡シ且議院法ノ手續ヲ履ミ以テ衆議院ノ同意ヲ求メタリ然ルニ衆議院ハ更ニ之ヲ挿入シタルハ不合法ノ議決ナルヲ以テ回付ヲ受クヘキモノニアラストシテ返付セリ本院ニ於テハ本院ノ議決ヲ合法

ノモノト確信スルヲ以テ更ニ之ヲ衆議院ニ回付シタルニ衆議院ヨリ再應返付シ兩院ノ所見
遂ニ相合フ能ハサルニ至レリ今憲法上ノ疑義ニ關シ兩院ノ所見互ニ相合ハス從テ憲法ノ進
行ヲ現在及將來ニ妨クルノ懼アルニ於テ本院ハ謹テ狀ヲ具ヘ上奏シ仰テ

聖明ノ親裁ヲ待ツアルノミ恐懼ノ至ニ堪ヘス謹テ上奏ス

超エテ十三日貴族院ハ本院ニ左ノ通牒ヲ爲シタリ

明治二十五年歳入歳出總豫算追加案ニ對スル貴院ノ通牒ニ關シ本院ニ於テ上奏候處別紙
寫ノ通本日內閣總理大臣ヨリ

勅諭傳達相成候間該案更ニ及回付候也

(別紙)

其院六月十一日附ノ上奏ノ件ハ憲法上ノ疑義ニ屬スルヲ以テ朕ハ之ヲ樞密顧問ニ諮詢シタ
リ樞密顧問ハ憲法第五十六條ニ依リ議決シテ上奏スルコト左ノ如シ

憲法上豫算ニ對スル貴族院及衆議院ノ協贊權ハ我帝國憲法第六十五條ニ依リ衆議院ハ貴
族院ニ先チテ政府ヨリ豫算案ノ提出ヲ承クルノ外兩院ノ間ニ軒輊スル所ナキ者ナリ

故ニ後議ノ議院ハ前議ノ議院ニ對シテ何等羈束セラルルコトナク從テ前議ノ議院ニ於テ
削除セル款項ヲ存留スルハ素ヨリ後議ノ議院ノ修正權内ニ屬スヘキモノトス但シ後議ノ

議院ハ前議ノ議院ニ對シ議院法ノ命スル所ニ依リ同意ヲ求ムルヲ以テ唯一ノ手續トスル
ノミ

朕ハ此ノ樞密顧問ノ議決ヲ採納シテ其院ノ上奏ニ答ヘ之ヲ領知セシム

明治二十五年六月十三日

御名 御璽

內閣總理大臣 伯爵 松方正義

本院ハ右ノ通牒ヲ受領シタルヲ以テ同月十四日再ヒ追加豫算案ノ會議ヲ開キ兩院ノ交渉ニ係
ルニ款ヲ議題ト爲シ前議決ノ如ク共ニ之ヲ否決シ議院法ノ命スル所ニ從ヒ直ニ協議會ヲ貴族
院ニ請求シタリ

六二五 年末年始ノ休會期間ハ兩院同一ナルヲ例トス

第一回議會以來貴衆兩院ハ年末年始ノ爲休會スルノ慣例ニシテ其ノ期間ハ概ネ同一ナリトス

參看 二五四號

六二六 本院議員ノ演說ニ對スル貴族院ノ決議及本院議長ノ宣告

第十六回議會 明治三十五年三月五日根本正君ノ貴族院令改正ニ關スル質問ノ趣旨辯明ニ對シ
貴族院ハ同月七日左ノ決議ヲ爲シタリ

明治三十五年三月五日衆議院ニ於テ同院議員根本某ノ爲シタル貴族院令改正ニ關スル演說
ハ貴族院ヲ侮辱シタルモノナリ本院ハ衆議院カ此ノ如キ演說ヲ寛容シタルハ不當ナリト認
メ茲ニ之ヲ決議ス

翌八日議長(片岡健吉君)ハ開議ノ始ニ於テ右決議文ヲ朗讀シタル上議長ハ貴衆兩院ハ互ニ敬禮
ヲ以テ相對スルト同時ニ各自其ノ權域ヲ恪守スヘキモノニシテ他院ノ言動ヲ監督スルノ權利ナ
キモノト信スル旨ヲ宣告シタリ

第四編 議院ノ法規及典禮

第一章 議院法規ノ議定改正

六二七 議院法ノ一部ヲ改正ス

議院法ハ明治二十二年法律第二號ヲ以テ公布セラレ爾來六回ニ互リ一部ノ改正ヲ試ミラル

第十三回議會ニ於テ政府提出歳費増額及歳費ヲ辭スルヲコト得ルノ件(明治三十二年法律第一
〇〇號ヲ以テ公布)

第二十二回議會ニ於テ本院提出豫算審査期間延長ノ件(明治三十九年法律第四十九號ヲ以テ公
布)

第三十七回議會ニ於テ政府提出書記官ノ外ニ奏任官ノ職員ヲ置クノ件(大正五年法律第四十號
ヲ以テ公布)

第四十三回議會ニ於テ政府提出歳費増額ノ件(大正九年法律第八號ヲ以テ公布)

第五十回議會ニ於テ本院提出國有鐵道無賃乗車ノ件(大正十四年法律第三十二號ヲ以テ公布)

第五十二回議會ニ於テ本院提出貴族院ノ豫算審査期間ヲ定ムルノ件及豫算審査期間ヲ延長シ得

ルノ件(昭和二年法律第五十三號ヲ以テ公布)

六百四十六

憲第五一條

六二八 衆議院規則ノ議定並改正

明治二十三年十月十日勅令第二百二十號ヲ以テ兩議院ノ成立規則ヲ公布セラル
朕帝國議會初度ノ召集ニ際シ議院時ニ及テ自ラ其ノ規則ヲ定ムルノ困難ナルヲ顧念シ茲ニ必要
ヲ認メ兩議院ノ爲メニ假ニ成立規則ヲ公布セシメ成立ノ際各議院ヲシテ遵依スル處アラシム
トアリテ集會ノ日時ヨリ議長副議長候補者選舉議席部屬及部長理事ノ互選並成立通牒等ノ手續ヲ
定メラル議院ハ開院式舉行ノ翌々日即チ二十三年十二月一日議院規則起草委員九名ヲ選舉シ委員
ハ即日其ノ原案ヲ報告シ院議之ヲ可決シタリ此ノ議院規則ハ第一回議會以來數次ニ涉リ一部ノ改
正ヲ爲シタルコトアルモ第五十回議會大正十四年三月二十三日小山松壽君外十三名ヨリ衆議院規
則改正案ヲ提出シ全部ニ互リテ改廢ヲ試ミラレ院議之ヲ可決シタルヲ以テ即時之ヲ實施シタリ同
時ニ法律ノ制定ニ關スル請願取扱規則、投票ニ關スル規則ハ之ヲ廢止シタリ

議第六一條

六二九 兩院協議會規程ヲ設ク

第一回議會 明治二十三年十一月十二日青木匡君ノ動議ニ依リ貴衆兩院交渉事務ノ規程草案ヲ
調査セシムル爲委員ヲ選舉シ議院法第六十一條ニ依リ本院委員ト協議セラレ度旨ヲ貴族院ニ
照會シ其ノ後貴族院ノ通牒ニ依リ本院ノ委員貴族院委員會ニ出席シテ兩院協議會規程ヲ協議
決定シ兩院ニ於テ之ヲ可決シタリ

議院ノ法規及典禮 第二章 議院ノ典禮 (六三〇)

第二章 議院ノ典禮

第一節 天機伺

六三〇 院議ニ依リ議長 天機竝御機嫌ヲ奉伺ス

第一回議會 明治二十四年一月二十日末松謙澄君ハ議場燒失御近火ニ付議長ヲシテ參内 天機伺ヲ爲サシムヘシトノ動議ヲ提出シ院議之ヲ可決シ議長(中島信行君)ハ即日參内 天機ヲ奉伺シタリ

第十回議會 明治三十年一月十一日議長(鳩山和夫君)ハ會議ニ先チ皇室ニ關シ報道スヘキコトアリト告ケ敬意ヲ表スル爲總議員ノ起立ヲ求メ「今朝午前一時三十分ニ其筋カラシテ 皇太后陛下ハ去ル八日ヨリ肺炎ニ罹ラセラレ御重症ニ涉ラセラルル趣ノ通牒ニ接シマシタ議長ハ取敢ヘズ直ニ青山御所ニ伺候致シマシテ 天機ヲ伺ヒ奉リマシタ然ルニ頗ル心痛ニ堪ヘザルモノデゴザイマス尙ホ 兩陛下ニ於カセラレマシテモ御心ヲ惱マサセラレ給フ由ヲ拜承致シマシテ實ニ恐懼ノ至ニ堪ヘナイ次第デゴザイマス」ト報告シタルニ大東義徹君ハ本院ハ恐懼ノ意ヲ表スル爲本日ハ休會シ議長ハ本院ヲ代表シテ青山御所竝宮中ニ參内シ 天機ヲ奉伺ス

ヘシトノ動議ヲ提出シ本院ハ全會一致ヲ以テ之ヲ可決シ議長ハ即日參内 天機ヲ奉伺シタリ
 第十二回議會 明治三十一年五月三十一日星松三郎君ヨリ伊勢大廟御屋根燒損ニ付議長ヲシテ
 天機伺ヲ爲サシムヘシトノ動議ヲ提出シ院議之ヲ可決シ議長(片岡健吉君)ハ翌日參内 天
 機ヲ奉伺シタリ

第十三回議會 明治三十二年一月十三日副議長(元田肇君)ハ昨十二日官報號外ヲ以テ、貞宮多
 喜子内親王殿下去ル十一日午後十一時五十分薨去遊ハサレタル旨公布アリタルニ依リ茲ニ協
 議會ヲ開ク旨ヲ宣告シ第一本院ハ弔意ヲ表スル爲議長ヲシテ參内ノ上 天機ヲ伺ハシムルコ
 ト第二御葬儀ノ當日本院ハ特ニ休會ヲ爲シ哀悼ノ意ヲ表シ議長ヲシテ本院ヲ代表シ靈柩ヲ奉
 送セシムルコトノ二件ニ付先ツ第一ヲ協議ニ付シ第二ハ本會議ニ於テ議決スヘキ旨ヲ以テシ
 タルモ恒松隆慶君ノ動議ニ依リ本會議トシテ此ノ二件ヲ可決シ副議長ハ翌日參内 天機ヲ奉
 伺シタリ

第二十九回(臨時)議會 大正元年八月二十四日議長(大岡育造君)ハ會議ニ先チ「皇太后陛下ニ
 對シ奉ッテ國民哀悼ノ至誠ヲ捧ゲルタメニ本院ノ決議ヲ以テ議長ヨリ 天機奉伺ヲ申上ゲタ
 イノデアリマス御贊成ノ諸君ノ起立ヲ希望致シマス」ト發議セルニ院議全會一致ヲ以テ之ヲ
 可決シ議長ハ即日參内 天機ヲ奉伺シタリ

第四十七回(臨時)議會 大正十二年十二月十二日議長(粕谷義三君)ハ日程ニ入ルニ先チ「去ヌ
 ル九月一日ノ震災ハ洵ニ前古未曾有ノ慘事デアリマシテ畏クモ 兩陛下ニ於カセラレマシテ
 ハ深ク御心ヲ惱マサセラレ 攝政殿下亦御憂慮遊バサレマシタコトハ洵ニ恐懼シ奉ル所デア
 リマス此度ノ震災ニ依リマシテ、宮城ノ一部ハ破損致シタル趣ヲ承リ、宮家ニ於カセラレテハ
 薨去遊バサレタル御方々モアラセラレマス、重ネ々々恐懼ニ堪ヘザル次第デアリマス、當時議
 長ハ取敢ヘス 天機竝御機嫌ヲ奉伺致シマシタガ更ニ院議ヲ以テ 天機ヲ奉伺シ、且ツ 皇
 后陛下竝 攝政殿下ニ對シ奉リ御機嫌ヲ奉伺致シタイト存ジマス、御贊成ノ諸君ハ御起立ヲ
 願ヒマス」ト發議セルニ全會一致ヲ以テ之ヲ可決シ議長ハ即日參内 天機竝皇后陛下 攝政
 殿下ノ御機嫌ヲ奉伺シタリ

第四十八回議會 大正十二年十二月二十七日議長(粕谷義三君)ハ「諸君申スモ畏多イ事ゴザ
 イマスルガ、本日 攝政殿下開院式ニ行啓アラセラレマスル際ニ、虎ノ門附近ニ於テ容易ナラ
 ザル不敬ノ行動ヲ爲シタル者ガゴザイマシタサウデアリマス、洵ニ恐懼措ク能ハザル次第デ
 アリマス、議長ハ議院ヲ代表致シマシテ、直ニ參内シテ 天機ヲ奉伺シ、 皇后陛下ノ御機嫌
 ヲ奉伺シ、更ニ 攝政殿下ノ御機嫌ヲ奉伺シタク存ジマス、御異議ゴザイマセヌケレバ、諸君
 ノ御起立ヲ願ヒマス」ト發議シタルニ全會一致ヲ以テ之ヲ可決シ議長ハ即日參内 天機竝皇

后陛下ノ御機嫌ヲ奉伺シ更ニ赤坂離宮ニ參殿 攝政殿下ノ御機嫌ヲ奉伺シタリ
第五十二回議會 昭和元年十二月二十七日奉悼上奏書議決ノ後副議長(小泉又次郎君)ハ「尙此
際御諮リ致スコトガアリマヌ特ニ議院ノ決議ニ依リマシテ 天機ヲ奉伺シ 皇太后陛下竝
皇后陛下ノ 御機嫌ヲ奉伺致シタイト思ヒマス」ト告ケ全會一致可決シタルヲ以テ議長(粕谷
義三君)ハ翌二十八日午後四時宮内大臣ヲ經テ夫レ「言上シ昭和二年一月十八日休會明ノ
議會ノ劈頭ニ其ノ顛末ヲ報告セリ」

六三一 議長副議長及議員 天機竝御機嫌ヲ奉伺ス

明治四十五年七月二十日 聖上陛下(明治天皇)御違例ノ趣發表セラレ議長(大岡育造君)ハ即日
參内シテ 天機ヲ奉伺シ其ノ後御重態ノ報ヲ拜受シ二十六日、二十九日午前午後兩度參内シ副
議長(肥塚龍君)ハ二十九日參内シ 天機ヲ奉伺セリ又議員ハ各自參内シテ 天機ヲ奉伺セリ
大正三年四月九日 皇太后陛下御重患ニ涉ラセラレタルニ付議長(奧繁二郎君)ハ參内シテ 天
機ヲ奉伺シ十日沼津御用邸へ御見舞トシテ參候セリ
第四十三回議會 大正九年七月二十六日 聖上陛下(大正天皇)御不例ニ涉ラセラルルニ付議長

(奧繁二郎君)ハ衆議院ヲ代表シテ 天機ヲ奉伺シ當日ノ會議ニ入ルニ先チ其ノ旨及御容態ニ
付議場ニ報告セリ

大正十年十一月二十六日 皇太子殿下攝政御就任ニ付議長(奧繁二郎君)ハ衆議院ヲ代表シテ參
内 天機ヲ奉伺シ次テ 皇后陛下竝東宮殿下ノ御機嫌ヲ奉伺セリ(各派協議會ノ決議ニ依ル)
尙當日ヨリ三日間ニ於テ在京議員ハ 天機竝皇后陛下 皇太子殿下ノ御機嫌ヲ奉伺セリ

第四十六回議會 大正十二年二月四日 伏見宮貞愛親王殿下薨去ニ付同月六日副議長(粕谷義
三君)ハ衆議院ヲ代表シテ 天機竝皇后陛下攝政殿下ノ御機嫌ヲ奉伺セリ(各派協議會ノ決議ニ依ル)
大正十二年九月十五日議長(粕谷義三君)ハ九月一日ノ大震災ニ付衆議院ヲ代表シテ參内 天機
ヲ奉伺シ次テ 皇后陛下竝東宮殿下及各宮殿下ノ御機嫌ヲ奉伺セリ

第四十八回議會 大正十三年一月十五日副議長(松田源治君)ハ同日早朝強震アリタル爲衆議院
ヲ代表シ參内 天機竝皇后陛下 攝政殿下ノ御機嫌ヲ奉伺セリ
大正十五年十一月六日 聖上陛下(大正天皇)御不例ニ涉ラセラルルニ付御見舞ノ爲議長(粕谷
義三君)ハ葉山御用邸ニ伺候 天機ヲ奉伺シ後 皇后陛下ニ拜謁ヲ賜リタリ其後議長ハ屢々
御用邸ニ伺候 天機竝御機嫌ヲ奉伺セリ

同年十一月二十二日午前十一時副議長(小泉又次郎君)ハ葉山御用邸ニ伺候シ 天機竝御機嫌ヲ

奉伺セリ

同年十二月二十四日 聖上陛下(大正天皇)御重態ノ趣ヲ拜承シ議長及副議長ハ 天機竝御機嫌ヲ奉伺セリ

第五十二回議會 昭和元年十二月二十五日(開院式前日)午前一時二十五分葉山御用邸ニ於テ 天皇陛下崩御ノ趣ヲ拜承シ議長(粕谷善三君)ハ葉山御用邸ニ副議長(小泉又次郎君)ハ宮中ニ 參内 天機竝御機嫌ヲ奉伺セリ 又議員ハ各自參内シテ 天機ヲ奉伺セリ

第二節 皇室ニ對スル慶賀及敬禮

六三二 即位ノ大禮ニ付賀表捧呈竝決議

第三十一回議會 大正三年三月十三日會議ノ始メ日程ヲ變更シテ奧繁二郎君ハ即位ノ大禮ニ付 賀表捧呈ノ決議案(議長ハ即位ノ大禮御舉行ノ際本院ヲ代表シテ賀表ヲ捧呈スヘシ)ヲ提出シテ其ノ趣旨辯明ヲ爲シ議長(長谷場純孝君)ハ院議ニ諮ヒ之ヲ採決セシニ全員起立シテ贊成ノ意ヲ表シ可決シタリ而シテ即位ノ大禮ハ大正三年秋季ニ舉ケサセラルル筈ナリシモ諒闇中ノ

故ヲ以テ中止セラレ更ニ大正四年十一月十日御舉行ニ付衆議院ニ於テハ閉會中ナリシモ右議決ニ基キ賀表捧呈ノ爲起草委員ヲ設クルコトトナリ各派協議會ヲ開キ委員ヲ設ケテ賀表ヲ起草シ議長(島田二郎君)ハ四年十一月九日京都御所ニ於テ之ヲ捧呈セリ

尙御大典奉祝ノ爲本院議員一同ヨリ献上ヲ願出タル臚銀製菊慈童置物(蒔繪臺附)壹個ハ波多野宮内大臣ヨリ御採納相成ルヘキ旨ノ通牒ヲ受領シタルモ現品未完成ニ付其ノ目錄ヲ捧呈シ翌年七月ニ至リ赤坂離宮ニ參殿獻納ヲ了シタルニ御満足ニ被 思召旨ノ御沙汰アリタリ

第五十四回議會 昭和三年一月二十一日會議ノ劈頭本年十一月行ハセラルヘキ即位ノ大禮ノ際議長ヲシテ賀表ヲ捧呈セシムル爲日程ヲ變更シテ則元由庸君外二名提出ノ決議案(即位ノ大禮御舉行ノ際賀表捧呈ノ件)ヲ議題ト爲シ提出者ノ趣旨辯明ニ次テ議長(森田茂君)ハ之ヲ採決セシニ全員起立贊成ノ意ヲ表シ可決シタリ

參看 附錄三ノ四

六三三 皇太子殿下御結婚御成約竝御結婚ニ付奉賀

第十四回議會 明治三十三年二月十一日田中宮内大臣ヨリ 皇太子殿下(嘉仁親王)御結婚御成

約アラセラレタル旨ノ通牒ヲ受領シタルニ付翌十二日議院ハ全會一致ヲ以テ議長起草ノ賀表案ヲ可決シタリ而シテ 兩陛下ニ捧呈スヘキ賀表ハ議長(片岡健吉君)同日參内德大寺侍從長ヲ經テ之ヲ捧呈シタリ

又 皇太子殿下ニ捧呈スヘキ賀表ハ副議長(元田肇君)葉山御用邸ニ伺候シ之ヲ捧呈スヘキノ處流行感冒ノ爲前日迄引籠ラレタルニ付御遠慮申上ケテ院議ヲ以テ全院委員長(長谷場純孝君)ニ委託シ同君ハ十三日參殿黒田東宮武官長ヲ經テ之ヲ捧呈シタルニ左ノ御言葉ヲ賜ハリタリ 衆議院議員等ノ敬意ヲ満足ニ思フ

又明治三十三年五月十日 皇太子殿下(嘉仁親王)御結婚ノ大典ヲ舉ケサセラルルヤ議會閉會中ナリシモ議長(片岡健吉君)ハ議院ヲ代表シテ賀表ヲ捧呈シタリ

尙議長副議長議員及本院高等官ハ奉祝ノ意ヲ表スル爲鐵打出シ金銀象嵌花瓶壹對ヲ獻納シタリ 大正十一年九月二十八日 皇太子殿下(裕仁親王)御結婚御成約ニ付議長(奥繁三郎君)ハ議院ヲ代表シテ參内宮内大臣ヲ經テ賀表ヲ捧呈シ又同日東宮假御所ニ參殿 皇太子殿下ニ拜謁ノ上賀牋ヲ捧呈シタルニ左ノ御言葉ヲ賜ハリタリ

衆議院ノ敬意ヲ謝ス

第四十八回議會 大正十三年一月十六日 皇太子殿下(裕仁親王)御結婚御日取御治定ニ付副議

長(松田源治君)ハ衆議院ヲ代表シテ參内 天皇皇后兩陛下竝 皇太子殿下ニ御祝詞ヲ言上シ更ニ久邇宮邸ニ參殿御祝詞ヲ言上セリ

同 一月二十二日議長(粕谷義三君)ハ來ル一月二十六日 皇太子裕仁親王殿下良子女王殿下ト結婚ノ禮ヲ行ハセラルルニ付奉祝ノ誠意ヲ表スル爲賀表及賀牋ヲ捧呈スヘシトノ發議ヲ爲シ議長ノ起草セル案文ヲ全會一致可決セリ而シテ 兩陛下ニ捧呈スヘキ賀表ハ同月二十六日議長參内シテ之ヲ捧呈シ又 皇太子殿下ニ捧呈スヘキ賀牋ハ東宮假御所ニ參殿シテ之ヲ捧呈セリ尙御結婚奉祝ノ爲本院議員一同ヨリ獻上ヲ願出タル銀製花盛器一箇ハ珍田東宮大夫ヨリ御採納相成ヘキ旨ノ通牒ヲ受領シタルモ現品未完成ニ付副議長(松田源治君)ハ同月二十五日東宮假御所ニ參殿シテ其ノ目錄ヲ捧呈シ四月八日本院書記官東宮假御所ニ參殿同所獻品取扱主任事務官ノ手ヲ經テ獻納ヲ了シタリ

參看 附錄三ノ(一)、(二)、(七)

六三四 天皇皇后兩陛下御結婚滿二十五年ニ付賀表捧呈竝參賀

第五十回議會 大正十四年三月二十九日議長(粕谷義三君)ハ「諸君畏クモ 天皇(大正天皇)皇

后兩陛下ニ於カセラレマシテハ御大婚滿二十五年ニ當ラセラレマスルノデ來ル五月十日宮中ニ於テ祝賀ノ慶典ヲ舉ゲサセラルルヤニ拜聞ヲ致シマス我カ皇室ノ彌々御繁榮ニ渡ラセラレマシテ此祝典ヲ舉ゲサセラレマスルコトハ七千萬國民ノ寔ニ欣賀ニ堪ヘサル所デアリマス仍テ本院ハ院議ヲ以テ奉祝ノ敬意ヲ表スル爲メ兩陛下ニ賀表ヲ捧呈致シタク存ジマス其文案ハ議長ニ御一任アランコトヲ冀フ次第デアリマス之ニ御贊成ノ諸君ノ起立ヲ乞ヒマスト告ケ總員起立シテ贊意ヲ表シタルヲ以テ五月十日議長參内賀表ヲ捧呈セリ

右件ニ付宮内省ニ於テハ參賀ノ日時ヲ發表セラレ議長副議長ハ五月十日午前十一時五十分ニ參賀、酒饌ヲ下賜セラレ議員ハ同月十二日午後一時ヨリ同五時迄ノ間ニ參賀、參賀ノ向ヘハ茶菓ヲ賜ハリタリ尙奉祝ノ爲本院議員一同ヨリ獻上ヲ願出テタル六曲金屏風丹鶴青瀾(平福百穗畫)ハ現品未完成ニ付五月九日本院書記官目錄及氏名書ヲ携ヘ宮内書記官ヲ經テ之ヲ獻上セリ而シテ現品ハ大正十五年三月二十日本院書記官宮内省ニ出頭宮内書記官ヲ經テ獻納セリ

六三五 立太子式ニ付賀表ヲ捧呈ス

大正五年十一月三日 裕仁親王殿下立太子ノ禮ヲ行ハセラルルヤ議會閉會中ナリシモ議長(島

田三郎君)ハ議院ヲ代表シテ參内賀表ヲ捧呈シ又東宮御所ニ參殿シ賀表ヲ捧呈シタリ

六三六 皇太子殿下御成年式ニ 兩陛下竝皇太子殿下ニ賀表及賀牋ヲ捧呈ス

第四十一回議會 大正八年三月二十五日開會劈頭議長(大岡育造君)ハ「御諮リ申ス事ガアリマス、來ル四月二十九日 皇太子殿下(裕仁親王)御成年式ヲ舉ゲサセラルルヤニ拜聞致シマス、就テハ此際 兩陛下竝ニ 皇太子殿下ニ賀表ヲ捧呈致シタイト存ジマス、其賀表及捧呈ハ議長ニ御一任アラムコトヲ望ミマス」ト告ケ全會一致ヲ以テ可決シ五月七日議長ハ賀表及賀牋ヲ捧呈シタリ

六三七 皇子、皇孫御降誕ニ付參賀竝賀表賀牋ヲ捧呈ス

第五回議會 明治二十六年十一月三十日 皇子(滿宮輝仁親王殿下)御降誕ニ付副議長(楠本正隆君)ハ本院ノ議決(十二月二日)ニ依リ同年十二月四日宮内大臣ヲ經テ祝賀ヲ言上シタリ

第二十一回議會 明治三十八年一月三日官報號外ヲ以テ 皇孫光宮宣仁親王殿下御降誕アラセ

ラレタル旨公布アリタルニ依リ同月五日議長(松田正久君)ハ議院ヲ代表シ宮城竝東宮御所ニ
參賀シ其ノ旨議場ニ報告セリ

第二十七回議會 大正四年十二月七日議長(島田三郎君)ハ「去ル二日皇子(澄宮崇仁親王殿下)
御降誕アラセラレマシタ就キマシテハ議長ハ本院ヲ代表シテ 皇室ニ御祝賀ヲ申上ゲヤウト
思ヒマス、御異議ガナケレバ起立ヲ望ミマス」ト告ケ總員起立ノ上全會一致可決シタルヲ以テ
議長ハ十二月八日參内祝賀ヲ言上シタリ

第五十一回議會 大正十四年十二月二十八日議長(粕谷義三君)ハ「今月六日 皇孫内親王殿下
(照宮成子内親王)御誕生アラセラレマシテ我ガ 皇室ノ彌々御繁榮ニ涉ラセラレマスコトハ
吾々國民ノ齊シク歡喜ニ堪ヘザル所デアリマス、議長ハ取敢ヘズ 宮城竝ニ東宮假御所ニ參
賀致シマシテ、十二日御命名式ノ御當日議院ヲ代表致シマシテ宮内次官ヲ經テ 兩陛下ニ賀
表ヲ捧呈シ奉リ次イデ東宮假御所ニ參殿シマシテ、東宮侍從長ヲ經テ 兩殿下ニ賀牋ヲ捧呈
致シマシタ」ト報告セリ

六三八 皇太子殿下海外御巡遊ニ付參殿及奉送迎

第四十四回議會 大正十年二月十五日會議ノ始ニ於テ議長(奥繁三郎君)ハ「……皇太子殿下(裕
仁親王)海外御巡遊ノ儀發表サレマシタ、就テハ議長ハ本院ヲ代表シテ 東宮御所ニ參殿シ、
一路御平安ヲ祈リ奉ル旨ヲ言上致シマシテ、御奉送申上ゲタイト思ヒマス……」ト發議シ院議
全會一致ヲ以テ之ヲ可決シタリ超エテ二月十七日ノ會議ニ於テ下ノ如ク報告ヲ爲セリ「……
昨日午前十一時三十分東宮御所ニ參殿致シマシテ、親シク 皇太子殿下ニ拜謁ノ上、本院決議
ノ次第ヲ言上致シマシタ、殿下ヨリ左ノ御詞ヲ賜リマシタ
深ク衆議院ノ厚意ヲ謝ス

超エテ三月三日議長ハ横濱迄殿下ノ御發程ヲ奉送セリ
大正十年九月三日 東宮殿下御歸朝ニ付議長(奥繁三郎君)ハ衆議院ヲ代表シ横濱ニ奉迎シ又
兩陛下竝東宮殿下ニ御祝詞ヲ言上セリ(各派協議會ノ決議ニ依ル)
尙副議長(粕谷義三君)及在京議員ハ東京驛ニ奉迎セリ

六三九 詔勅、勅諭、勅語、勅問ニ對スル敬禮

凡ソ 詔勅、勅諭、勅語、勅問ノ捧讀ニ際シテハ滿場起立シテ敬禮ヲ表スルヲ例トシ第一回議會以

來常ニ渝ハルコトナシ

六百六十二

六四〇 奉答文ノ議決ノ際ニ於ケル敬禮

奉答文案議決ノ際ハ敬意ヲ表スル爲起立シテ贊成ノ意ヲ表ス

六四一 皇太子殿下議院ニ台臨ニ付敬禮

第十二回議會 明治三十一年六月七日政府提出商法修正案第一讀會ノ續會中 皇太子殿下(嘉仁親王)皇族傍聽席ニ台臨遊ハサレタルトキ副議長(元田肇君)ハ「皇太子殿下ガ御臨場ニナリマシタ」ト告ケタルニ總議員起立シテ敬禮ヲ行ヒ 殿下御退場遊ハセラルルトキ亦起立シテ敬意ヲ表セリ

六四二 秩父宮殿下議院ニ台臨ニ付敬禮

第五十回議會 大正十四年三月十八日日程第一ノ會議ニ入りタルトキ秩父宮殿下皇族傍聽席ニ台臨遊サレタルトキ議長(粕谷義三君)ハ「只今秩父宮殿下御台臨遊ハサレマシタ敬意ヲ表スル爲諸君ノ起立ヲ望ミマス」ト告ケタルニ總議員起立シテ敬禮ヲ行ヒ、散會間際殿下御退場遊ハセラルルトキ亦起立シテ敬意ヲ表セリ

六四三 踐祚後朝見ノ儀ニ議長及議員總代參列被仰付

大正元年七月三十一日午前十時 大正天皇踐祚後朝見ノ儀ニ議長(大岡育造君)參列仰付ラル(當時議長ハ任期滿限後ニシテ議員ハ總選舉ヲ了シタルモ此ノ御儀ニハ召サレサリキ)
第五十二回議會 昭和元年十二月二十八日午前十時三十分今上陛下踐祚後朝見ノ儀ニ議長(粕谷義三君)及議員總代三名(全院委員長植場平君、年長者竹原樸一君、年少者千葉三郎君(年少者佐々木長治君歸國中ノ爲次順位者))參列仰付ラル

六四四 即位ノ大禮ニ付議長副議長及議員參列被仰付

第四編 議院ノ法規及典禮 第二章 議院ノ典禮 第二節 皇室ニ對スル慶賀及敬禮 (六四〇—六四四) 六百六十三

大正四年十一月十日ヨリ十七日ニ至ル間京都ニ於テ即位ノ大禮ヲ行ハセラルルニ付議長副議長及議員ハ左ノ儀ニ參列仰付ケラレタリ

即位禮當日賢所大前ノ儀

即位禮當日紫宸殿ノ儀

十一月十日(水曜)

即位禮後一日賢所御神樂ノ儀 十一月十一日(木曜)

即位禮及大嘗祭後大饗夜宴ノ儀 十一月十七日(水曜)

尙議長、副議長ニ在リテハ前記ノ外ニ大嘗宮ノ儀、大饗第一日ノ儀ニ召サレ大饗第二日ノ儀ニハ議長ノミ召サル

第三節 大喪儀及御弔詞

六四五 英照皇太后崩御ニ付御弔詞

第十回議會

明治三十年一月十二日議長(鳩山和夫君)ハ會議ニ先チ報道スヘキコトアリト告ケ

總議員ノ起立ヲ求メ「諸君ニ御報道申上ゲルモ誠ニ畏多キ次第デゴザイマス 皇太后陛下ニ

於カセラレマシテハ豫テ御不例ニアラセラレ既ニ本院ニ於テハ昨日モ恐懼ノ意ヲ表シ休會ヲ爲シ謹ンデ御本復ヲ祈リ奉リマシタ然ルニ今朝ニ至リ内閣總理大臣ヨリ 皇太后陛下昨十一日午後六時崩御遊バサレタリト云フ通牒ニ接シマシテゴザイマス國民一般震驚痛悼ノ至、何トモ恐入ッタル次第デゴザイマス謹ンデ報道致シマス」ト報告シタルニ元田肇君ハ「本院ハ謹ミテ哀痛悲悼ノ誠意ヲ表シ本日ヨリ七日間議事ヲ遏メ議長ハ本院ヲ代表シ直ニ御所ニ伺候シ弔禮ヲ上聞シ奉ルヘシ」トノ動議ヲ提出シ全會一致ニテ之ヲ可決シタルヲ以テ議長ハ院議ニ諮ヒ左ノ弔禮ヲ上聞シ奉リタリ

皇太后陛下ニ於カセラレテハ豫テ御不例ノ趣拜承シ本院ニ於テハ既ニ昨日議事ヲ休止シ謹テ御本復ヲ祈奉リシ處遂ニ昨十一日午後六時ヲ以テ御登遐遊ハサセラレタル御次第國民一般震驚痛悼何ヲ以テ之ニ比セム洵ニ恐懼ノ至ニ堪ヘス本院議員ハ恭ク國民ノ至誠ヲ代表シ悲痛哀悼ノ弔意ヲ上聞シ奉ル

六四六 明治天皇崩御ニ付御弔詞

明治四十五年七月三十日 天皇陛下崩御アラセラルルヤ議長(大岡育造君)ハ同日午前八時參内敬

テ弔意ヲ表シ尙同日午後三時在京議員ヲ代表シ宮内大臣ヲ經テ御弔詞ヲ申上ケタリ(在京議員ヲ代表シタルハ當時總選舉後ニ係リ在京議員ノ協議會ニ於テ決定シタルヲ以テナリ)而シテ第二十回(臨時)議會大正元年八月二十三日開院式勅語ニ對スル奉答文ニ於テ先帝ノ盛徳大業ヲ頌シ謹テ弔意ヲ表シ奉リタリ
又議員ハ各自參内シテ御弔詞ヲ申上ケタリ

六四七 大正天皇崩御ニ付御弔詞並奉悼上奏書捧呈

第五十二回議會 大正十五年十二月二十五日 大正天皇崩御アラセラルルヤ議長(粕谷義三君)ハ葉山御用邸ニ伺候シ 天機竝御機嫌ヲ奉伺シ翌二十六日開院式勅語奉答文議決後議長ハ此ノ際一言スヘキコトアリト告ケ「諸君昨二十五日 先帝陛下崩御遊バサレマシタコトハ洵ニ恐懼ニ堪ヘザル次第デゴザイマシテ吾々國民ハ悲痛哀傷措ク能ハザル所デゴザイマス申上グルモ恐多イコトデゴザイマスガ 先帝陛下ハ至聖至仁ニマシマシテ大統ヲ承ケ寶祚ヲ踐マセ給フテヨリ茲ニ十有五年 明治大帝ノ御遺業ヲ繼承セラレ其遺烈ヲ益々發揚シ給ヒ時勢ノ進運ニ適應シテ民生撫育ノ大業ヲ達成セラレマシタ又歐洲大戰ニ或ハ各種ノ國際會議等ニ當ニ

世界平和ヲ念トセラレマシテ赫々タル聖鑑ヲ垂レサセラレ世界列強ノ間ニ帝國ヲシテ重カラシメ給ヒマシタ斯ノ如キ御盛徳鴻業ハ萬民ノ具ニ仰キ列邦ノ共ニ視ル所デアリマス先帝陛下御遺例ノ趣ヲ傳ヘラレマスルヤ國民ハ驚愕措ク所ヲ知ラズ只管御回春ノ一日モ速カナランコトヲ神明ニ御祈リ奉ツタ次第デアリマス議長ハ衆議院ヲ代表致シマシテ屢葉山御用邸ニ伺候シ 天機竝御機嫌ヲ奉伺致シマシタ此國民ノ赤誠ヲ罩メマシタル御祈願モ終ニ其甲斐モゴザイマセヌデ御登遐遊バサレマシタコトハ誠ニ痛惜哀悼ノ至リニ堪ヘマセヌ就キマシテハ本院ハ奉悼ノ誠意ヲ捧ゲマスル爲ニ上奏書ヲ捧呈致シタイト思ヒマス茲ニ諸君ノ御贊成ヲ希ヒマス次第デアリマス御贊成ノ諸君ハ御起立ヲ望ミマスト述ヘ奉悼上奏書捧呈ノ儀ヲ院議ニ諮ヒ直ニ起草委員ヲ指名シタリ而シテ翌二十七日本院委員長選舉ニ先チ日程ヲ變更シテ奉悼上奏案起草委員長ノ報告ヲ求メ之ヲ議題ト爲シ全會一致可決シタリ而シテ上奏書捧呈ノ顛末報告ハ昭和二年一月十八日休會明ノ議會ノ劈頭ニ於テ之ヲ爲セリ
又議員ハ各自參内又ハ御用邸ニ伺候シ御弔詞ヲ申上タリ超エテ十二月二十七日午後七時五分大行天皇(大正天皇)靈柩原宿驛御著ニ付議長(粕谷義三君)議員總代三名(原脩次郎君(憲政)、三土忠造君(政友)、植場平君(本黨))奉迎セリ尙其ノ他ノ議員ハ貴族院通用門前ニ於テ奉迎セリ翌二十八日午後二時議長ハ拜謁被仰付タルニ付參内セリ

六四八 昭憲皇太后崩御ニ付御弔詞

大正三年四月十一日 昭憲皇太后崩御アラセラルルヤ議長(奥繁三郎君)ハ同日敬弔ノ意ヲ表スル爲宮城並青山御所へ參内尙十三日議院ヲ代表シ宮内大臣ヲ經テ特ニ御弔詞ヲ申上ケタリ而シテ第三十二回(臨時)議會大正三年五月五日開院式勅語ニ對スル奉答文ニ於テ 皇太后陛下ノ坤德惠澤ヲ頌シ謹テ弔意ヲ表シ奉リタリ
又議員ハ各自參内シテ御弔詞ヲ申上ケタリ

六四九 大喪儀ニ議長、副議長及議員參列被仰付

明治三十年二月二日 英照皇太后大喪儀ニ付青山假停車場迄、同七日大宮御所ヨリ月輪山御陵所マテ議長ハ供奉被仰付、議員ハ青山假停車場及月輪山御祭場へ參列セリ
大正元年九月十三日、十四日、十五日 明治天皇ノ大喪儀ヲ行ハセラルルニ付議長副議長及議員ハ

其ノ前日殯宮ニ拜禮シ大喪儀ニ供奉被仰付尙議長ハ第一供奉列車ニテ桃山御陵所ニ供奉並山陵百日祭ノ御式ニ參列シ在京議員ハ皇居ヨリ青山葬場殿マテ其ノ他ノ議員ハ桃山御陵ニテ奉送セリ
大正三年五月二十四日、二十五日、二十六日 昭憲皇太后ノ大喪儀ヲ行ハセラルルニ付議長副議長及議員ハ其ノ前日若ハ前々日殯宮ニ拜禮シ大喪儀ニ供奉被仰付議長ハ第一供奉列車ニテ桃山御陵所ニ、副議長ハ桃山假停車場ニ先著シ同所ヨリ御陵所ニ供奉在京議員ハ青山御所ヨリ代々木葬場殿マテ其ノ他ノ議員ハ桃山御陵所ニテ奉送セリ尙議長ハ權殿百日祭ニ、副議長ハ山陵百日祭ノ御式ニ孰レモ參列シタリ

第五十二回議會 昭和二年二月七日、八日 大正天皇ノ大喪儀行ハセラルルニ付議長副議長及議員ハ殯宮葬場殿間鹵簿内奉送ヲ命セラレ葬場殿ノ儀ニ參列セリ又議長ハ東淺川假驛陵所間鹵簿内奉送ヲ命セラレタルニ依リ葬場殿ノ儀終了後新宿御苑假驛ヨリ供奉列車ニテ東淺川假驛ニ參著奉送シ陵所ノ儀ニ參列セリ尙議長及議員總代三名ハ權殿百日祭ノ儀ニ議長ハ山陵百日祭ノ儀ニ參列セリ

尙又一月五日殯宮移御ノ儀ニハ議長參列翌六日殯宮移御第一日祭ノ儀ニハ議長及議員總代三名〔昭和元年十二月二十八日ノ朝見式ニ總代ヲ出ササル團體ヨリ選定ス即チ原脩次郎君(憲政)、増田義一君(新正)、井上雅二君(無所屬)〕參列シ同日ヨリ二月七日斂葬ノ儀當日迄ノ間議長副議長ハ隨

時殯宮ニ祇候又ハ參拜シ議員ハ六名若ハ八名ヲ總代トシテ毎日晝夜四回交代ニテ殯宮ニ祇候セリ

六五〇 天皇崩御ニ際シ列國議會ノ弔意竝之ニ對スル本院ノ表謝

明治天皇崩御ニ際シ智利國議會、土耳其代議院、英國上下兩院(皇帝勅答)、白國上下兩院、「ニユールランド」上下兩院、南濠洲聯邦議會、伯國上下兩院、葡國上院ハ決議ヲ以テ弔意ヲ表明セルニ對シ第二十回議會(大正二年二月五日)ニ於テ尾崎行雄君ヨリ列國議會ノ弔意ニ對スル表謝ノ決議案ヲ提出シ院議事日程ヲ變更シテ直ニ院議ニ付シ全會一致ヲ以テ之ヲ可決セリ

大正天皇崩御ニ際シ白國上下兩院、英國上下兩院ハ決議ヲ以テ弔意ヲ表明セルニ對シ第五十二回議會昭和二年三月一日ノ會議ニ於テ議長(粕谷義三君)ハ「兩國ノ議院ガ御大喪ニ際シマシテ示サレマシタル深厚ナル同情ニ對シマシテハ、全國民ノ深ク感銘致ス所ト存ジマス、就キマシテハ本院ハ兩國ノ上下兩院ニ對シマシテ院議ヲ以テ感謝ノ意ヲ表シタイト存ジマス諸君ノ御同意ヲ冀フ次第デアリマス」トノ發議ヲ爲シ院議全會一致ヲ以テ之ヲ可決セリ

參看 附錄ノ四ノ二

第四節 慰問

六五一 議院慰問ヲ爲ス

皇族、國務大臣、締盟國總理大臣ノ病氣、負傷又ハ大震災ニ對シ慰問ヲ爲シタリ

(一) 皇族御病氣、御負傷ノ場合

明治三十七年八月十日旅順口沖ノ海戰ニ於テ伏見宮博恭王殿下御負傷アラセラレタル際ハ閉會中ナリシモ同月十七日議長(松田正久君)ハ議院ヲ代表シ山本海軍大臣ヲ經テ御見舞書ヲ捧呈セリ

右ニ對シ同宮殿下ハ同月二十九日眞木伏見宮別當ヲ議長邸ニ遣ハサレ御挨拶アリタリ

大正十二年四月一日(第四十六回議會閉會後)佛國ニ於テ北白川宮成久王殿下同妃殿下竝朝香宮鳩彦王殿下御奇禍ニ罹ラセラレタルニ付同月四日議長(粕谷義三君)ハ議院ヲ代表シ外務省ヲ經テ在巴里日本大使館へ御見舞電報ヲ發送シテ夫々言上ヲ乞ヘリ

右ニ對シ朝香宮殿下ヨリ五月四日附ヲ以テ御謝電ヲ受領セリ

第五十一回議會 大正十五年二月二十一日ノ本會議ニ於テ議長(粕谷義三君)ハ「秩父宮殿下御不例ノ趣承リマシタニ依リマシテ議長ハ取敢ヘス宮殿下御殿ニ參上致シマシテ御見舞ヲ申上

ゲマシタ尙本院ヲ代表シテ林男爵宛ニ秩父宮殿下御不例ノ趣拜承心痛ノ至ニ堪ヘス速ニ御快癒ヲ祈リ奉ル斯ウ云フ電報ヲ差上ゲマシタ所同男爵ヨリ左ノ返電ニ接シマシタ

貴電ノ趣言上御満足ニ思召サル

斯様ナ御電報ヲ戴キマシタト報告シタリ

(二) 王族御重患ノ場合

大正十五年四月七日在京城李王殿下御病氣ニ付議長(粕谷義三君)ハ閔李王職長官宛電報ニテ御見舞ヲ申上タリ

右ニ對シ同長官ヨリ四月八日附ヲ以テ謝電ヲ受領セリ超エテ四月二十六日殿下御重患ノ趣ニ付議長更ニ閔李王職長官宛電報ニテ御見舞申上タリ

(三) 國務大臣負傷ノ場合

第四回議會 明治二十五年十一月二十九日議長(星亨君)ハ伊藤内閣總理大臣ノ負傷セラレタルコトヲ報道シ院議議院ヨリ慰問ヲ爲スコトトナリシヲ以テ議長ハ即日議院ヲ代表シテ其ノ官邸ニ慰問シタリ

右ニ對シ同大臣ハ使者ヲ以テ挨拶ヲ爲シタリ

又同二十六年二月七日同大臣本院ニ出席シ感謝ノ意ヲ表シタリ

(四) 締盟國首相遭難負傷ノ場合

第四十一回議會 大正八年二月二十五日議長(大岡育造君)ハ佛國首相「クレマンソー」氏遭難負傷ニ付慰問ノ決議ヲ爲サムコトヲ發議シ滿場異議ナク議長指名十八名ノ委員ニ付託シテ決議案ヲ起草セシメ委員ハ直ニ起草シ成案ヲ得テ報告シ全會一致之ヲ可決シタリ

右ニ對シ三月四日同氏ヨリ謝辭ノ電報ヲ受領セリ

(五) 締盟國ニ於ケル震災ノ場合

第二十五回議會 明治四十二年一月二十一日會議ノ始ニ於テ議長(長谷場純孝君)ハ「伊太利國ノ大地震ノ報ニ接シマシタカラ休會中(年末年始ノ爲)デハアリマスガ議長ハ慰問ヲ致スノヲ當然ト心得テ議院ヲ代表シテ其手續ヲ致シマシタ其電報ノ要領ハ「日本帝國衆議院ハ貴帝國「シ、リー」及「カラブリア」ニ於ケル悲惨ナル震災ノ報ニ接シ痛嘆ノ至ニ堪ヘス茲ニ本院ヲ代表シテ同情ノ誠ヲ致ス衆議院議長長谷場純孝」是ニ付テ追認ヲ求メマス」ト諮ヒ守屋此助君ノ質疑ニ對シテハ「法律規則ニ慶賀ノ事ヲ掲ゲタモノハゴザイマセン人道ノ上ニ於テ相當ノ事ト議長ガ認メマシタカラ尙念ノ爲……各派ノ重ナル諸君ト御協議ヲ願ツテサウシテ一同ガ異議ナク御同意ノ上ニ手續ヲ計ヒマシタ將來ニ於テハ必ず議院ノ開ケテ居リマストキハ各議員ニ御諮リヲ致シテサウシテ諸君ノ御議定ニヨッテ行フツモリデアリマス」議會閉會中ニヤッ

タラバ其時ハ議長ガ責任ヲ負フコトニナラウト思ヒマス」ト辯明シ「異議ナシ」ノ聲アリタル
ニ依リ「別ニ御異議ガゴザイマセンナラバ追認ヲ得タモノト決シマス」ト告ケタリ
右ニ對シ在伊太利林大使ヨリ一月十五日ヲ以テ外務省ニ宛テ本院ノ慰弔轉達方ニ付回答アリ又
石井外務次官ヨリ三月三日附ヲ以テ林田書記官長ニ宛テ伊國外務大臣ヨリノ感謝ニ付テノ通牒
ヲ受領セリ

(六) 關東地方大震火災ノ場合

第四十七回(臨時)議會 大正十二年十二月十二日床次竹二郎君外五名提出決議案(震災遭難者
ニ對スル件)ノ會議ニ於テ床次竹二郎君ハ「去ル九月一日ノ大震災ニ空前ノ參狀ヲ極メマ
シテ洵ニ人生ノ悲慘是ヨリ甚シキハナイ事デアリマス吾々ハ此罹災者ノ不幸ニ對シテ同情ニ
堪ヘザル所デアリマス殊ニ死者ニ對シテハ哀悼ノ念ニ堪ヘマセヌ吾々ハ協力一致シテ善後ノ
處置ヲ講シ元氣ヲ作興シテ益々國運隆盛ヲ期スルコトニ努力シタイト思ヒマス茲ニ本院各派
ノ諸君ト相共ニ本案ヲ提出シマシタ次第デアリマスドウゾ滿場ノ御贊成ヲ望ミマス」ト述ヘ
各派代表者ノ贊成演說アリ全會一致ヲ以テ可決セリ

同日床次竹二郎君外五名提出決議案(震災ニ關スル列國ノ同情ニ對シ感謝ノ件)ノ會議ニ於
テ床次竹二郎君ハ「去ル九月一日大震火災ノ報道ガ世界ニ傳ハリマスルヤ直ニ各國ヨリ

深甚ナル同情ヲ寄セラレタノデアリマス之ニ對シテ我國上下ヲ舉ゲテ感謝ノ念ニ充タサレタ
ノデアル斯カル際ニ於ケル麗ハシキ清キ人間ノ心情ハ我國ト列國トノ間ニ於ケル親善ノ關係
ヲ結ブニ於テ連鎖トナツテ永ク吾人ノ記憶ニ存スルコトデアリマス茲ニ吾々ハ本院ノ各派諸
君ト共ニ此案ヲ提出致シマシテ特ニ本案ノ院議ヲ以テ感謝ノ意ヲ表シタイト思ヒマスドウゾ
滿堂ノ御贊成ヲ望ミマス」ト述ヘ各派代表者ノ贊成演說アリ全會一致ヲ以テ可決セリ

參看 附錄四ノ(五)、六ノ(五)、(九)

六五二 議院軍隊ニ慰問品ヲ贈リ又ハ慰問使ヲ派遣ス

第二十一回議會 明治三十八年二月中旬日露戰爭ノ際、出征陸海軍傷病者慰問ノ爲本院議員一

同ノ名ニ於テ慰問品(手拭及朝鮮館)ヲ贈リ尙釀金ノ一部ヲ陸軍恤兵部ヘ寄贈セリ

右ニ對シ明治三十八年六月二十七日大給賞勳局總裁ヲ經テ金杯一個、同年十月一日千家東京
府知事ヲ經テ木杯一個下賜セラレタリ

第三十四回議會 閉會後各派協議會ノ議ヲ經テ當時青島ニ出征セル我カ陸海軍隊ヲ慰問セシム
ル爲慰問使ヲ派遣スルコトニ決シ議員川原茂輔君外五名書記官一名大正三年十月二十九日宇

品出帆、勞山灣著、陸海軍ヲ慰問シ約一週日戰地ニ滞在シ十一月中旬歸京セリ

第四十回議會 閉會後各派協議會ノ議ヲ經テ當時西伯利ニ駐屯セル我カ浦潮派遣軍隊並在西伯利各國軍隊ヲ慰問セシムル爲慰問使ヲ派遣スルコトニ決シ議員望月圭介君外四名、書記官、屬各一名大正七年九月二十一日東京出發浦潮ヨリ烏蘇里、黑龍、後貝加爾、東支鐵道ノ沿線ニ駐屯セル陸海軍ノ各部隊ヲ慰問シ十月三十日歸京セリ

第四十一回議會 閉會後再ヒ我カ浦潮派遣軍隊ヲ慰問セシムル爲議員ヲ派遣スルコトナリ議員東武君外七名、書記官、屬各一名大正八年六月十日東京出發前同ト同一旅程ヲ終リ七月十六日歸京セリ

參看 附錄五ノ二

六五三 聯合與國ニ對シ慰問ヲ爲ス

第三十八回議會 大正六年一月二十三日會議ノ始ニ於テ議事日程ヲ變更シ尾崎行雄君外七名提出決議案ヲ院議ニ付シ武富時敏君ハ「聯合諸國ニ對スル慰問ノ趣旨ハ決議案ニテ明瞭ノ通り戰爭以來既ニ三歲莫大ナル犠牲ヲ拂ヒツツアル聯合諸國ニ對シ同情ニ堪ヘザル次第ナリ」

ト述ヘ全會一致該決議案ヲ可決シタリ

參看 附錄六ノ六

第五節 弔詞

六五四 議院弔意ヲ表ス

第十五回議會 明治三十四年一月二十九日鳩山和夫君外三名ヨリ衆議院ハ深ク大不列顛國皇帝ヴキクトリヤ陛下ノ崩御ヲ哀悼ストノ決議案ヲ提出シ同年二月二日議院ハ之ヲ修正議決シ又議長(片岡健吉)ハ議院ヲ代表シ築地三一教會ニ於テ執行ノ同陛下ノ弔祭式ニ參列シタリ又右ニ對シ加藤外務大臣ヨリ同三十四年二月十四日及五月二十七日附ヲ以テ議院ニ宛テ英国外務大臣ヨリノ謝電及在本邦英國公使ヨリノ謝意ニ付テノ通牒ヲ受領セリ

參看 附錄七ノ二

六五五 議院弔詞ヲ贈ル

(一) 議員ノ逝去ニ對シ弔詞ヲ贈ル

議員ノ逝去シタルトキハ議院ノ開會、休會、閉會中ナルト召集前ナルトヲ問ハス其ノ遺族ニ弔詞ヲ贈ルヲ例トス而シテ第三回議會迄ハ閉會中ニ逝去シタル者ニ對シテハ開會ヲ待チ院議ニ諮ヒ之ヲ贈リタルモ第四回議會ヨリハ閉會中ナルトキハ議長ヨリ弔詞ヲ贈リ第十回議會ニテハ休會中議長ニ於テ取計ヒ又第十四回議會ヨリハ開會中ト雖院議ニ諮フコトナク之ヲ贈ルノ例トナリ第五十二回議會ヨリハ開會中逝去シタルトキハ他派ノ黨員ヨリ弔詞ヲ贈ルノ動議ヲ提出シ且哀悼ノ辭ヲ述フルコトトナレリ

今各種ノ場合ヲ沿革的ニ例示スレハ左ノ如シ

第一回議會 明治二十三年十二月法貴發君逝去シタルヲ以テ議長ハ二十四年一月十日其ノ遺族ニ弔詞ヲ贈ルノ可否ヲ院議ニ諮ヒシニ院議之ヲ可決シタリ

第二回議會 第一回議會閉會ノ後小林雄七郎君、山際七司君逝去シタリ議長ハ第二回議會ノ開會ヲ待チ院議ニ諮ヒテ弔詞ヲ贈レリ

明治二十五年八月長井松太郎君及藤田茂吉君逝去シタル時適々議會閉會中ナリシヲ以テ議長ハ兩君ノ遺族ニ弔詞ヲ贈リ第四回議會ノ開會ニ際シ議長(星亨君)ハ「先例ニ依リマス、議員中

ニ死亡セラレタ方ガアツタ時分ニハ閉會中ニ於テハ、別ニ弔詞ヲ遣ラナイコトニナツタ、開會ノ後ニ弔詞ヲ其ノ會議ノ上、遣ルコトニナツテ居リマシタガ私ノ考ニ於テハ閉會中デアレ、其閉會中ニ死亡サレタモノニハ、其當時ニ當ツテ、弔詞ヲ遣ルノヲ正當ト考ヘマシタカラ、即チ先例トハ違ヒマスケレドモ閉會中デゴザリマシタカラ、即チ諸君ヲ代表シテ議長ノ名ヲ以テ追悼ノ言葉ヲ贈リマシタ、別ニ御議論ガナケレバ之ヲ以テ將來ノ例ト致シマス、院議異議ナク之ヲ可決シタリ

第十回議會 明治三十年二月四日山本三太郎君逝去スルヤ適々休會中ナリシヲ以テ議長(鳩山和夫君)ハ其ノ遺族ニ弔詞ヲ贈リ開會ニ際シ山本三太郎君逝去ノ當時ハ休會中且當分開會ナキ都合ナリシニ依リ取敢ヘス此ノ取計ヲ爲シタル旨ヲ告ケ其ノ承認ヲ請ヒタルニ院議異議ナク之ヲ是認シタリ

第十四回議會 明治三十三年二月十九日議長(片岡健吉君)ハ岡野寛君逝去ニ付弔詞ヲ贈ルコトヲ院議ニ諮ヒ次テ「是マデ議員ノ死亡ニ付キマシテ遺族ハ弔詞ヲ贈ルコトハ閉會中ハ議長ニ於テ取計ヒ及開會中ハ唯今ノ通諸君ニ御諮リ致スコトニナツテ居リマスガ將來ハ開會中ト雖モ議長ヨリ直チニ弔詞ヲ贈ルコトニシテ御異議アリマセヌカ」ト諮ヒ異議ナカリシヲ以テ「御異議ガナケレバ將來其通取計ヒマス」ト告ケタリ

明治三十四年六月二十一日星亨君刺客ノ爲斃レシトキ議長(片岡健吉君)ハ普通ノ文例ニ依ラス
弔詞ヲ贈リ第十六回議會ノ始ニ於テ之ヲ議院ニ報告シタリ

明治三十六日十年三十一日議長片岡健吉君逝去セシトキ副議長(杉田定一君)ハ弔詞ヲ贈リ第十
九回議會ノ始ニ於テ議院ニ報告シテ曰ク「本院ノ議長片岡健吉君ハ、御承知ノ通、第十八議會
ノ頃ヨリ病氣ニ罹ラレマシテ、去ル十月下旬ニ至リマシテ、甚ダ憂慮ニ堪ヘナイ容體ニ陥ラレ
マシタノデゴザイマス、議長ノ病氣ノコトガ 天聽ニ達シマシテ、十月三十一日特ニ正四位
勳三等ニ叙セラレ旭日中綬章ヲ授ケラレ尙 聖上ヨリ御見舞ヲ賜ハラレマシタノデゴザイ
マス、因テ事務局カラ其旨ヲ直チニ議長ノ方ニ電報ヲ發シ又一面ニ於キマシテハ、本院書記官
長ハ高知ニ急行ヲ致シマシテ、此恩命ヲ傳ヘマシタノデゴザイマス、然ルニ議長ハ同夜十一時
療養ノ甲斐ナク遂ニ逝去セラレマシテ、實ニ痛嘆ノ至リニ堪ヘマセヌ次第デゴザイマス、因テ
本職ハ議院ヲ代表致シマシテ、翌日一ノ弔詞ヲ贈リマシタノデゴザイマス、其弔詞ハ唯今書記
官長ガ朗讀ヲ致シマス」ト告ケ依リテ林田書記官長ハ之ヲ朗讀シ、出席年長議員對馬嘉三郎君
ハ議員總代トシテ哀悼ノ辭ヲ述ヘタリ

明治四十四年十月四日前議長タリシ鳩山和夫君逝去ニ付議會閉會中ナルニ拘ラス副議長(肥塚
龍君)ハ議院ヲ代表シテ普通ノ文例ニ依ラス弔詞ヲ贈リタリ

第三十一回議會 大正三年三月十七日副議長(關直彦君)ハ會議ヲ開キ「諸君本職ハ茲ニ再ヒ悲
痛ニ堪ヘヌ御報告ヲ致サネバナラヌ事ニナリマシタ本院議長長谷場純孝閣下ハ一昨十五日俄
ニ薨去セラレマシタノデゴザイマス諸君御承知ノ通り閣下ハ第一回ノ總選舉以來毎回ノ選舉
ニ當選セラレマシテ第十三回第十四回議會ニハ全院委員長ニ第二十五回議會ニハ議長ニ舉ゲ
ラレ最モ公平ニ最モ誠實ニ其職責ヲ完ウセラレタルコトハ諸君ノ御記憶ニ新ナル所デアリマ
ス今回大岡氏ノ補闕トシテ大患後ニ拘ラス閣下ヲ推薦シタルハ時局ノ困難ナル閣下ヲ以テ議
場ヲ整理スルニ最モ適當トセラレタノデアリマス閣下平素人事ヲ盡シテ天命ヲ俟ツノ覺悟ア
リ薨去ノ前日マデ病軀ヲ提ゲ劇務ニ膺ラレタルハ實ニ感歎措ク能ハザル所デゴザイマス願フ
ニ憲政ノ爲ニ身ヲ殉ズルハ男兒ノ本分ニハ相違ゴザイマセヌガ這般ノ選舉ガ閣下ノ天命ヲ縮
メタルコトヲ思ヒマスレバ實ニ悚然タラザルヲ得ナイノデアリマス我衆議院ハ開設以來會期
中斯カル不幸ニ遭遇シマシタノハ初メテデゴザイマス依テ君ノ葬式ノ當日ニハ休會ヲ致シマ
シテ敬弔ノ意ヲ表シ且鄭重ナル哀悼ノ文ヲ議決シテ之ヲ靈前ニ捧グント欲スルノデゴザイマ
ス茲ニ本職ノ手許ニ於キマシテ草案ヲ作ツタノガゴザイマスカラ之ヲ朗讀シテ御參考ニ供シ
マス幸ニ滿場ノ御贊成ヲ得マスレバ光榮ノ至リト存ジマス」ト告ケ弔詞案ヲ院議ニ付シ院議
全會一致ヲ以テ之ヲ可決セリ

第四十回議會 大正七年三月二十三日議長(大岡育造君)ハ「請願委員長板東勘五郎君ハ職務ニ精勵シテ將ニ委員長ノ報告時間ニ接近シ議場ニ於テ病ニ罹ラレマシタ、唯今ヨリ危篤ノ儘退
出セラレマス、十分間休憩シテ送リタイト存ジマス、御同意ヲ願ヒマス」ト告ケ休憩シテ之ヲ見送リ、超エテ同月二十五日議長ハ「議員板東勘五郎君、去十六日本院内ニ發病セラレ、療養其效無ク遂ニ二十三日逝去セラレマシタ、洵ニ痛惜哀悼ノ至ニ堪ヘマセヌ、例ニ依リ遺族ニ對シ弔詞ヲ贈リマシタ」ト告ケタリ

第四十三回議會 大正九年七月八日前田兵郎君ニ對シ同一ノ事例アリ

大正十二年十一月十四日前議長タル島田三郎君逝去ニ付議院閉會中ナルニ拘ラス議長(粕谷義

三君)ハ議院ヲ代表シテ普通ノ文例ニ依ラス弔詞ヲ贈リタリ

第四十八回議會 大正十二年十二月三十日前議長河野廣中君薨去ニ付休會中議長(粕谷義三君)ハ普通ノ文例ニ依ラス弔詞ヲ贈リタリ

第五十回議會 大正十四年二月四日議員司法大臣從三位勳一等橫田千之助君薨去ニ付議長(粕谷義三君)ハ院議ニ依リ普通ノ前例ニ依ラス弔詞ヲ贈レリ

大正十四年九月十四日議員大藏大臣從三位勳一等早速整爾君薨去ニ付閉會中議長(粕谷義三君)ハ普通ノ文例ニ依ラス弔詞ヲ贈リタリ

第五十二回議會 昭和二年二月二十四日ノ會議ニ於テ議長(粕谷義三君)ハ「議員野田卯太郎君

ハ昨二十三日薨去セラレマシタ洵ニ哀悼痛惜ニ堪ヘマセヌ此際望月小太郎君ヨリ發言ヲ求メラレテ居リマス之ヲ許シマス」ト告ケ望月小太郎君ハ「只今議長ヨリ御報告ニナリマシタ故衆

議院議員野田卯太郎君ニ對シ院議ヲ以テ深甚ナル弔詞ヲ贈ルコトト致シ其起草ハ總テ議長ニ一任スルコトノ動議ヲ茲ニ提出致シマスル、此際私ハ議員一同ヲ代表致シマシテ故野田君ノ爲ニ哀悼ノ辭ヲ述ベタイト存ジマス野田君ハ明治三十一年本院議員ニ當選セラレ爾來引續キ議席ヲ保チ曩ニ大正七年原内閣成立ノ際入ツテ遞信大臣ノ任ニ就キマシテ大正十年高橋内閣ニ留任致シ大正十四年加藤内閣ニ入ツテ商工大臣ノ任ニ就キマシテ前後輔弼ノ重責ニ膺ラレマシタノデアリマス願ミテ故人カ憲政ノ運用ニ盡瘁セラレタコトハ諸君御承知ノ通りゴザイマス殊ニ故人ノ人格ト識見トハ吾々同人ノ親シク推重セシ所デゴザイマス然ルニ昨二十三日俄ニ薨去セラレマシタコトハ洵ニ哀悼ノ至リニ堪ヘザル次第デゴザイマス茲ニ謹ンデ此尊敬スベキ故人ニ對シ哀悼ノ意ヲ表ス次第デアリマス」ト述ヘ院議異議ナク望月君ノ動議ヲ採用シ議長起草ノ普通文例ニ依ラサル弔詞ヲ贈レリ

同 昭和二年二月二十三日山口政二君ハ院内ニ於テ、三月八日富田愿之助君ハ仙臺ニ於テ、三月十五日木戸豊吉君ハ郷里ニ於テ孰レモ逝去シタルニ依リ野田君ノ例ニ倣ヒ弔辭ヲ述ヘ且院議ヲ

以テ弔詞(例文)ヲ贈レリ

第五十三回議會 昭和二年五月五日栗林五朔君ハ東京ニ於テ逝去シタルニ依リ野田君ノ例ニ倣ヒ弔辭ヲ述ヘ且院議ヲ以テ弔詞(例文)ヲ贈レリ

臨時總選舉後議會召集前ニ議員逝去シタルトキハ第二臨時總選舉ノ際ヨリ書記官長ノ名ヲ以テ弔詞ヲ贈ルヲ例トス

第三回議會召集前 (第二臨時總選舉後)明治二十五年三月十三日是恒眞楫君逝去シタルトキ

第十八回議會召集前 (第八臨時總選舉後)明治三十六年三月三十日西村規矩君逝去シタルトキ

第三十六回議會召集前 (第十二臨時總選舉後)大正四年四月二十五日村上太三郎君逝去シタルトキ

トキ

第四十三回議會召集前 (第十四臨時總選舉後)大正九年六月二十八日森岡京次郎君逝去シタルトキ

トキ

第五十五回議會召集前 (第十六臨時總選舉後)昭和三年三月三日山邑太三郎君逝去シタルトキ

トキ

同 同年同月十五日吉村伊助君逝去シタルトキ

(二) 皇族王族薨去ニ付弔詞ヲ捧呈ス

(イ) 開會中ニ於ケル例

第八回議會 明治二十八年一月二十四日議長(楠本正隆君)ハ「議長ハ極メテ悲シムベキ御報道ヲ申サネバナリマセヌ、議長ハ唯今陸軍大將大勳位熾仁親王殿下御薨去ノ報ニ接シマシテゴザイマス」(此ノ時議員一同起立シテ敬意ヲ表ス)「抑々親王殿下ガ維新ノ大業ヲ翼贊シ給ヒ、其ノ遺蹟ノ大ナルコトハ國民舉ゲテ仰慕ニ堪ヘザル次第デゴザイマス、曩ニ清國征討ノ戰ガ起リマシヤ、常ニ大轟ノ下ニ駐劄ヲ致サレ帷幄ニ參與シ給ヒ國光大ニ舉リツツアル所中途ニシテ此ノ凶報ニ接シマシルハ、國家ノ爲メニ極メテ痛嘆ニ堪ヘザル次第デゴザイマス、是ニ依テ議長ハ追悼ノ意ヲ表スルコトト且ツ敬禮ヲ表スルガタメニ、差向ニ要件ヲ掲ゲテ諸君ニ御諮リヲ申シマスル、第一ニ弔詞ノ議決ヲ致シ本日ハ是ニテ閉會ヲ爲シ、議決ヲシテ參殿ノ上、右ノ弔詞ヲ捧呈セシムル事是レ一ツ、第二ハ御葬儀ノ當日ハ議院ハ特ニ休會ヲ爲シテ哀悼ノ意ヲ表シ及議長ハ議院ヲ代表シテ靈柩ヲ奉送スル事……」ト告ケ竝弔詞ヲ議院ニ諮ヒ院議之ヲ可決シタリ

第四十一回議會 大正八年一月二十五日李太王殿下薨去ニ際シ元田肇君外十三名ヨリ哀悼ニ關スル決議案ヲ提出シ同日日程ヲ變更シテ院議ニ付シ院議全會一致ヲ以テ之ヲ可決シタリ尙議長(大岡育造君)ノ發議ニ依リ本日竝御葬儀當日休會ノコトヲモ可決シタリ

右決議ハ内閣總理大臣ヨリ李王職長官ニ傳達シ長官ハ直ニ李王殿下ニ言上シタルニ衆議院ノ好意ヲ深ク感謝セラルル旨ノ電報アリタリ

第四十六回議會 大正十四年二月四日伏見宮貞愛親王殿下薨去アラセラレタルニ付議長(奥繁三郎君)ハ院議ニ依リ弔詞ヲ贈レリ

(□) 閉會中ニ於ケル例

明治二十八年十一月五日北白川宮能久親王殿下薨去ノ際ハ議會閉會中ナリシモ議長(楠本正隆君)ハ弔詞ヲ捧呈シ第九回議會開會ノ初ニ於テ之ヲ議院ニ報告シタリ

明治四十二年十二月十二日賀陽宮邦憲王殿下薨去ニ付テハ議院ヨリ弔詞ヲ捧呈シタリ

大正二年七月十日有栖川宮威仁親王殿下薨去ニ付議長(大岡育造君)ハ議院ヲ代表シテ弔詞ヲ捧呈セリ

大正十一年六月二十七日東伏見宮依仁親王殿下薨去ニ付議長(奥繁三郎君)ハ議院ヲ代表シテ弔詞ヲ贈レリ

大正十二年四月一日北白川宮成久王殿下佛國ニ於テ薨去ニ付議長(粕谷義三君)ハ議院ヲ代表シテ弔電ヲ贈レリ

大正十五年四月二十六日李王殿下薨去ニ付四月二十七日議長(粕谷義三君)ハ弔電ヲ贈リ六月十

日京城ニ於ケル國葬當日本院弔詞ヲ贈呈シ眞榊一對ヲ靈前ニ供ヘ且本院ヲ代表シテ議員大津淳一郎君(憲政)井上孝哉君(政友)牧山耕藏君(本黨)佐藤潤象君(新正)參列セリ

(三) 元勳其ノ他ノ逝去ニ付弔詞ヲ贈ル

(イ) 開會中ニ於ケル例

第一回議會 明治二十四年二月十九日議長(中島信行君)ハ内大臣公爵三條實美君ノ薨去ノ報ニ接シ之ヲ議院ニ報告シ且弔意ヲ表スルカ爲ニ休會シ自ラ公爵ノ邸ヲ訪ヒ弔詞ヲ呈シタリ

第八回議會 明治二十八年二月二十二日江原素六君ハ陸軍少將大寺安純君戰死ニ付弔詞ヲ贈ルノ動議ヲ提出シ院議之ヲ可決シタリ

第十三回議會 明治三十二年一月二十五日片岡健吉君外七名提出伯爵勝安房君薨去ニ付弔詞ヲ贈ルノ件ヲ院議ニ付シ院議之ヲ可決シタリ

第十五回議會 明治三十四年二月七日片岡健吉君外六名提出決議案(福澤諭吉君逝去ニ付哀悼ノ件)ヲ院議ニ付シ院議之ヲ可決シタリ

第二十一回議會 明治三十八年二月四日大岡育造君外七名提出決議案(伯爵副島種臣君薨去ニ付弔意ノ件)ヲ院議ニ付シ院議之ヲ可決シタリ

同 明治三十八年二月十四日江原素六君外八名提出決議案(陸軍中將松村務本君薨去ニ付弔意

ノ件ヲ院議ニ付シ院議之ヲ可決シタリ
右ハ即日寺内陸軍大臣ニ通牒シタルニ同月十六日同大臣ヨリ通知書ヲ以テ嗣子松村操君ヨリ
ノ謝辭ヲ送付アリタリ

第三十一回議會 大正三年三月七日司法大臣正二位勳一等男爵松田正久君薨去ニ付副議長(關
直彦君)ハ院議ヲ以テ弔詞ヲ贈レリ

第四十五回議會 大正十一年一月十日從一位大勳位侯爵大隈重信君薨去ニ付休會中議長(奧繁
三郎君)ハ院議ヲ代表シテ弔詞ヲ贈レリ

同 大正十一年二月一日議定官樞密院議長元帥陸軍大將從一位大勳位功一級公爵山縣有朋君薨
去ニ付議長(奧繁三郎君)ハ院議ニ依リ弔詞ヲ贈レリ

第四十九回議會 大正十三年七月二日從一位大勳位公爵松方正義君薨去ニ付議長(粕谷義三君)
ハ院議ニ依リ弔詞ヲ贈レリ

第五十一回議會 大正十五年一月二十八日内閣總理大臣正二位大勳位伯爵加藤高明君薨去ニ付
院議ヲ以テ弔詞ヲ贈レリ

(口) 閉會中ニ於ケル例

明治四十二年十月二十六日樞密院議長從一位大勳位公爵伊藤博文君薨去ニ付議長(長谷場純孝

君)ハ院議ヲ代表シテ弔詞ヲ贈リ第二十六回議會開會ノ始ニ之ヲ院議ニ報告シタリ

大正四年九月四日維新史料編纂會總裁臨時編修局顧問貴族院議員從一位大勳位侯爵井上馨君薨
去ニ付議長(島田三郎君)ハ院議ヲ代表シテ弔詞ヲ贈レリ

大正五年十二月十日議定官内大臣元帥從一位大勳位功一級公爵大山巖君薨去ニ付議長(島田三
郎君)ハ院議ヲ代表シテ弔詞ヲ贈レリ

大正八年七月十九日從一位勳一等伯爵板垣退助君薨去ニ付議長(大岡育造君)ハ院議ヲ代表シテ
弔詞ヲ贈レリ

大正十年十一月四日正二位大勳位衆議院議員内閣總理大臣原敬君薨去ニ付議長(奧繁三郎君)ハ
院議ヲ代表シテ弔詞ヲ贈レリ

大正十二年八月二十五日元帥海軍大將正二位大勳位功二級子爵内閣總理大臣加藤友三郎君薨去
ニ付議長(粕谷義三君)ハ院議ヲ代表シテ弔詞ヲ贈レリ

大正十三年九月八日前議長從四位勳一等奧繁三郎君逝去ニ付議長(粕谷義三君)ハ院議ヲ代表シ
テ弔詞ヲ贈レリ

參看 附錄七ノ(一)、(三)、(四)

六五六 議長若ハ議員一同ヨリ生花ヲ贈ル

大正元年九月十三日陸軍大將乃木希典君薨去ニ付議長ノ名ヲ以テ生花(眞榊)一對ヲ贈リタリ
大正二年三月二十八日陸軍中尉徳田金一君、同木村鈴四郎君軍用飛行機ヨリ墜落死去ニ付議長ノ名ヲ以テ生花(眞榊)一對ヲ贈リタリ

大正十二年六月八日北白川宮成久王殿下御葬儀ニ付生花(眞榊)一對ヲ贈リタリ

大正十四年八月三日駐日米國大使エドガー、アデーソン、バンクロフト氏逝去ニ付議長ノ名ヲ以テ花環ヲ贈リタリ

大正十四年九月二十五日樞密院議長子爵濱尾新君薨去ニ付議長ノ名ヲ以テ生花(眞榊)一對ヲ贈リタリ

大正十五年四月七日樞密院議長男爵穂積陳重君薨去ニ付議長ノ名ヲ以テ生花(眞榊)一對ヲ贈リタリ

昭和二年三月二十日芝増上寺ニ於テ憲政創始功勞者先亡諸君追悼及法要營マレタルニ付議長ノ名ヲ以テ生花一對ヲ供ヘタリ

第三章 恩賞、待遇

第一節 叙位叙勳其ノ他ノ恩賞

六五七 議長及副議長ニ對スル叙勳

第九回議會 明治二十九年三月十四日議長勳二等楠本正隆君ハ明治二十七八年事件ノ功ニ依リ勳一等瑞寶章ヲ、副議長島田三郎君ハ勳四等瑞寶章ヲ授ケラレタリ

第二十二回議會閉會後即チ明治三十九年四月一日前議長松田正久君ハ明治三十七八年事件ノ功ニ依リ勳一等旭日大綬章ヲ、議長杉田定一君ハ勳四等旭日小綬章ヲ、副議長箕浦勝人君ハ勳二等旭日重光章ヲ授ケラレタリ(明治四十年九月二十三日官報掲載)

第三十七回議會閉會後即チ大正五年四月一日議長勳二等島田三郎君ハ大正三四年事件ノ功ニ依リ旭日重光章ヲ、前議長勳四等與繁三郎君ハ勳二等旭日重光章ヲ、副議長勳四等早速整爾君ハ勳三等旭日中綬章ヲ、前副議長勳三等花井卓藏君同勳三等關直彦君ハ各旭日中綬章ヲ授ケラレタリ(大正五年八月二十一日官報掲載)

六五八 議長ニ對シ特旨ニ依ル敍位叙勳並勅使

第十八回議會閉會後明治三十六年十月上旬議長片岡健吉君ノ病氣甚タ憂慮ニ堪ヘサル容體ニ陷ラレタル事 天聽ニ達スルヤ同月三十一日特ニ正四位勳三等ニ叙シ旭日中綬章ヲ授ケラレ尙聖上陛下ヨリ御見舞トシテ御菓子料ヲ賜ハリタリ又逝去ノ際祭祀料ヲ下賜セラレタリ

第三十一回議會 大正三年三月十五日議長正四位勳三等長谷場純孝君病氣危篤ノ報 天聽ニ達スルヤ特ニ從三位勳二等ニ叙シ旭日重光章ヲ授ケラレ尙葬儀當日勅使ヲ同邸ニ差遣シ幣帛ヲ下賜セラレタリ

第四十六回議會 大正十二年二月十六日議長勳二等奧繁三郎君病氣辭職ノ際特ニ勳一等瑞寶章ヲ授ケラレタリ

六五九 議員ニ對スル恩賞、敍勳

第九回議會 明治二十九年三月二十九日明治二十七八年戰役ノ行賞ニ際シ各議員ニ第七回(臨時)帝國議會召集ノ際勵精ニ付銀盃壹組宛ヲ賜ハリタリ

第二十二回議會閉會後即チ明治二十九年四月一日各議員ニ明治三十七八年事件ノ功ニ依リ勳四

等旭日小綬章ヲ授ケラレタリ尤モ既ニ位勳ヲ有スル者ハ右ニ準スヘキ恩賞トシテ勳二等瑞寶章、旭日中綬章、旭日小綬章ヲ授ケラレタルモノ各一名アリ(明治四十年九月二十三日官報掲載)右ニ依リ四十年十月一日議長ニ於テ議長副議長以下議員ハ勳章拜受ノ手續ヲ了セリ

第三十七回議會閉會後即チ大正五年四月一日各議員ニ大正三四年事件ノ功ニ依リ勳四等瑞寶章又ハ勳四等旭日小綬章ヲ授ケラレタリ但シ現ニ勳四等以上ノ勳章ヲ有スル者ニハ上級勳章ヲ授ケラレ又ハ金員ヲ賜ハリタリ(大正五年八月二十一日官報掲載)

第四十三回議會閉會後即チ大正九年十一月一日大正四年乃至九年事件ノ功ニ依リ議長(奧繁三郎君)ハ金杯一組副議長(粕谷義三君)ハ金杯一箇議員大岡育造君ハ金杯一組其ノ他ノ各議員ハ金杯一箇若クハ銀杯一組ヲ賜ハリタリ

第四十四回議會閉會後即チ大正十年七月一日第四十回、第四十一回、第四十三回議會ニ在職シ國勢調査豫算及同關係法案ノ審議ニ參與シタル議員一同へ第一回國勢調査記念章ヲ賜ハリタリ

第四十八回議會解散後即チ大正十三年二月十一日 皇太子殿下御結婚ニ際シ議員トシテ三十年以上在職シタリシ故ヲ以テ元田肇君尾崎行雄君犬養毅君箕浦勝人君井上角五郎君武富時敏君六、孰レモ金杯一組ヲ賜ハリタリ

六六〇 議員ニ對シ大禮記念章ヲ授與セラル

大正四年八月制定セラレタル大禮記念章ハ勅令第一百五十四號第三條ニ依リ第十一回選舉ニ當選セル議員及第十二回選舉ニ當選セル議員ニ授與セラル前者ハ大禮豫算(第三十一回及第三十五回議會)ノ議決ニ關與シタルモ大正三年十二月二十五日解散セラレタル爲御大禮ニハ召サセラレズ記念章ノミヲ、後者ハ豫算ノ議決ニ關與セサルモ即位禮當日實所大前ノ儀其ノ他ノ儀式ニ召サセラレタルニ依ル

六六一 第一回議會以來勤績議員ニ對スル敘勳

第三十三回(臨時)議會前即チ大正三年六月十八日第一回帝國議會以來引續キ議員ノ職ニ在リタル者ニ對シ恩賞ノ御沙汰アリ而シテ本院議員ニ於テ元田肇君ハ從三位ニ、箕浦勝人君ハ正四位ニ、尾崎行雄君、犬養毅君、島田三郎君、河野廣中君、井上角五郎君ハ孰レモ勳三等ニ叙シ瑞寶章ヲ授ケラレタリ

六六二 多年在職セル議員ニ對スル敘勳

第四十一回議會 大正八年二月十一日憲法發布三十年記念祝賀會ニ際シ多年衆議院議員ノ職ニ在リテ勤勞不尠ノ故ヲ以テ議長大岡育造君ハ勳二等瑞寶章ニ副議長勳三等濱田國松君及勳三等ヲ有スル議員三十三名ニ旭日中綬章ヲ、勳四等ヲ有スル議員二十九名ニ旭日小綬章ヲ賜ハリ、勳一等、二等、三等及四等ヲ有スル議員二十一名ニ孰レモ金杯一箇ヲ賜ハリタリ(大正八年三月十四日官報掲載)

六六三 議長、副議長及議員ニ對スル定例敘勳

第四十一回議會 大正八年二月十二日議長副議長及議員敘勳ノ件裁定セラレ(大正八年三月一日賞勳局總裁ノ通牒)議長副議長議員ハ文武官敘勳内則中官吏ノ定期敘勳ニ關スル規定ヲ準用セラルルコトトナリ議長ハ親任官ト同一、副議長ハ高等官一等ト同一、議員ハ名譽官タル高等官二等ト同一ニ取扱フコトト定メラレ其ノ結果同年三月十三日ヲ以テ議長勳三等大岡育造君ハ勳二等ニ、同年十月二十五日ヲ以テ勳四等ヲ有スル議員七名ハ勳三等ニ、勳五等ヲ有スル議員四名ハ勳四等ニ、勳六等ヲ有スル議員九名ハ勳五等ニ、勳七等ヲ有スル議員六名ハ勳六等

ニ、勳八等ヲ有スル議員二名ハ勳七等ニ孰レモ陞叙セラレタリ爾來此ノ規定ニ依リ事務局ニ於テ上申ヲ爲スコトナレリ
尙議員逝去ノ際ハ其ノ功績ヲ調査シ敍位敍勳ヲ上申ス其ノ前議員タル場合ニ於テハ本院關係功績事項ヲ内閣ニ送付ス

第二節 宮中ニ於ケル席次、待遇及賜宴

六六四 議長、副議長及議員ノ宮中席次

議長、副議長及議員ニ對シ從來宮中ニ於テ定マリタル席次ナカリシカ第二十六回議會ヨリハ議長ハ親任官待遇ノ取扱トシ副議長ハ勅任官ノ取扱トシテ其ノ位列ハ高等官一等ノ次席ト定メラレ第三十回議會閉會後即チ大正二年七月ヲ以テ宮中席次中御改定アリ議長ハ樞密院副議長ノ次席(貴族院議長、衆議院議長、親任官ハ任命ノ前後ヲ以テ席次ス)トセラレ(副議長ニハ變更ナシ)又議員ハ高等官三等ノ上席(貴族院議員、衆議院議員相互ノ席次ハ隨時之ヲ定ム)トセラル次テ大正四年二月皇室令第一號ヲ以テ宮中席次令ヲ公布セラレ議長ハ第一階ノ第十二(親任官ノ次席)副議長ハ

第二階ノ第二十(高等官一等ノ次席)議員ハ第四階ノ第二十九(高等官三等ノ上席)ト定メラル

六六五 宮中ニ於ケル議長、副議長及議員ノ待遇

議長副議長及議員ノ宮中ニ於ケル身分取扱ハ第一回議會即チ明治二十三年十二月以來議會ノ開會中ニ限り新年ハ拜賀、紀元節、天長節ニハ參賀仰付ラレ且其ノ院ニ於テ酒饌ヲ下賜セラレタリシカ(大正十三年十月十四日附ヲ以テ自今酒饌料ハ賜ハラストノ通牒ニ接セリ)第十三回議會ヨリ議長ハ開會中ニ限り三大節ノ御宴會ニ召サセラレ而シテ第二十回(臨時)議會後ヨリ議長ハ其ノ任期間ハ閉會中ト雖召サセラレ議長辭職又ハ其ノ他ノ事故ニ依リ闕位ノ場合ニハ副議長ヲ召サセラルコトトナリ第二十六回議會ヨリ副議長亦其ノ任期間ハ三大節ノ御宴會ニ召サル尙議長副議長ハ此ノ時ヨリ三大節以外ノ宮中恒例諸祭典ニモ參列スルコトニ定メラレ特殊ノ御儀ニハ議員總代ヲモ參列セシメラル又第十五回議會後ヨリ觀櫻觀菊兩會ヘモ召サセラルコトトナレリ

第二十一回議會 明治三十七年十二月三日會議ニ先チ議長(松田正久君)ハ左ノ演說ヲ爲シタリ
一昨日諸般ノ報告中(開院式臨御ノ節本院議長ヘモ拜謁仰付ケラル、三大節御宴會ニ召サセラル、議員菊花拜觀夫人同伴差許サルルコトヲ指ス)議長副議長及議員ニ對スル宮中御待遇ノ厚

キコトハ既ニ諸君ノ聽取ラレタコトト思ヒマスルガ誠ニ 陛下ノ優渥ナル御思召ニ出デタルモノト存ジマスレバ感激ノ至リニ堪ヘヌ次第デゴザリマス此國家大難ノ時局ニ當リマシテ此ノ如キ事柄ニマデ殊恩ヲ蒙リマスルノハ畢竟國民ヲ重ンジ給フノ御叡慮ニ出デタルコトト思ヒマシテ我國民ノ忠君愛國ノ情ヲシテ益々切ナラシムルニ至ルモノト思ヒマス吾々議員ハ新陳交代移動ノ多キニ致セ本院トシテハ此一事ニ於テ永遠無窮ニ記憶スベキコトト存ジマスカラ議長ハ茲ニ一言ヲ致シテ置キマス

又任期滿限ニ達セル議長副議長ハ從來宮中ノ諸式典ニ參列スルコトナカリシモ第二十八回議會閉會後即チ明治四十五年七月二十九日以降ハ現任ノ議長副議長ト同一ニ取扱ハルルコトニ定メラル

六六六 議員觀櫻觀菊ノ御宴ニ召サル

第十五回議會ヨリ觀菊會後別日ヲ以テ議員ニ菊花拜觀差許サレ、第二十回議會ヨリ夫人同伴ニテ拜觀差許サルコトトナリ第三十一回議會閉會後(大正三年四月)ヨリ議員在京者三分ノ一(別ノ資格ニテ召サルヘキ勅任官竝從四位以上勳三等以上ノ者ヲ除ク)ハ夫人ト共ニ觀櫻菊花ノ御宴ニ召サレ尙觀菊ノ御宴ニ召サレサル在京議員ハ觀菊會後別日ヲ以テ夫人同伴菊花拜觀ヲ差許サルル

コトトナレリ

六六七 宮中其ノ他ノ儀式ニ議長、副議長、議員若ハ總代參列

明治二十三年十一月二十九日第一回帝國議會開院式御舉行ニ付賢所皇靈殿神殿ノ御親祭執行アラセラルルニ當リ議長副議長及議員ニ參拜仰付ラル

第三十一回議會 大正三年一月十七日ニ於テ賢所皇靈殿神殿ニ即位禮及大嘗祭期日奉告ノ儀ヲ行ハセラルル際本院議員總代三名(全院委員長、年長者及年少者)參列シタリ

大正七年十一月二十八日(第四十回議會閉會後) 皇室典範增補制定奉告ノ儀被爲行ニ付議長(大岡育造君)副議長(濱田國松君)及議員總代三名(各派)參列シタリ

第四十三回(特別)議會 大正九年七月二日宮中ニ於テ平和克復ノ儀行ハセラルルニ付議長(奥繁三郎君)副議長(粕谷義三君)及議員總代三名(各派)參列シタリ

同 大正九年七月四日ヨリ八日ニ至ル四日間平和克復ニ付豐受大神宮、皇太神宮、神武天皇山陵、明治天皇山陵へ奉告ノ儀行ハセラルルニ付副議長(議長副議長ノ内一人)及議員總代二名(各派)參列シタリ

大正九年十一月二日(第四十三回議會閉會後) 明治神宮鎮座祭翌日 天皇陛下 皇后陛下 皇太子殿下明治神宮御參拜被爲在ニ付當日議長(奧繁三郎君)及議員總代一名(年長者)參列シタリ

大正十年十一月二十六日(第四十四回議會閉會後) 皇太子殿下攝政就任ニ付賢所ノ儀、皇靈殿ノ神殿ニ奉告ノ儀被爲行ニ付議長(奧繁三郎君)副議長(粕谷義三君)議員總代二人(各派但一名缺)參列セリ

大正十一年七月三十日(第四十五回議會閉會後) 明治天皇十年式年祭皇靈殿ノ儀被爲行ニ付議長(奧繁三郎君)參列シ又同日明治天皇十年式年祭山陵ノ儀被爲行ニ付副議長(粕谷義三君)及在桃山議員參列セリ

第四十八回議會 大正十三年一月二十六日 皇太子殿下裕仁親王殿下賢所大前結婚ノ禮ヲ被爲行ニ付議長(粕谷義三君)(同夫人)副議長(松田源治君)及議員總代三名(全院委員長、年長者及年少者)參列シタリ

大正十五年十月二十二日(第五十一回議會閉會後) 長慶天皇皇代ニ列セラレタルニ付賢所皇靈殿神殿ニ親告ノ儀ヲ行ハセラルルニ際シ議長(粕谷義三君)副議長(小泉又次郎君)及本院議員總代三名(原脩次郎君(憲政)、菅原傳君(政友)、本多貞次郎君(本黨)參列仰付ケラレタリ

第五十二回議會 昭和二年一月二十日大正天皇追號奉告ノ儀行ハセラルルニ付議長(粕谷義三君)ハ午前九時三十分參内同儀ニ參列セリ

六六八 立太子禮及皇太子殿下ノ御成年式ニ於ケル賜饌

大正五年十一月三日立太子禮ヲ行ハセラレタル節正副議長、書記官長ハ宮中ノ賜宴ニ召サレ在京議員竝奏任官ニハ酒饌料ヲ下賜セラル又議長ハ宮中ニ於ケル二十七日ノ饗宴及二十九日ニ於ケル霞ケ關離宮ニ於ケル午餐ニ召サレタリ
大正八年五月七日皇太子殿下ノ成年式ヲ行ハセラレタル節翌八日正副議長ハ宮中ノ賜饌ニ召サレ議員ニハ酒饌料ヲ賜ハル

六六九 任期滿了後又ハ戰時議會閉會ノ際兩院議員及高等官一同ハ賜宴

第二十回(臨時)議會閉會後(明治三十七年三月三十一日)及第二十一回議會閉會後(明治三十八年三月一日)霞ケ關離宮ニ於テ、第二十二回議會閉會後(明治三十九年三月三十一日)濱離宮ニ於テ、

第二十八回議會閉會後（明治四十五年三月二十七日）及第三十四回（臨時）議會閉院式當日（大正三年九月十日）新宿御苑ニ於テ兩院議員並同高等官一同へ立食下賜ノ御沙汰アリ御名代宮殿下御臨席相成リタリ

六七〇 第五十回議會ノ閉會ノ際兩院議員及高等官一同へ賜宴

第五十回議會閉會ノ翌日（大正十四年四月一日）午前十一時三十分兩院議員並同高等官一同參内攝政殿下ニ正殿ニ於テ拜謁被仰付豊明殿千草間ニ於テ酒饌ヲ下賜セラレタリ

第四章 雜

第一節 徽章

六七一 議員ハ開會中一定ノ徽章ヲ附ス

議員ノ徽章ハ事務局ニ於テ之ヲ造リ總選舉後ノ召集當日各議員ニ配付シ爾後每會期召集日ヨリ之ヲ佩用ス

【備考】

事務局員、政府委員、政府委員附各省高等官及判任官、新聞記者、通信社員、各團體書記等ノ徽章ハ別ニ之ヲ造リ會期中佩用セシム

參看 附錄一三ノ三

六七二 議員徽章ハ宮城出入ノ御門鑑ニ代用セラル

議員トシテ參内スル場合ハ議員徽章佩用ヲ以テ宮城諸門ノ出入ヲ許サルルヲ例トス

第七回(臨時)議會開會中ハ此ノ徽章ヲ佩用シ廣島大本營ニ出入スルコトヲ許サレタリ

七百四

六七三 會期中ハ徽章ヲ附スルニ非サレハ議院ニ出入スルコトヲ得ス

從來會期中議院ニ出入スル者ニハ徽章ヲ附シ又ハ入場券通院券ヲ交付シタルモ第十九回議會ヨリハ院內警察上ノ必要ニ依リ總テ徽章ヲ附スルコトト爲シ政府委員附各廳吏員ハ官吏入場徽章、新聞記者通信社員ニハ傍聽章ヲ、各團體ノ書記等ニハ院內通章ヲ配付シ之ヲ佩用セサル者ハ一切出入スルコトヲ許ササルコトナレリ

參看 五五〇號、附錄一三ノ三

第二節 議員控室

六七四 各議員ノ控室ハ黨派別ニ依リ之ヲ定ム

第十五回議會ヨリ議員控室ヲ設ケ黨派別ニ依リテ之ヲ分チ第一憲政本黨(二室)、第二帝國黨(一

室)、第三無所屬(一室)、第四立憲政友會(三室)、第五三四俱樂部(一室)ノ八室ヲ置キタリ爾來黨派及其ノ所屬議員數ノ異動ニ依リ各會期ノ始各派ノ協議ニ依リ控室ヲ變更スルヲ例トス

六七五 各控室ニ文書函ヲ備ヘ附ク

各控室ニハ其ノ所屬議員ノ便ニ供スル爲文書函ヲ設ク文書函ニハ一々函側ニ氏名ヲ記載セル木札ヲ掲ケ議案其ノ他ノ書類配付ノ用ニ供ス

參看 一九二號

第三節 衆議院公報參考圖書

六七六 衆議院公報ハ公示、議事日程、委員會開會、議事經過其ノ他諸般ノ事項ヲ掲載ス

從來議事日程、委員會ノ開會其ノ他諸般ノ通知ハ一々書面ヲ以テ發送シタルモ多年ノ經驗上不便

抄カラサルニ依リ第十四回議會明治三十二年十一月二十二日開院式ノ當日奉答文案議了ノ後議長(片岡健吉君)ハ「今般衆議院ヨリ衆議院公報ナルモノヲ發刊致シマシテ議事日程及委員會ノ開會其他ノ通知ヲ總テ此公報ノ紙面ニ掲載シテ自今右等ノ事項ヲ一々書面デ發スルコトヲ廢スルコトニ致シタイ、尤モ特別至急ヲ要スルコトハ例外デアリマスガ、ソレデ是ハ其日ノ夜カ或ハ遅クトモ翌日早朝マデニ諸君ノ御手許ニ達スルヤウニナルノデアリマス、是ハ從來ニ比スレバ餘程煩雜ヲ避ケテ諸君ノ御便利ニナラウト考ヘマスガ、別ニ御異議ハアリマスマイカ」ト語ヒ異議ナキヲ以テ直ニ之ヲ實行シタリ其ノ體裁ハ略官報ト同一ニシテ掲載事項ヲ概ネ勅語、詔勅、公示、議事日程、委員會開會、兩院協議會、部長選定、議案、議事經過、部會經過、委員會經過、政府委員、質問、答辯、請願書、貴族院、配付、法律、豫算ノ公布、雜報、廣告ニ分テリ

六七七 衆議院公報ハ必要ノ場合ニハ閉會中ト雖發刊ス

衆議院公報ハ閉會中ト雖議員ニ通報スヘキ須要ノ事項ヲ生スルトキハ號外トシテ臨時ニ發刊ス

六七八 參考圖書ヲ發刊シ議員ニ配付ス

本院ニ於テ發行スル重ナル參考圖書ハ左ノ如シ

衆議院報告 第三十七回議會ヨリ每會期終了後其ノ會期ニ於ケル經過ノ大要ヲ輯録シ之ヲ各議員ニ配付ス

衆議院議事摘要 每會期終了後其ノ會期ニ於ケル議事(議案ニ付テハ特ニ各案毎ニ)ノ經過ヲ輯録シ之ヲ次會期ノ召集日ニ配付ス

衆議院要覽 每總選舉毎ニ編纂シ總選舉後ノ第一議會ノ召集日ニ配付スルヲ例トス

衆議院先例彙纂 隨時改訂印刷シ之ヲ配付ス

衆議院議員黨籍錄 隨時增訂印刷ニ付シ特ニ希望者ニノミ之ヲ頒ツ

衆議院議員總選舉一覽 隨時增訂印刷ニ付シ特ニ希望者ニノミ之ヲ頒ツ

以上ノ外參考ノ爲隨時圖書ヲ發刊シ之ヲ議員ニ配付ス

第四節 各派協議會

六七九 各派協議會ヲ開ク

第二十一回議會ヨリ特殊事項ノ議決、議院規則ノ改正、議事及發言ノ順序、儀式ニ關スル案件其ノ他諸般ノ事項ニ涉リ必要ト認ムルトキ議長ハ各派所屬議員ノ代表者ヲ參集セシメ豫メ之カ打合セ又ハ協議決定ヲ爲シ其ノ院議ヲ經ヘキモノハ之ヲ院議ニ付シ否ラサルモノハ議長ニ於テ實行スルノ例ヲ開キタリ而シテ開會中ハ勿論閉會中ト雖之ヲ開クコト尠シトセス

六八〇 所屬議員二十五名未滿ノ黨派ハ交渉團體ト認メス

從來常任委員及特別委員ハ各黨派所屬議員數ニ比例シテ割當テ第二十六回議會ニ於テハ又新會十八名無所屬十五名ノ團體ナリシモ常任委員特別委員共之ヲ割當選出シタリ而シテ第二十七回乃至第二十九回議會ハ無所屬ニ至ル迄凡テ二十五名未滿ノ團體ナカリシカ第三十回議會大正元年十二月二十七日ノ各派協議會ニ於テ左ノ協議ヲ爲シタリ

常任委員ノ選舉ハ所屬議員二十五名未滿ノ團體ヲ除キ各部ヲ基礎トシテ其所屬議員ニ應シテ按分選出スルコト

又大正二年一月二十一日ノ各派協議會ニ於テ左ノ協議ヲ爲セリ

二十五名未滿ノ團體ニ對シテハ特別委員ヲ割當テサルコト

此ノ如クニシテ第三十回議會以後ハ每議會ノ初ニ於ケル各派協議會ニ於テ從前通二十五名未滿ノ團體ハ交渉團體ト認メサルコトヲ協議シ常任委員特別委員ノ割當ヲ爲ササルノミナラス其ノ他ノ交渉案件ニモ參加セシメサルヲ例トス但シ慶賀又ハ敬弔ニ關スル事項ニ付テハ議長ヨリ出席ヲ希望シ協議シタル場合ナシトセス即チ第五十二回議會ニ於テ一月四日殯宮祇候ノ件各派協議會ニハ實業同志會ヨリ千葉三郎君出席シ三月十二日北丹後地方震災義捐金釀出ノ件各派協議會ニハ實業同志會ヨリ森田金藏君、無所屬ヨリ田淵豐吉君出席協議セリ

第五節 列國議會同盟及萬國議院商事會議

六八一 議員有志團體ヲ組織シ列國議會同盟ニ加盟ス

列國議會同盟會議ハ千八百八十八年(明治二十一年)英佛兩國ノ代表者會合シテ各國國會間ノ關係ヲ改良セムコトヲ決議シ翌年巴里ニ開會セルヲ始トス而シテ我カ議會議員ニ正式ノ招待狀ヲ受ケタルハ千九百六年(明治二十九年)ニシテ當時開催地タル英國倫敦ニ滯在中ノ竹越與三郎君ハ一箇